生活道路の
交通安全対策の進め方

〔佐賀市北川副地区の取組み〕

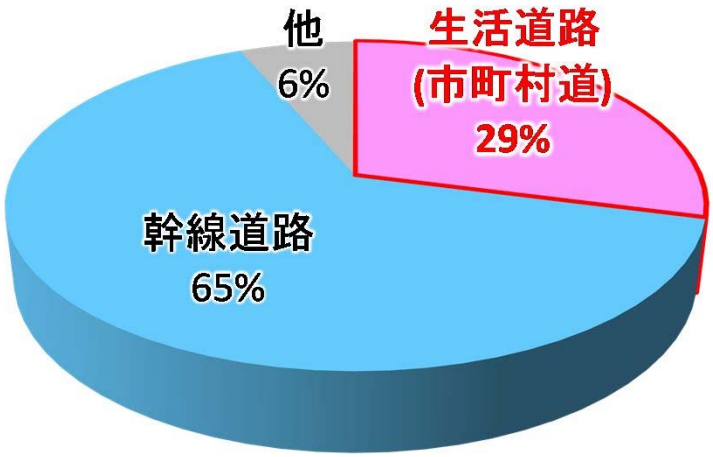
平成２９年３月

佐賀県道路交通環境安全推進連絡会議
佐賀市　建設部　道路整備課

背景

- 佐賀県は人口10万人あたりの事故件数が5年連続で全国ワースト1位となっており、事故の約3割は生活道路（市町村道）で発生している。

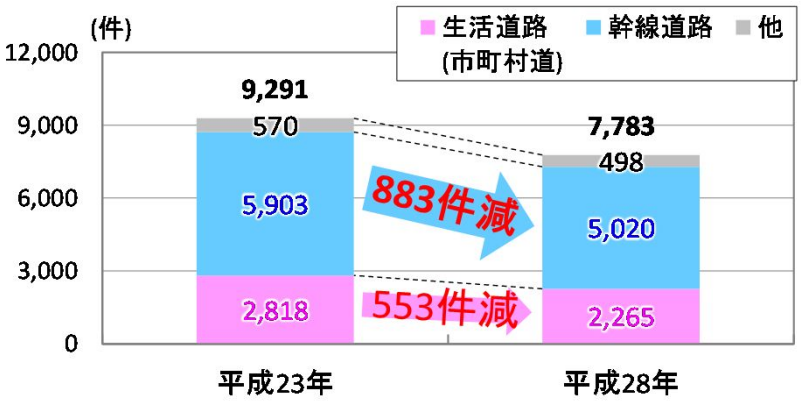
＜佐賀県内の道路別事故発生件数＞



資料：佐賀県警本部HP(H28)

- 幹線道路は交通安全対策が実施され、事故件数は大きく減少傾向にある。一方で生活道路の事故件数の減り幅は小さく、事故件数の更なる減少を図ることが望まれる。

＜佐賀県内の道路別事故発生件数の変化＞



資料：佐賀県警本部HP

本資料の目的等

- 本資料は佐賀県道路交通環境安全推進連絡会議において、生活道路対策のモデル地区として選定された「佐賀市北川副地区」での取組み事例を示すものであり、他地域にて生活道路対策に取り組む際の参考資料となることを目的としている。

- 本資料で示す佐賀市北川副地区の事例は、地域住民と連携して生活道路対策に取り組んだ事例のため、「どのように地域住民と協働したのか」を中心に、生活道路対策の取組み内容を示すものである。なお本資料は、生活道路対策の最適な取り組み方法を示すマニュアルとは異なるため、留意が必要である。

平成２９年３月
佐賀県道路交通環境安全推進連絡会議

■生活道路の安全対策の進め方

○北川副地区では生活道路の安全対策を進めるにあたり、実現性の高い施策を効率的に検討するため、地域住民の理解や協力を得ることが重要だと捉え、住民と連携して安全対策に取り組むことを基本方針とした。
○住民と連携した取組みとするため、基本的な進め方の各段階において、地域住民を交えた検討会(ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ※)や社会実験を実施し、検討結果を積み上げることで約1年で対策案の決定までを行った。

※ワークショップ(WS)とは・・・
主催者による一方的な説明などではなく、参加者全員が自ら参加し、何かを学び合ったり、創り出したりする検討手法

基本的な進め方

①現状把握
・事故や事故につながる危険事象の発生状況を把握(既存データの確認と現場の確認)

②事故危険箇所の設定
・事故データや住民意見、現場確認等を踏まえ、事故危険箇所を設定

③対策案の検討
・各々の事故危険箇所に応じた対策案を検討

④社会実験・効果検証
より効果の高い対策を行うため実施
・対策案（一部）について社会実験を実施し、効果を検証

⑤対策案の決定
・社会実験の結果等を踏まえて、対策案を決定

〔北川副地区の取組み内容〕

⓪ 対策ｴﾘｱ(国土交通省)への登録 H28.2
・北川副地区を国交省指定の対策エリアに登録することで、事故データ提供等で国土交通省から支援を受けつつ取組みを実施することに決定

①-1 現状把握 H28.2
・国交省から提供された事故データ等を分析
・現地調査(ビデオ調査)で地区の交通状況や危険事象を確認

①-2 住民説明会 H28.9.30
・現状把握の結果を住民に説明し、地区の現状を共有
・住民主体で生活道路の安全対策を検討することを合意

② 第1回検討会(WS) H28.11.13
・現状把握の結果を再度住民と共有
・ワークショップ形式で地区内の事故危険箇所や要因について議論し、その結果を踏まえてヒヤリマップを作成

③ 第2回検討会(WS) H28.12.11
・事前に事務局が検討した対策素案を住民に提示
・対策メニューリストを参考に、ワークショップ形式で対策内容について議論し、発表

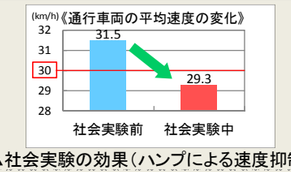
④ 社会実験・効果検証 H29.1.15～H29.2.17
・速度抑制のためのハンプ等を1か月間設置
(ハンプ施工には住民も参加)
・設置期間中に現地調査やアンケート調査を実施し、効果を検証

⑤ 第3回検討会 H29.3.12
・社会実験の結果(効果)を住民に報告
・効果検証を踏まえた対策案(事務局案)を住民に提示
・対策案の意見聴取を実施し、対策案を決定

■北川副地区の取組み　～取組み開始から対策の決定までの具体的な流れ（1/2）～

＜取組み内容＞	＜事務局の作業＞ ＜作業内容＞	＜事務局の作業＞ ＜ポイント 及び 留意事項＞	＜参考資料＞
◎ 対策エリアへの登録 H28.2　取組みの実施について国交省の支援を受ける	・地元要望などもあり、国交省の安全対策のエリアに登録申請		
①現状把握 **①-1 現状把握** H28.2　事故発生状況や危険事象、交通状況などの把握 ▲事故データの分析結果 ▲交通実態調査のビデオ画像	**《既存データの分析》** ・国交省提供の事故データ等を分析し、地区内の事故件数等を整理 **《現地調査》** ・地区の交通状況や危険事象を交通実態調査（ビデオ調査）により確認	・**自動車以外の交通状況**も確認 ⇒*歩行者や自転車の交通量、通行位置なども調査*	
①-2 住民説明会 H28.9.30（金）　住民主体で検討を進めていくことの合意形成	**《説明会前》** ・説明資料を作成 ・自治会長を通じて参加を呼びかけ **《説明会当日》** ・プロジェクターを用いて資料説明（地区の現状など）	・**住民が「対策が必要と感じる」資料**を作成 ⇒*データの分析結果や危険な場面の動画を用いて、このままではダメという危機感を抱かせる資料を作成*	［参考資料１］ • 説明資料（参-P2） ⇒事故発生状況、交通量、危険挙動等
②事故危険箇所の設定 **② 第1回検討会（WS）** H28.11.13（日）　事故危険箇所の抽出 ▲WSの様子 （ヒヤリマップの作成） ▲WSで作成したヒヤリマップ	**《検討会前》** ・検討会の目的、具体的な進め方等を検討 ・説明資料、配布資料、WS用資料（図面）を作成 ・地区の図面と附箋等を班数分用意 （事故危険箇所の意見出しに利用） ・自治会長を通じて参加を呼びかけ **《検討会当日》** ・プロジェクターを用いて資料説明（WSの内容など） ・WSの場にオブザーバーとして参加（WS：7～8名/班） **《検討会後》** ・現状把握や第1回検討結果を踏まえて、ヒヤリマップをとりまとめ ・回覧資料を作成し、地域住民に配布	・**WSを円滑に進めるための準備** ⇒*会の始めに地区の現状や危険事象をおさらい（住民説明会の内容）* ⇒*地区ごとの班分けし、班のコーディネーターを自治会長に依頼* ・**次回の議論を円滑に進めるための予習資料**を配布 ⇒*WS後に生活道路の安全対策で一般的によく実施される対策について紹介し、それらを一覧表にまとめた「対策メニューリスト」を配布* ・**地域住民の全員に周知**するための**回覧資料**を作成 ⇒*資料内容：第1回検討会の結果報告、第2回検討会の開催案内*	［参考資料２］ • 説明資料 その１（参-P2） ⇒事故発生状況、交通量、危険挙動等 • 説明資料 その２（参-P14） ⇒WSのテーマ、WSの進め方等 • 配布資料（参-P19） ⇒検討会の主旨、対策メニューリスト等 • 回覧資料（参-P22） ⇒第1回検討会の結果報告、第2回検討会の開催案内）
③対策案の検討 **③ 第2回検討会（WS）** H28.12.11（日）　対策案の検討、社会実験の周知 ▲WSの様子（対策案の検討） ▲WSの様子（検討結果の発表）	**《検討会前》** ・検討会の目的、具体的な進め方等を検討 ・説明資料、配布資料、WS用資料（図面）を作成 ・対策案（事務局案）を追加した図面と附箋等を班数分用意（対策案への意見出し（内容の追加修正）に利用） **《検討会当日》** ・プロジェクターを用いて資料説明 （対策案、社会実験内容の説明など） ・WSの場にオブザーバーとして参加（WS：7～8名/班） **《検討会後》** ・ハンプ設置箇所の近隣住民へ直接協力を依頼 ・回覧資料を作成し、地域住民に配布	・**対策検討を円滑に進めるための準備** ⇒*住民が一から対策案を検討すると、まとまらない可能性が高いため、対策案（事務局案）を事前に作成した* ・**社会実験に対する抵抗感を軽減する資料**の作成 ⇒*最新のハンプは騒音や振動が少なく、減速効果が出ることを実感してもらえるよう、参考動画を用意（他箇所での設置例）* ⇒*社会実験案には、問題が生じた場合はすぐに撤去することを明示* ・**社会実験実施箇所の近隣住民への協力依頼** ⇒*回覧資料配布の前に、ハンプ設置箇所の沿線住民に対しては、直接お会いして社会実験の目的、概要を説明し、ご理解とご協力を得る（迷惑がかかる方への配慮）* ・**地域住民の全員に周知**するための**回覧資料**を作成 ⇒*資料内容：第2回検討会の実施報告、社会実験の開催案内、社会実験施工（ハンプ設置）への参加呼びかけ*	［参考資料３］ • 説明資料（参-P25） ⇒第1回検討会の振り返り、対策案（事務局案）、社会実験案（事務局案）等 • 配布資料（参-P45） ⇒第1回検討会のまとめ（ヒヤリマップ）、対策メニューリスト等 • WS用資料（参-P50） ⇒対策案（事務局案）の内容、位置図 • 回覧資料（参-P52） ⇒第2回検討会の実施報告、社会実験の案内、社会実験施工への参加呼びかけ

■北川副地区の取組み　～取組み開始から対策の決定までの具体的な流れ（2/2）～

＜取組み内容＞	＜事務局の作業＞ ＜作業内容＞	＜事務局の作業＞ ＜ポイント 及び 留意事項＞	＜参考資料＞
④社会実験・効果検証 **④-1 社会実験** H29.1.15（日）～H29.2.17（金） ハンプ・ポストコーン（3基）、交差点カラー化（2箇所）、自転車通行位置カラー化（1区間） ▲社会実験初日の様子（ハンプの施工イベント） ▲社会実験中の様子（ビデオ画像）	**《社会実験前》** **◇社会実験に向けた準備** ・社会実験計画書を作成 ・役割分担表を作成 **◇対策施工に向けた準備** ・ハンプレンタルの手続きを開始（申請書作成等） 〔レンタル先〕⇒国土技術政策総合研究所 道路研究室：1基 ⇒九州地方整備局（佐賀国道事務所）：2基 ・対策施工、通行規制に必要な申請書などを作成 （道路使用許可、道路占用許可、道路工事届出書） ※社会実験初日に施工できない対策は、社会実験開始前に施工 （事前施工：交差点カラー化、自転車通行位置カラー化） **◇社会実験初日に向けた準備** ・参加者向けの配布資料を作成 ・マスコミ投込み資料を作成 **《社会実験中》** ・実験開始直後は対策箇所のビデオ撮影を実施	・**スケジュール、役割分担等を明確**にし、**関係者で共有** *⇒実験準備から撤去までのスケジュール、作業項目、役割分担を明確にし、関係者で共有* ・**ハンプレンタルの手続きは早め（約1ヶ月前）に着手** *⇒ハンプ等のレンタル数量や設置計画、地域の課題等を記入する申請書作成が必要。別途ハンプの運搬に関する確認なども必要* ・施工に必要な道路使用許可等の**各種申請書**を作成 *⇒自治体や警察、消防署など関係部署に提出する書類作成が必要* ・**実験初日をイベント化**して盛り上がりを醸成 *⇒取組み周知のため、社会実験の初日にハンプの施工をイベント化* *⇒報道時の印象を強くするため、地域住民の施工参加を計画* ・**苦情対策**としてハンプ設置箇所の**ビデオ撮影を実施** *⇒実験開始直後は対策内容に関して苦情が寄せられる可能性があるため、実態把握用にビデオ撮影を実施（特に、速度超過等の無茶な運転によるハンプでの自動車の破損が発生した場合を懸念）*	［参考資料4］ ・社会実験計画書（参-P55） ⇒社会実験の目的、対策内容及び対策箇所、社会実験期間、規制図等 ・役割分担表（参-P69） ⇒スケジュール、作業項目、役割分担 ・ハンプレンタルの申請書（国総研）（参-P71） ⇒レンタル数量、レンタル期間、設置計画、地域の課題等 ・各種申請書（参-P79） ⇒道路使用許可申請書（警察）、道路使用許可申請書（自治体）、道路占用許可申請書（自治体）、道路工事届出書（消防） ・配布資料（参-P85） ⇒検討経緯、ハンプの設置手順等 ・マスコミ投込み資料（参-P88） ⇒社会実験の実施日時、実施箇所、実施内容、検討経緯
④-2 効果検証 H29.1.15（日）～H29.2.17（金） 対策案の効果や影響の確認  ▲社会実験の効果（ハンプによる速度抑制）	**《効果検証調査前》** ・対策の効果を検証する調査計画を立案 ・回覧資料を作成し、地域住民に配布 **《効果検証調査中》** **◇交通実態調査（ビデオ調査）** ・地区の交通状況や危険事象を交通実態調査（ビデオ調査）により確認 **◇利用者満足度調査** ・効果の実感や対策の継続に関する意見等を、アンケート調査、ヒアリング調査により収集 **《効果検証調査後》** ・社会実験による交通実態の変化を分析 ・効果の実感割合や対策継続への賛成割合などを分析	・**社会実験前と比較できる調査計画**の立案 *⇒現状把握の時と同様の調査を立案し、結果の比較により社会実験の効果を検証（30km/hを下回ることが一つの目安）* ・**調査への協力を依頼**するための**回覧資料**を作成 *⇒資料内容：効果検証調査の実施連絡、調査協力のお願い* ・**効果の実感**や**対策の継続**に関する**意見を収集** *⇒住民の意見を把握するため、地区内の全戸及び周辺の中学・高校を対象にアンケート調査を実施* *⇒その他道路利用者（地区外から買い物に来る利用者）の意見を聞くために、沿線のスーパーでヒアリング調査を実施*	［参考資料5］ ・調査計画書（ビデオ調査）（参-P92） ⇒調査目的、調査日時、調査方法等 ・調査計画書（利用者満足度調査）（参-P113） ⇒調査目的、調査日時、調査方法等 ・回覧資料（参-P127） ⇒効果検証調査の実施連絡、調査協力のお願い
	《社会実験後》 ・ハンプの撤去、返却（撤去後、竣工届を作成し、提出） ・カラー化は撤去困難なため継続	・**撤去後に提出が必要となる書類**を作成 *⇒道路復旧状況を示す資料（竣工届）の提出が必要（自治体）*	［参考資料4］ ・各種申請書（参-P84） ⇒竣工届（自治体）
⑤対策案の決定 **⑤ 第3回検討会** H29.3.12（日） 社会実験の効果の共有、対策案の決定 ▲対策案の意見聴取の様子 ▲意見聴取結果の整理	**《検討会前》** ・検討会の目的、具体的な進め方等を検討 ・説明資料、配布資料、意見聴取用資料※を作成 ※対策案を追加した地区の図面と附箋等を用意 ・回覧資料を作成し、地域住民に配布 ・マスコミ投込み資料を作成 **《検討会当日》** ・プロジェクターを用いて資料説明（社会実験の内容、効果検証結果等） ・意見聴取で挙げられた内容を大判図面に附箋で整理 **《検討会後》** ・第3回検討結果を踏まえ、対策案を修正 ・回覧資料を作成し、地域住民に配布	・**社会実験の有効性を判断できる資料**を作成 *⇒狙った効果の発現状況、悪影響の有無が分かる資料を作成* *⇒第2回の検討結果や、社会実験での効果や悪影響の有無を踏まえて対策案を検討* ・**検討会開催の再周知**のための**回覧資料**を作成 *⇒前回検討会から期間が空いたため、回覧による再周知を実施* *⇒資料内容：社会実験終了の連絡、第3回検討会の開催案内* ・**マスコミへの投込み資料**を作成 *⇒社会実験での報道により取組みが注目されたため、検討会へのマスコミ参加を計画* *⇒資料内容：第3回検討会の開催案内、検討経緯* ・**地域住民の全員に周知**するための**回覧資料**を作成 *⇒資料内容：第3回検討会の結果報告（社会実験の効果、対策案の内容）、来年度から本施工実施の周知*	［参考資料6］ ・説明資料（参-P130） ⇒社会実験の概要、社会実験の効果検証、これからの対策案等 ・配布資料（参-P156） ⇒社会実験の実施内容、効果検証結果、これからの対策案等 ・意見聴取用資料（参-P160） ⇒対策案（事務局案）の内容、位置図 ・回覧資料（参-P162） ⇒社会実験終了の連絡、第3回の開催案内等 ・マスコミ投込み資料（参-P164） ⇒第3回検討会の開催案内、検討経緯等 ・回覧資料（参-P167） ⇒第3回検討会の結果報告（社会実験の効果、対策案の内容）、本施工実施の周知等

生活道路の
交通安全対策の進め方

〔佐賀市北川副地区の取組み事例〕

参 考 資 料

平成29年3月

佐賀県道路交通環境安全推進連絡会議
佐賀市　建設部　道路整備課

参 考 資 料 目 次

参考資料１　住民説明会　参-1
・説明資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-2

参考資料２　第１回検討会(WS)　参-13
・説明資料　その２　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-14
・配布資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-19
・回覧資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-22

参考資料３　第２回検討会(WS)　参-24
・説明資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-25
・配布資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-45
・WS 用資料（大判図面：対策案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-50
・回覧資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-52

参考資料４　社会実験　参-54
・社会実験計画書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-55
・役割分担表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-69
・ハンプレンタルの申請書（国総研）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-71
・各種申請書（竣工届含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-79
・配布資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-85
・マスコミ投込み資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-88

参考資料５　効果検証　参-91
・調査計画書（ビデオ調査）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　参-92
・調査計画書（利用者満足度調査）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-113
・回覧資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-127

参考資料６　第３回検討会　参-129
・説明資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-130
・配布資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-156
・意見聴取用資料（大判図面：対策案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-160
・回覧資料（事前）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-162
・マスコミ投込み資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-164
・回覧資料（事後）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参-167

参考資料１　住民説明会

・説明資料

説明資料

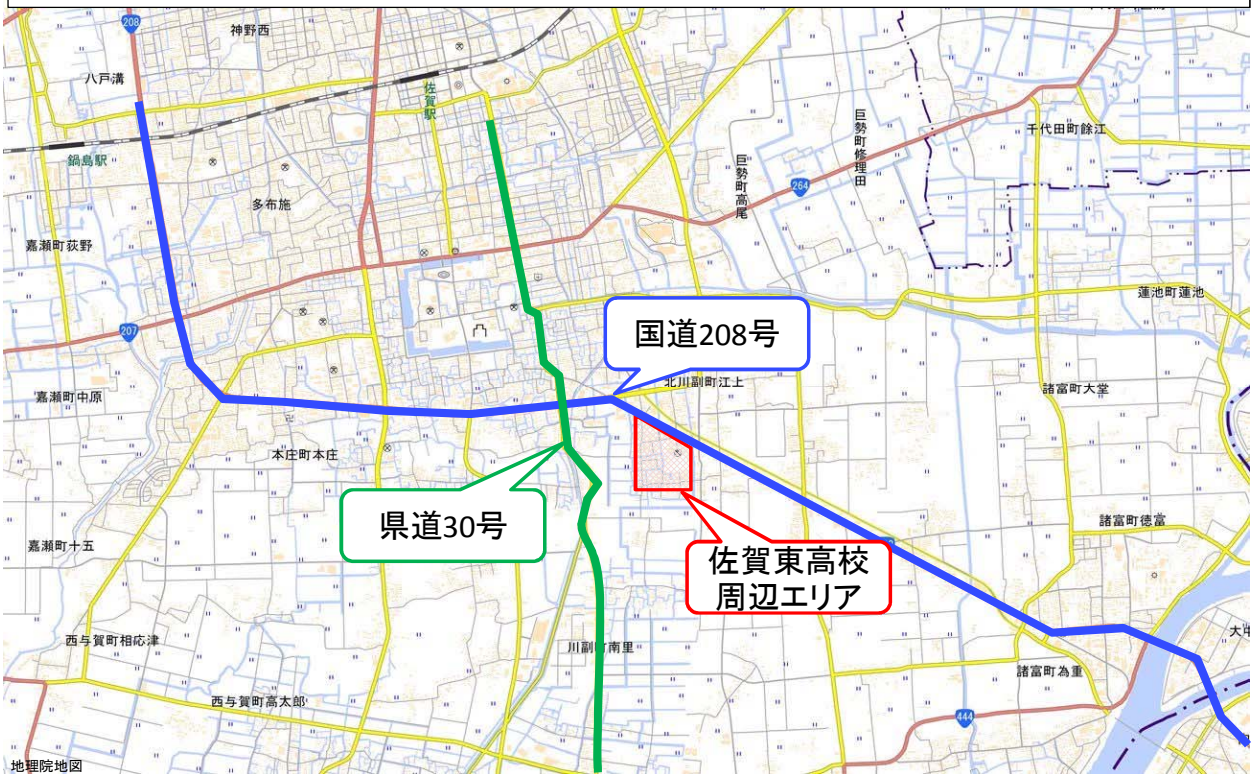
目的：住民説明会にて、地区の現状把握結果の説明に使用

＜資料内容＞

・地区の概要
・事故発生状況
・速度規制状況
・現地調査結果（調査の概要）
・　　〃　　（自動車交通量）
・　　〃　　（歩行者交通量）
・　　〃　　（自転車交通量）
・　　〃　　（速度分布）
・　　〃　　（抜け道）
・　　〃　　（危険挙動）
・　　〃　　（目視調査）
・　　〃　　（危険要因）
・要因と対策の整理
・安全対策メニュー

■調査対象地（佐賀東高校周辺エリア）の概要【エリア位置】

○ 佐賀東高校周辺エリアは、国道208号に面しており、西側には県道30号が縦断している。



■調査対象地（佐賀東高校周辺エリア）の概要【周辺道路】

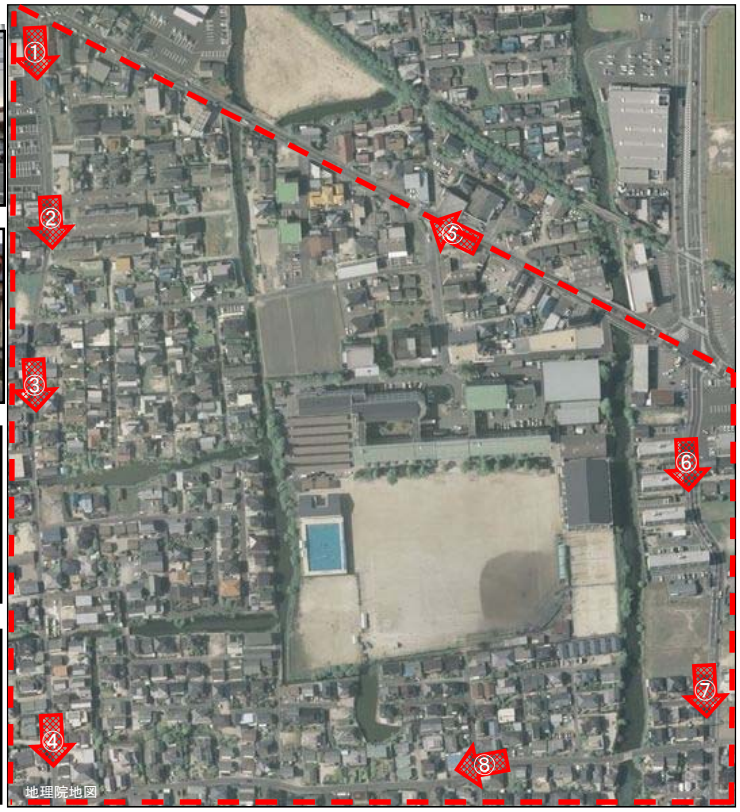
○ 佐賀東高校周辺エリアの現地状況は、高校を中心とし、住宅地域が広がっている。

①国道208号線

②住宅地内の細街路

③住宅内の街路

④住宅地の街路



⑤東高校前交差点

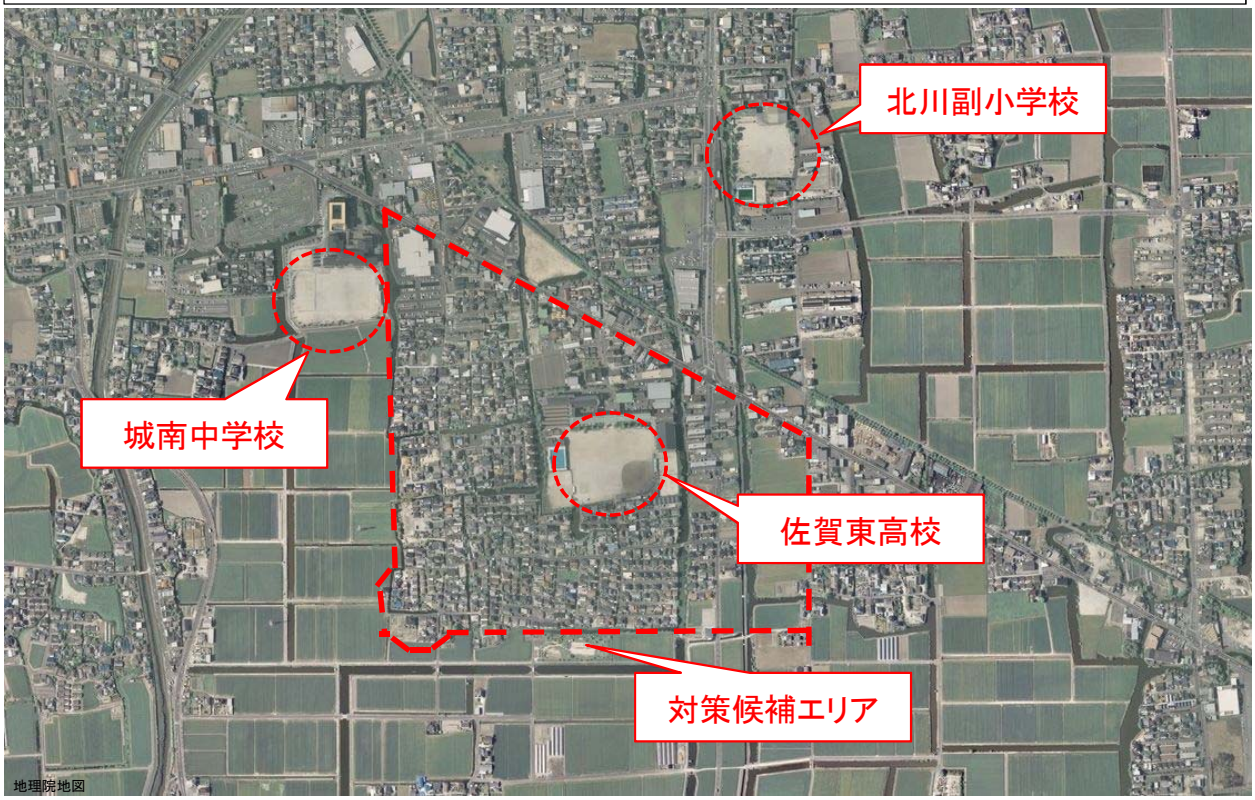
⑥学校付近の街路

⑦住宅地付近道路

⑧学校直近の道路

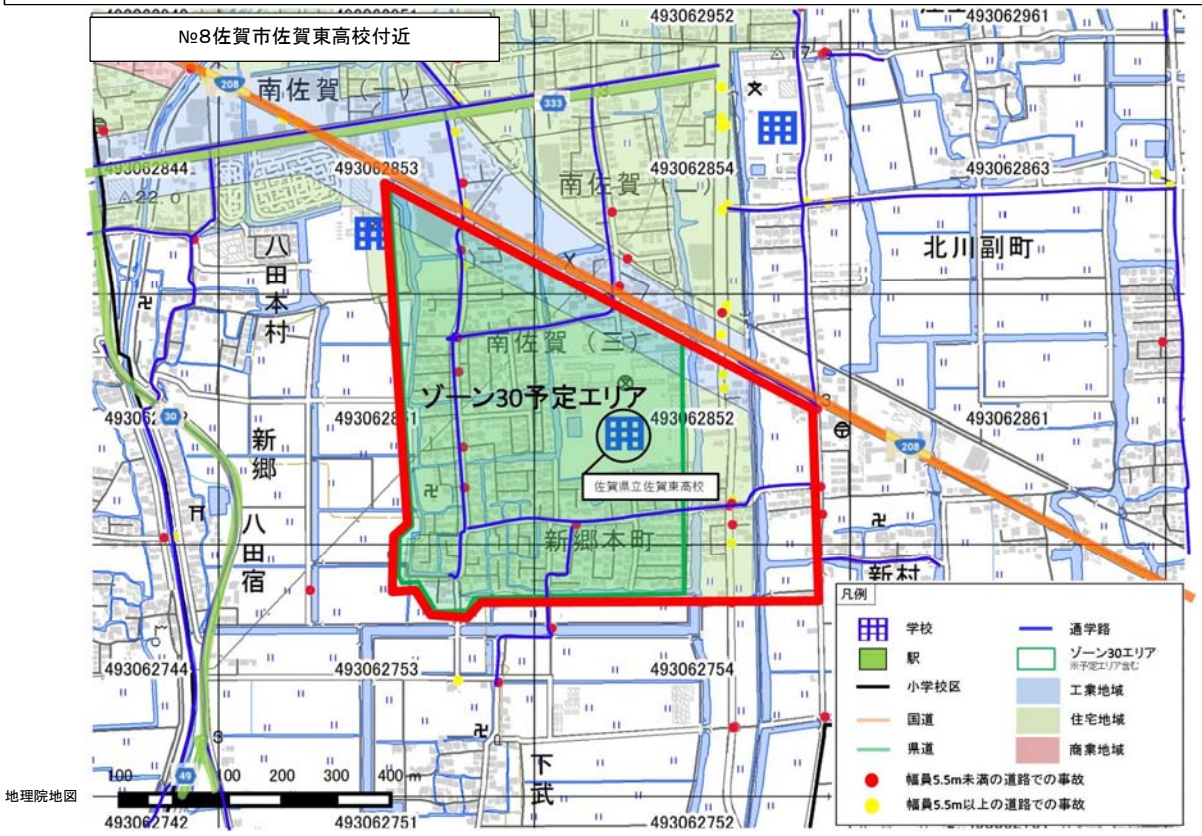
■調査対象地（佐賀東高校周辺エリア）の概要【周辺の学校立地状況】

○　北川副小学校、城南中学校があり、小中学校の子供たちも利用する地域である。



■調査対象地（佐賀東高校周辺エリア）の概要【道路の利用状況】

○　ゾーン30予定エリアであり、通学路にも指定されている。



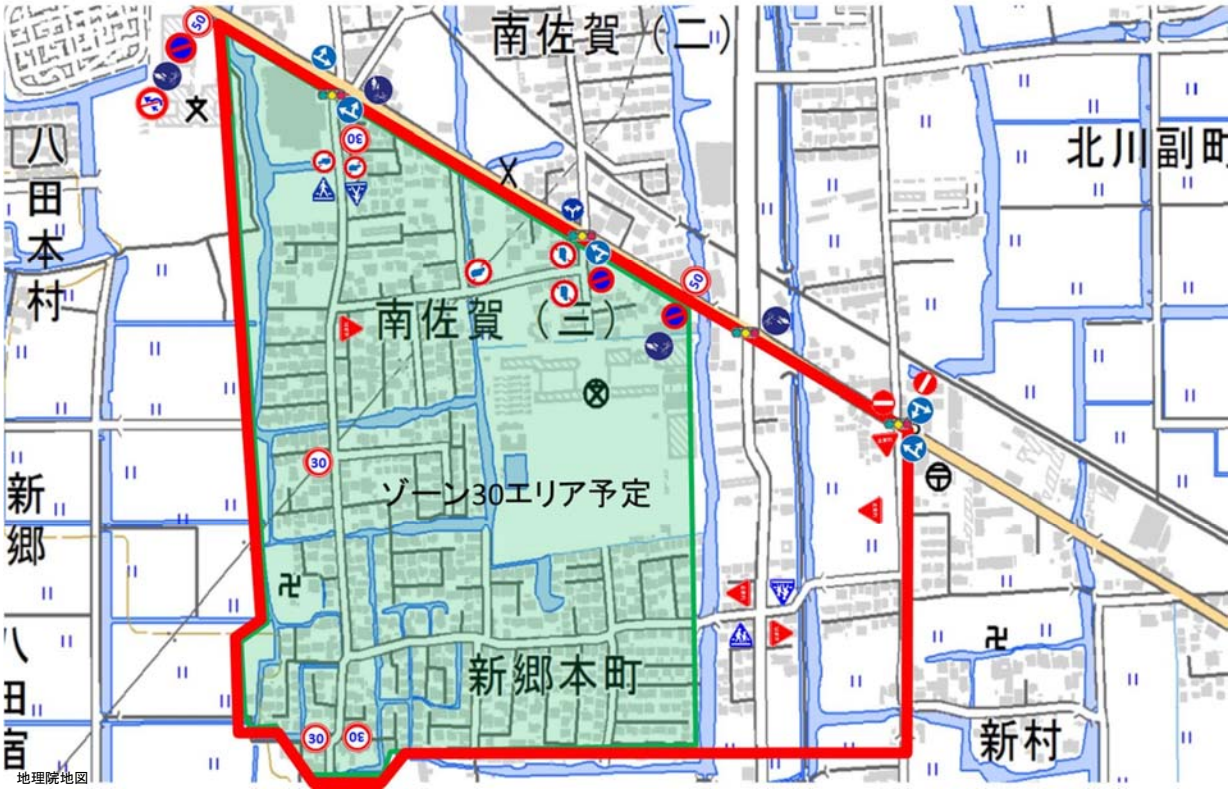
■佐賀市佐賀東高校周辺現地状況（事故発生状況）

○　通学路となっている道路では、子供の自転車が事故に巻き込まれている。

5

■佐賀市佐賀東高校周辺現地状況【速度規制状況】

○　当該地域はゾーン30予定エリアである。地域内を縦断する路線では30km/h規制標識が設置されている。



6

■ビックデータによる危険挙動の確認

○ ETC2.0(挙動履歴データ・走行履歴データ)及び民間プローブデータにより、佐賀東高校周辺の急減速発生状況と抜け道を確認した結果、生活道路内での急減速および抜け道利用は確認できなかった。

■現地調査実施

○ 対象地域の交通状況を把握するため、11か所にビデオカメラを設置し、調査を行った。

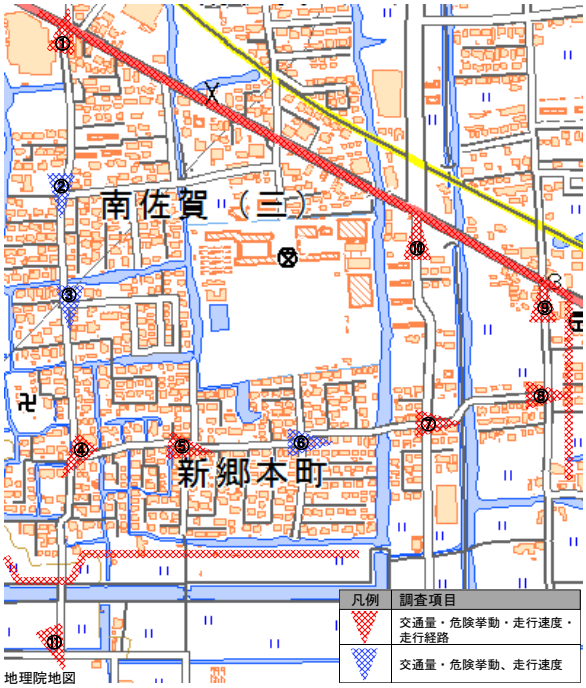
■調査日時

調査日	平成28年2月10日（水）晴れ
調査時間帯	朝ピーク時3時間（6:00～9:00） 夕ピーク時4時間（15:00～19:00）

■調査内容

箇所名	調査内容	調査目的
佐賀東高校周辺地域	交通量	方向別自動車・自転車・歩行者の交通量を把握
	危険挙動	車両の走行挙動の変化や、歩行者等との接触危険性等から危険箇所を把握
	速度	平均速度や速度が高い区間を把握
	走行経路	抜け道として利用する車両の台数を把握

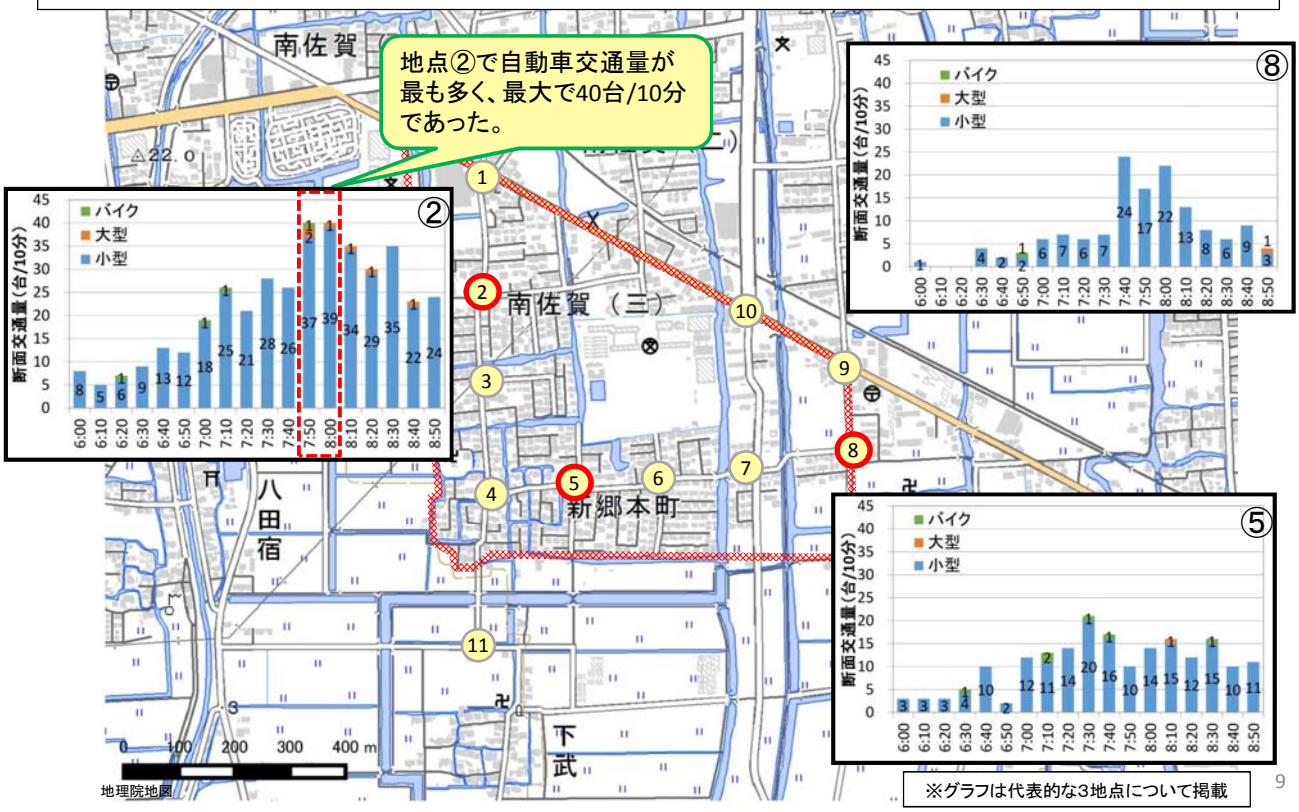
■ビデオカメラ設置位置



当日のカメラ取付状況

■現地調査結果【自動車交通量】

○ 地点②の自動車交通量が最も多い。地点②では7:50～8:10が自動車交通量のピークであり10分で40台であった。

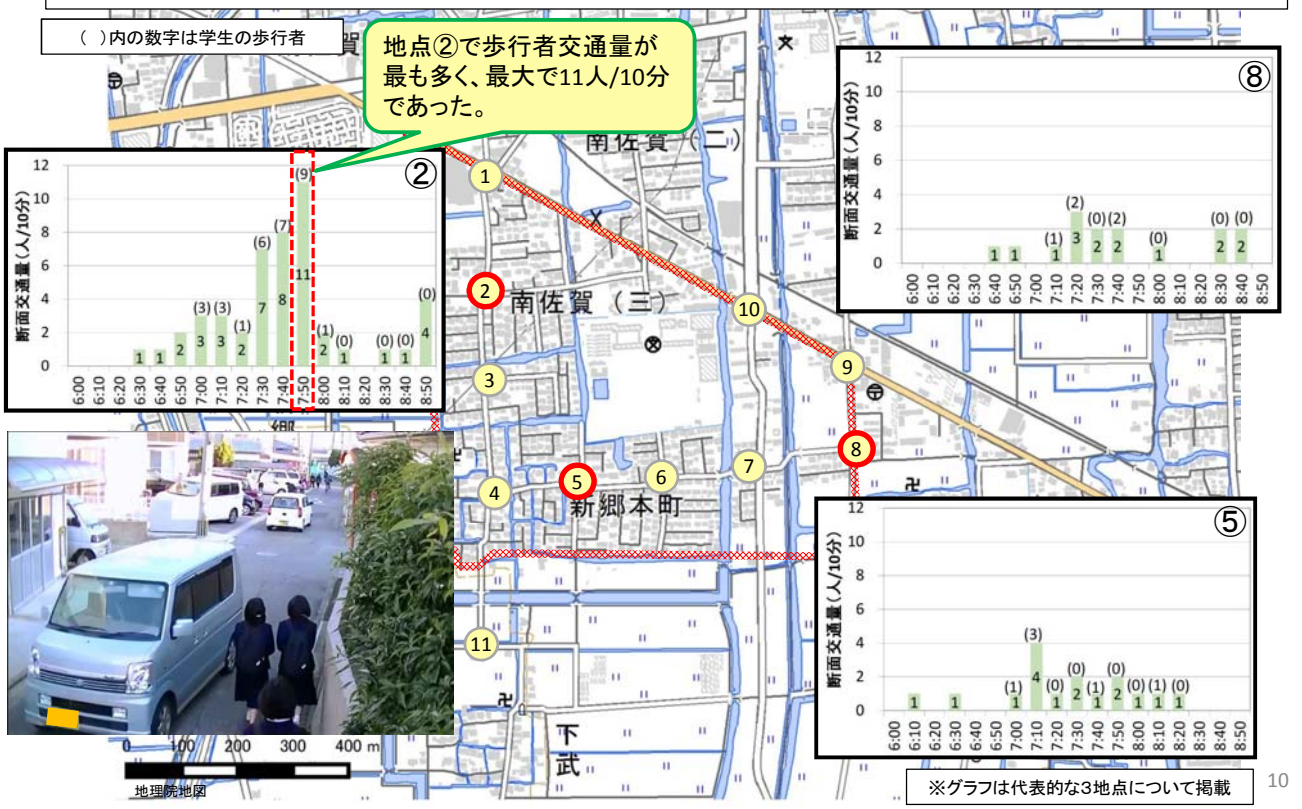


※グラフは代表的な3地点について掲載

9

■現地調査結果【歩行者交通量】

○ 地点②の歩行者交通量が最も多い。地点②では7:50～8:00が歩行者交通量のピークであり10分で11人であった。また、学生の歩行者が多い。

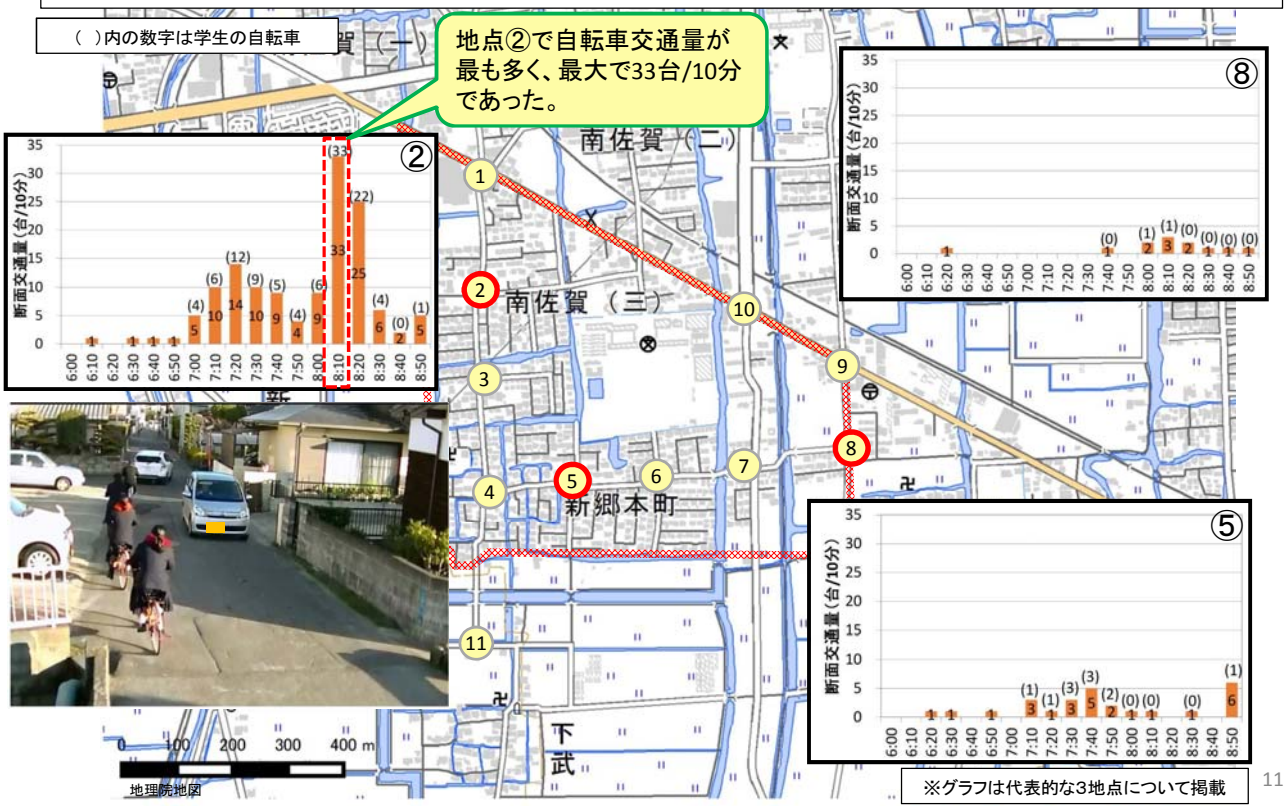


※グラフは代表的な3地点について掲載

10

■現地調査結果【自転車交通量】

○ 地点②の自転車交通量が最も多い。地点②では8:10～8:20が自転車交通量のピークであり10分で33台であった。また、学生の自転車が多い。

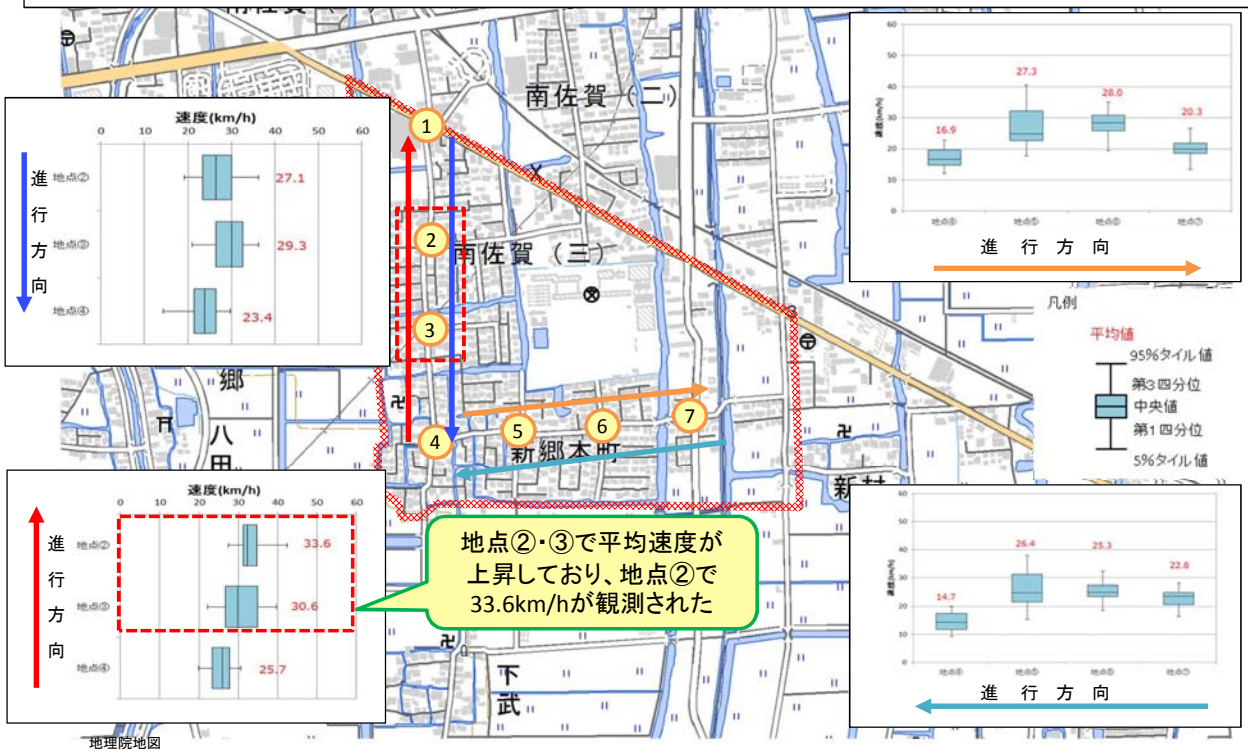


※グラフは代表的な3地点について掲載

11

■現地調査結果【速度分布】

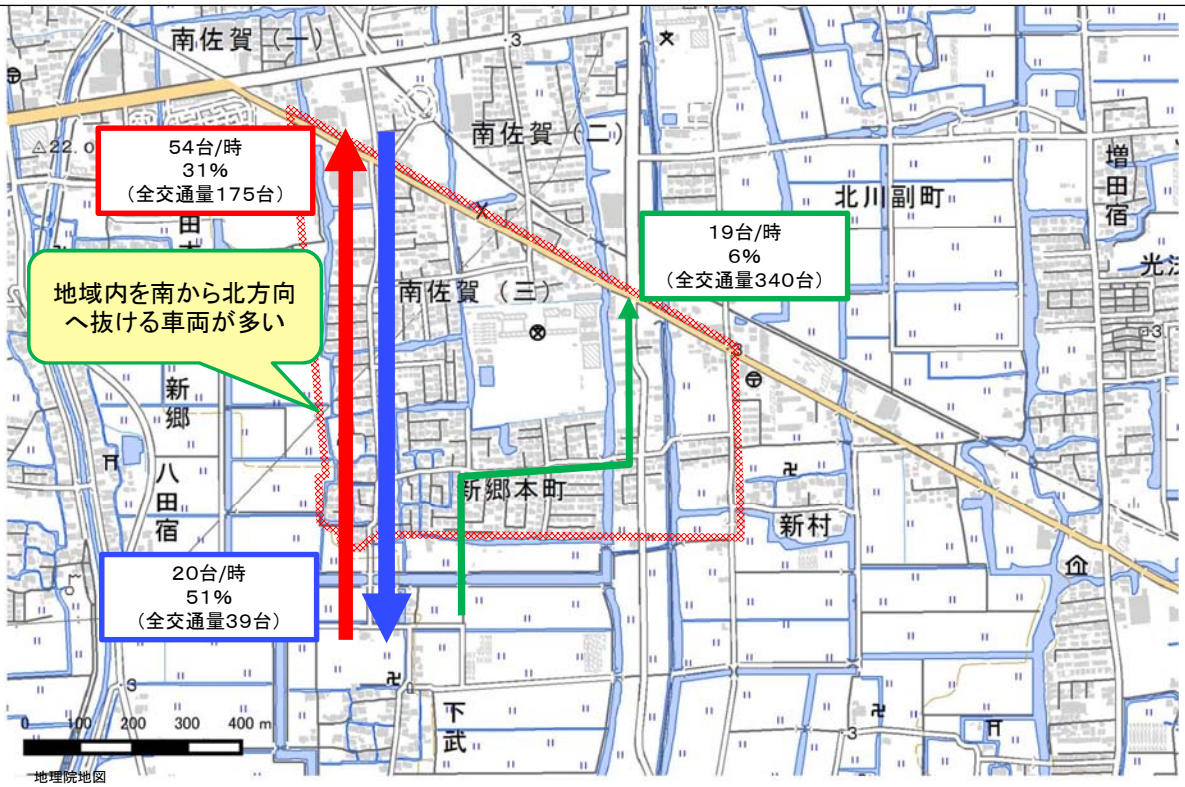
○ 朝ピーク時(7:30～8:30)において、地域内を南から北へ抜ける交通は地点②・地点③で平均速度が高くなっており、規制速度を超えている。当該地点を走行する車両は抜け道利用が多い為、速度が上昇していると考えられる。



12

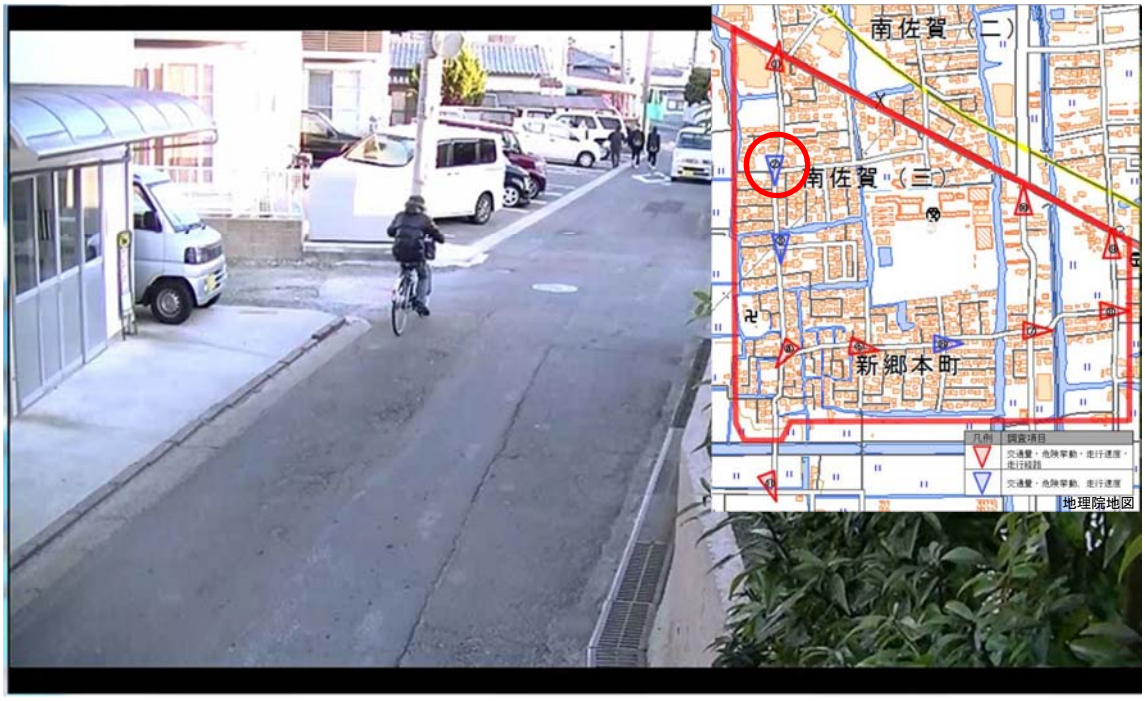
■現地調査結果【抜け道】

○ 朝ピーク時、地域内を縦断する道路の交通量が多く、南から北方向へ抜けていく割合が高い。



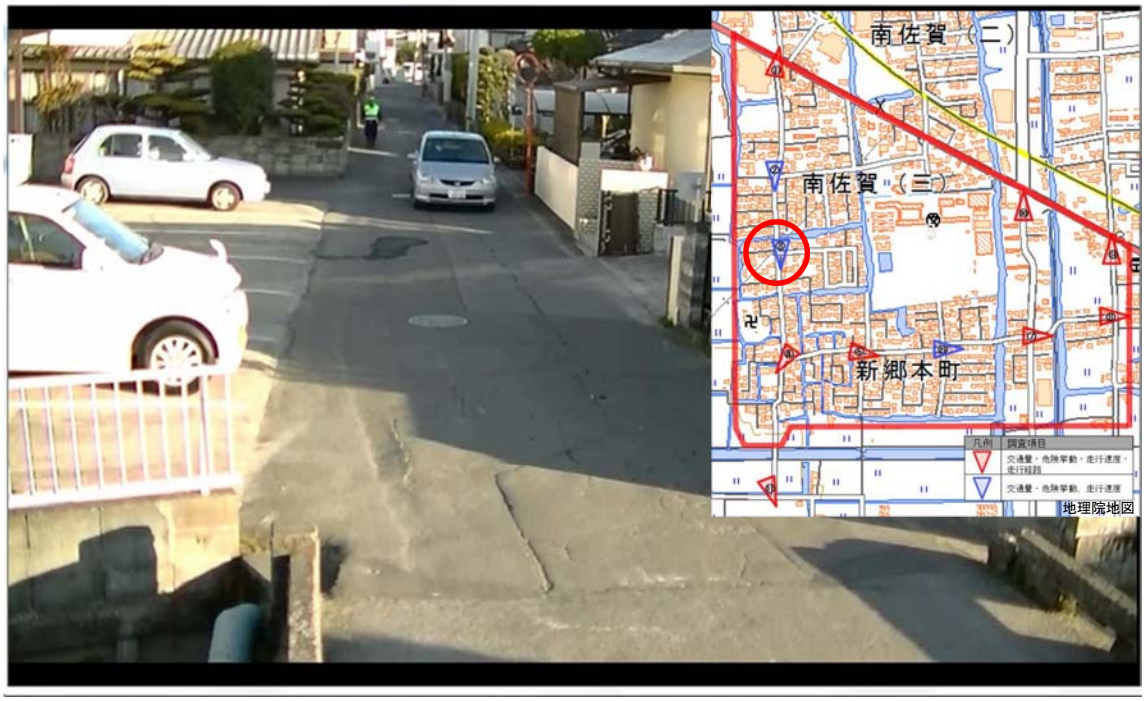
■現地調査結果【危険挙動】

（1）道路幅員が狭いためすれ違い時に車両と歩行者の距離が近い



■現地調査結果【危険挙動】

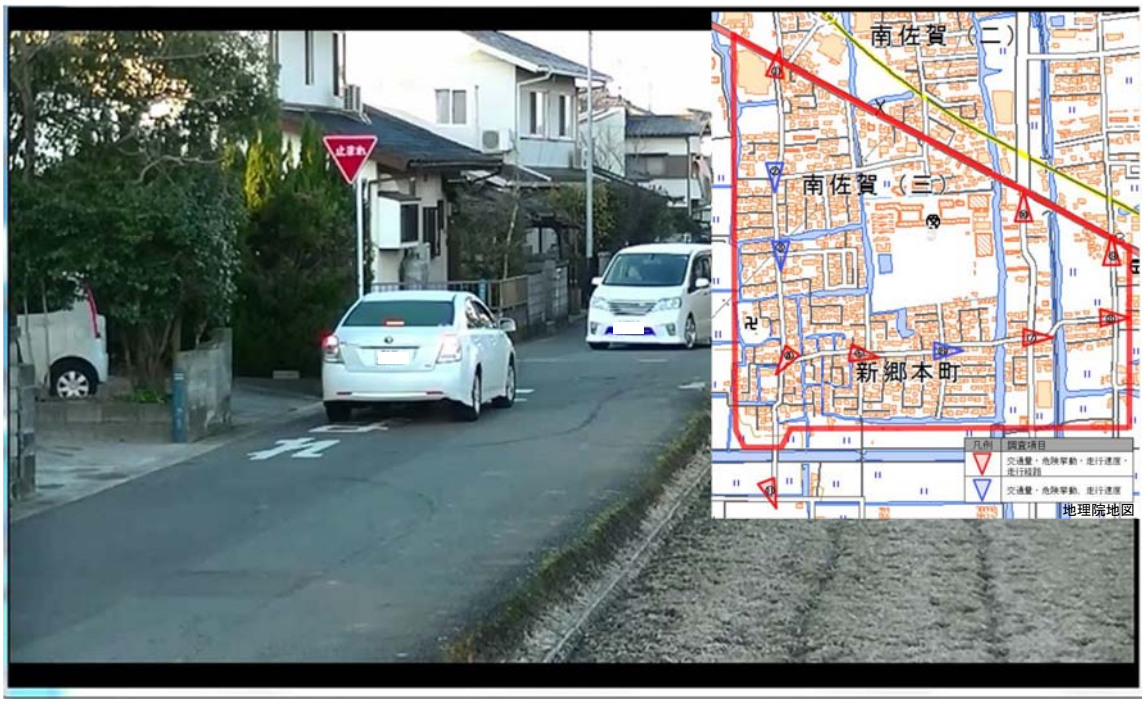
（2）通学路を通る車両と自転車の動線が錯綜する



15

■現地調査結果【危険挙動】

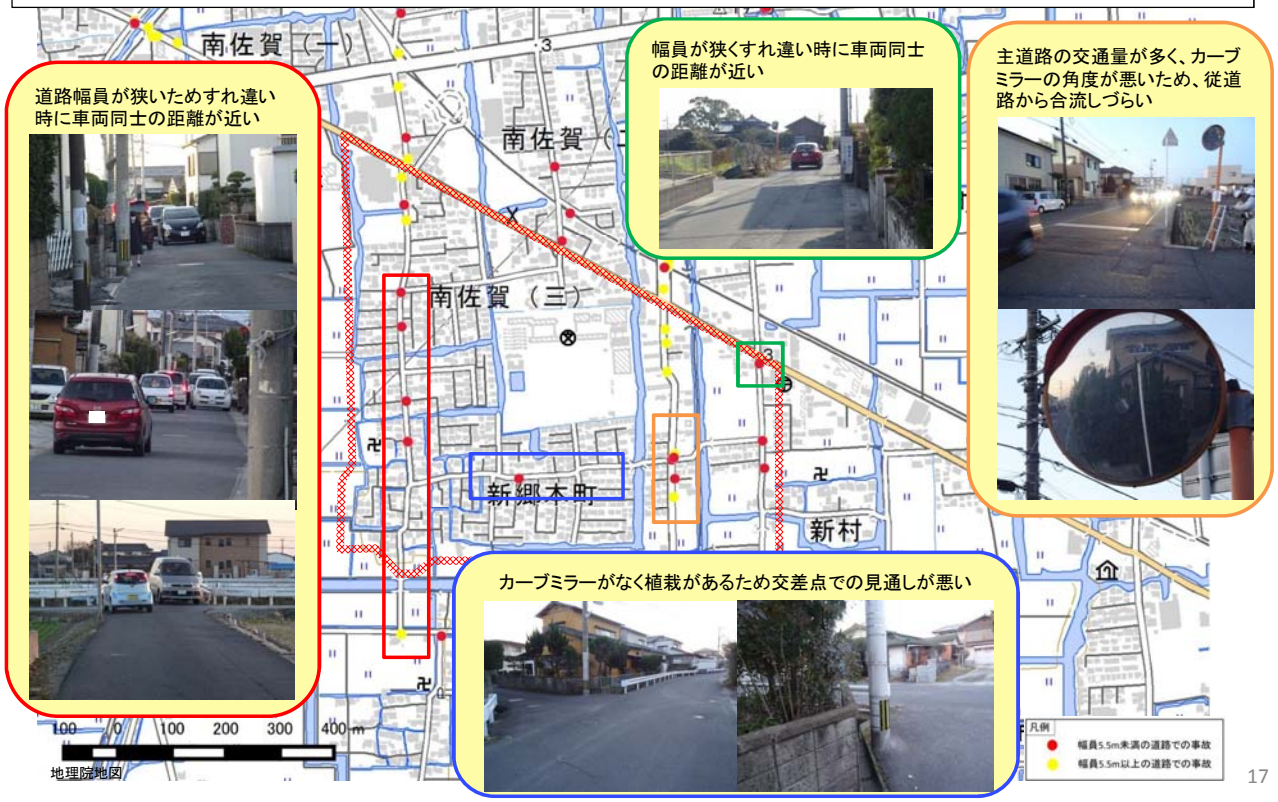
（3）横断歩道がないため、子供の乱横断(車両と車両の間を横断)が発生している



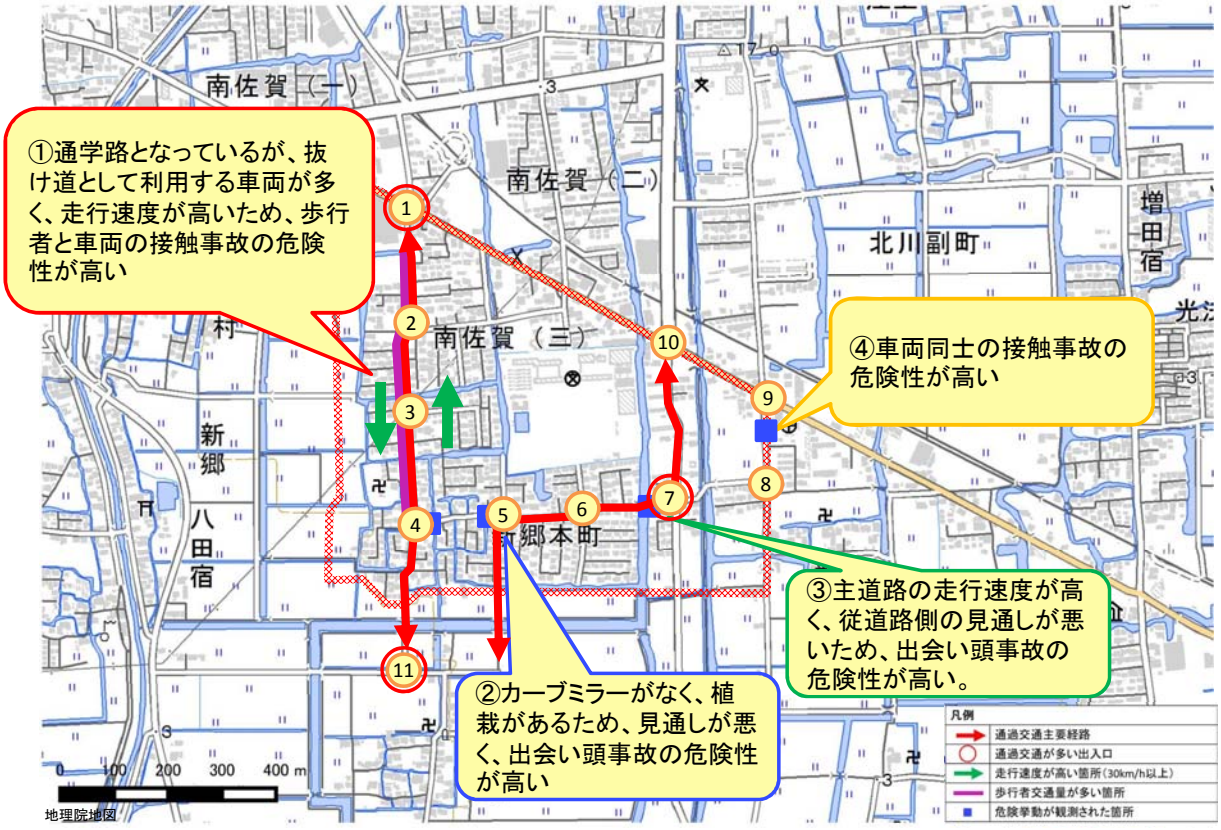
16

■現地調査結果【目視調査】

○　地域内では、道路幅が狭いことによる接触の危険性や、交差点での見通しの悪さによる車両同士の出会い頭事故の危険性がある。

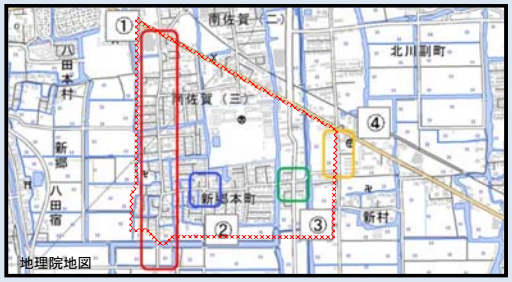


■現地調査結果【危険要因】



■要因と対策の整理

危険要因	方針	対策案
①抜け道利用が多く、走行速度が高いため、歩行者との接触事故の危険性が高い	車両の走行速度を抑制する 抜け道として利用する車両を減らす	ハンプの設置 時間帯を絞った通行規制 スムース横断歩道の設置
②交差点での見通しが悪く、出会い頭事故の危険性が高い	交差点での見通しを良くする ドライバーに出会い頭事故への注意喚起をする	交差点狭さく（入口を入り難くし、進入を抑制する） ボラードの設置 防護柵の設置
③主道路の走行速度が高く、従道路側の見通しが悪いため、出会い頭事故の危険性が高い。	ドライバーに出会い頭事故への注意喚起をする 車両の走行速度を抑制する	カーブミラーの設置 交差点のカラー化 注意喚起看板の設置
④道路幅員が狭く、すれ違い時に車両同士の接触事故の危険性が高い	すれ違い交通をなくす	狭さくの設置 注意喚起路面表示 通行規制



■安全対策メニュー

種類	安全対策メニュー（）内は安全対策の目的			
施設整備	交差点狭さく（速度抑制） 	スムース歩道（速度抑制、流入抑制） 	ボラード（速度抑制） 	ライジングボラード（流入抑制）
	ハンプ（速度抑制） 	狭さく（速度抑制） 	防護柵（物理的な分離） 	カラー舗装（注意喚起）
交通規制	ゾーン30（速度抑制） 	最高速度規制（速度抑制） 	一方通行化（流入抑制） 	

参考資料２　第1回検討会(WS)

- **説明資料　その1**

  ※住民説明会の説明資料を再利用（→参-2）

- **説明資料　その2**

- **配布資料**

- **回覧資料**

説明資料　その2

目的：第1回検討会にて、ワークショップの進め方の説明に使用

＜資料内容＞

・ワークショップとは

・ワークショップのテーマ

・ワークショップの進め方

・話合いのルール

ワークショップの進め方

ワークショップとは？

ワークショップとは、一方的な説明ではなく、
参加者全員が自ら参加し、
何かを学び合ったり、創り出したりする
手法のことです。

ワークショップのテーマ

佐賀東高校周辺エリアにおける危険箇所（ヒヤリハット箇所）の抽出

◆どこが危険？

（誰が？（歩行者・自転車・自動車）、いつ？）

◆どのように危険？

ワークショップの進め方 ～全体の流れ～

◆班に分かれます！　＜約5分＞

⇩

◆まずは自己紹介！　＜約5分＞

⇩

◆テーマについて話し合い！　＜約50分＞

⇩

◆話し合いの結果を発表！　＜約5分／班＞

ワークショップの進め方
～話合いの進め方～

①交通事故の危険性が高い箇所について、
危険な状況を付箋に書きましょう。
※お手伝いが必要な方はスタッフへお声かけ下さい。

②書いた付箋を、**地図に張り付け**ましょう。

③出された意見について、司会者を中心に、
ｸﾞﾙｰﾌﾟの意見としてとりまとめましょう。

④最後に、**結果の発表**をお願いします。

話合いのルール

◆**相手の意見を否定しない**ようにしましょう！
（自分と違う意見も尊重）

◆班で意見を一つにまとめるものではありません。
人と違う意見が重要なので、心配せずに発言しましょう！

◆色々な人から意見が出ることが重要なので、**一人が長時間話をしない**よう注意しましょう！

皆さんの地域の安全性が高まる
取り組みです。
ワークショップを楽しみましょう！

配布資料

目的：第1回検討会にて、参加者に配布

＜資料内容＞

・検討会の主旨

・本日の流れ

・ワークショップの流れ

・今後について

・交通安全対策メニュー一覧表（対策メニューリスト）

佐賀東高校周辺エリア交通安全対策検討会　第1回検討会について

平成28年11月13日(日)

◆検討会の主旨

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策を進めています。
この度、佐賀東高校周辺エリアをモデル地区に、
住民主導で交通安全対策を検討し、そのノウハウを
他の地域にも広げていきたいと考えています。

◆本日の流れ　【全体】 9:30～ 2時間程度

会議の内容	時間の目安
1)検討会の主旨説明	約5分
2)佐賀東高校周辺エリアの現状・問題の説明	約10分
3)ヒヤリマップ作成【ワークショップ】 ・自己紹介(5分)⇒問題箇所の書き出し(10分)⇒話し合い(45分)	約60分
4)ヒヤリマップ発表会	約5分/班
5)対策メニューのご紹介	約15分
6)今後について	－

◆ワークショップの流れ

①交通事故の危険性が高い箇所について、危険な状況
　を付箋に書きましょう。

②書いた付箋は、地図に張り付けましょう。
（できるだけ危険箇所の近くにおいて下さい）

③出された意見について、司会者を中心に、
グループの意見としてとりまとめましょう。

④最後に、結果の発表をお願いします。

◆今後について

12月上旬　第2回検討会
　　テーマ(案)：対策案の検討　など

1月中旬～2月中旬　社会実験

2月下旬～3月上旬　第3回検討会
　　テーマ(案)：社会実験の効果　など

引き続き、ご参加をお待ちしています。

【交通安全対策メニュー　一覧表】

種類	安全対策メニュー　（）内は安全対策の目的			
施設整備	狭さく （速度抑制） 	スムース歩道 （速度抑制、流入抑制） 	ライジングボラード （流入抑制） 	ハンプ （速度抑制）
	防護柵 （物理的な分離） 	カラー舗装 （注意喚起） 	道路空間再配分 （視覚的な分離） 	
交通規制	ゾーン30 （速度抑制） 	最高速度規制 （速度抑制） 	一方通行化 （流入抑制） 	
その他	生活道路における交通安全教育（車両・自転車・歩行者）			

回覧資料

目的:第1回検討会後に、地区住民に回覧

＜資料内容＞

・第1回検討会実施の報告

・第1回検討会の結果報告（ヒヤリマップ）

・第2回検討会の開催案内

北川副地区において第１回交通安全対策検討会を行いました。

平成 28 年 11 月〇日（〇）

11 月 13 日（日）（9:30～）に、北川副公民館にて『北川副地区第１回交通安全対策検討会』を開催しました。

●佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策を進めています。この度、北川副地区をモデル地区に住民主導で交通安全対策を考える第1回検討会を開催しました。

●第1回検討会は、『地域の危険箇所の抽出』を目的としました。当日は、参加者でグループをつくり、地域の危険な場所を皆さんで話し合い、最後にグループ毎にまとめた内容を発表し、皆さんで共有しました。

みなさん、真剣に、また楽しみながら、検討して頂きました!!

以下のような危険箇所が明らかになりました。

■第1回検討会のまとめ

・右折時間が短い
・右折車がいると左折車、直進車が通行できない

・中高生の自転車の往来が多い
・橋の歩道が急勾配になっている

・街灯がなく暗い

・自転車が並列走行が多く、左側通行もしていない
・見通しが悪い

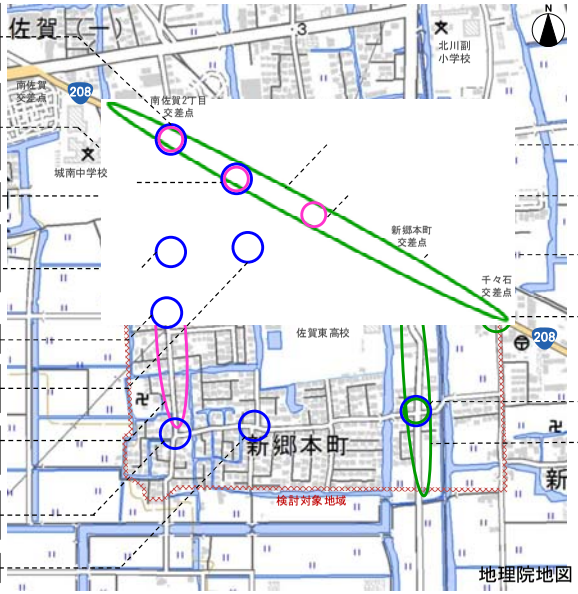
・橋幅が狭い

・自転車の往来が多い
・自転車の並列走行が多い

・道路が狭く、歩行者と自転車の通行が困難

・道路が狭い
・一時停止の表示がない

・一時停止の表示がない



＜凡例＞
ピンク：1班の意見
緑　：2班の意見
青　：3班の意見

※班は検討会当日の発表順で設定しています
また、対象地域外の意見や危険事象以外の意見は省略しています。

・歩道が狭い

・右側停車している高校生の自転車と自動車が接触しそう

・右折車がいると左折車、直進車が通行できない

・歩行者用信号の切り替わりが遅い
・道路が狭い

・交差点の見通しが悪い

・自動車の走行速度が速い

【全体的な問題】
・自動車の走行速度が高い
・白線が消えかかっている
・道路の出入口に30km/hの速度規制表示がない
・自転車運転マナーが悪い

第2回検討会では『対策案を検討』します!!

第2回検討会を以下の日時で開催します。

日時：12月11日（日）　9:30～

場所：北川副公民館

様々な方の意見が反映されることで、より良い安全対策がつくられます。2回目からでも問題なく話に参加できます。

皆さんのご参加をお待ちしています。

＜お問い合わせ先＞
佐賀市　建設部　道路整備課　武久、梅野
電話番号：0952－40－7176

参考資料３　第2回検討会(WS)

・説明資料

・配布資料

・WS用資料（大判図面：対策案）

・回覧資料

説明資料

目的：第2回検討会にて、対策素案・社会実験案の説明などに使用

＜資料内容＞

・検討会の主旨
・本日の流れ
・第1回検討会の振り返り
・対策案の検討（基本的な考え方）
・　　〃　　（対策素案（事務局案））
・　　〃　　（交通安全対策メニュー）
・ワークショップの進め方（ワークショップとは）
・　　〃　　（全体の流れ）
・　　〃　　（話合いの進め方）
・　　〃　　（話合いのルール）
・社会実験について（基本的な考え方）
・　　〃　　（社会実験案（事務局案））
・今後の予定

北川副地区
第2回交通安全対策検討会

日時：平成28年12月11日（日） 9:30～11:30
会場：北川副公民館

検討会の趣旨

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策を進めています。

この度、北川副地区をモデル地区に、住民主導で交通安全対策を検討し、

そのノウハウを他の地域にも広げていきたいと考えています。

本日の流れ

【全体】 9:30～ 2時間程度

会議の内容	時間の目安
1)検討会の主旨説明	約5分
2)第1回検討会の振り返り	約5分
3)対策案の検討 ①対策案(事務局案)の説明(20分) ②対策案の検討【ワークショップ】(60分) ＜ワークショップの流れ(例)＞ 自己紹介(5分)⇒事務局案への意見出し(10分)⇒話し合い(45分)	約80分
4)検討内容発表会	約5分/班
5)社会実験について	約10分
6)今後の予定のお知らせ	約5分

第1回検討会の振り返り

第1回検討会の振り返り

日時　　:平成28年11月13日(日) 9:30～11:30
会場　　:北川副公民館
参加人数:16名
目的　　:地区の課題抽出
議事内容:①検討会の趣旨説明
②北川副地区の現状・問題の説明
③ヒヤリマップ作成(ワークショップ)
⇒3班に分かれてヒヤリマップを作成
(地区の問題箇所を確認)
④ヒヤリマップ発表会
⑤対策メニューのご紹介
⑥今後について

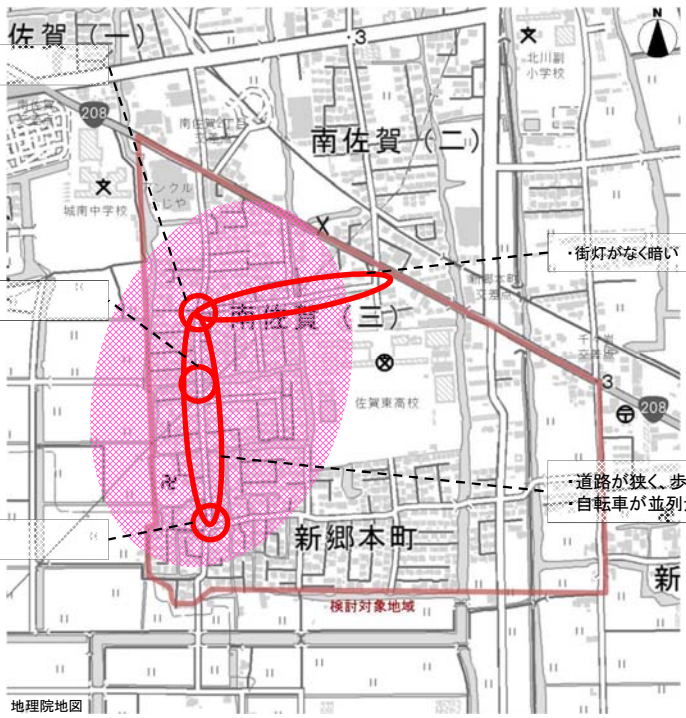
第1回検討会の振り返り
～北川副地区のヒヤリマップ～

◆生活道路の問題(その1)

・見通しが悪い

・橋幅が狭い

・一時停止の表示がない



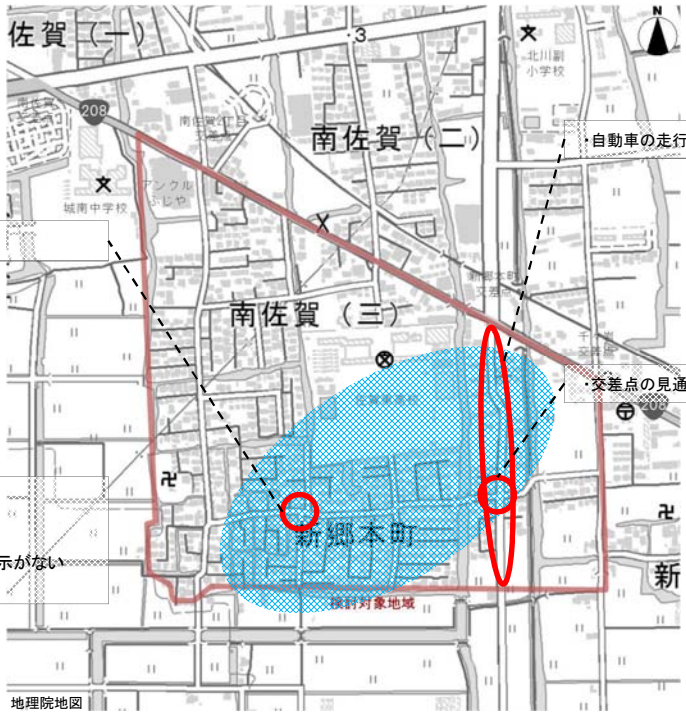
地理院地図

・街灯がなく暗い

・道路が狭く、歩行者と自転車の通行が困難
・自転車が並列走行が多く、左側通行もしていない

第1回検討会の振り返り
～北川副地区のヒヤリマップ～

◆生活道路の問題（その2）



・一時停止の表示がない

【生活道路における全体的な問題】
・自動車の走行速度が高い
・白線が消えかかっている
・道路の出入口に30km/hの速度規制表示がない
・自転車運転マナーが悪い

・自動車の走行速度が速い

・交差点の見通しが悪い

第1回検討会の振り返り
～北川副地区のヒヤリマップ～

◆幹線道路（国道208号）の問題

・歩道が狭い

・右折時間が短い
・右折車がいると左折車、直進車が通行できない

・中高生の自転車の往来が多い
・橋の歩道が急勾配になっている

・右側停車している高校生の自転車と自動車が接触しそう

・右折車がいると左折車、直進車が通行できない

・歩行者用信号の切り替わりが遅い
・道路が狭い

第1回検討会の振り返り
～北川副地区のヒヤリマップ～

・右折時間が短い
・右折車がいると左折車、直進車が通行できない

・中高生の自転車の往来が多い
・橋の歩道が急勾配になっている

・街灯がなく暗い

・自転車が並列走行が多く、左側通行もしていない
・見通しが悪い

・橋幅が狭い

・自転車の往来が多い
・自転車の並列走行が多い

・道路が狭く、歩行者と自転車の通行が困難

・道路が狭い
・一時停止の表示がない

・一時停止の表示がない

地理院地図

<凡例>
ピンク：1班の意見(南佐賀自治会)
緑　：2班の意見(千々岩団地自治会)
青　：3班の意見(新郷、南佐賀団地自治会)

※班は検討会当日の発表順で設定しています。
また、対象地域外の意見や危険事象以外の意見は省略しています。

・歩道が狭い

・右側停車している高校生の自転車と自動車が接触しそう

・右折車がいると左折車、直進車が通行できない

・歩行者用信号の切り替わりが遅い
・道路が狭い

・交差点の見通しが悪い

・自動車の走行速度が速い

【全体的な問題】
・自動車の走行速度が高い
・白線が消えかかっている
・道路の出入口に30km/hの速度規制表示がない
・自転車運転マナーが悪い

9

対策案の検討

10

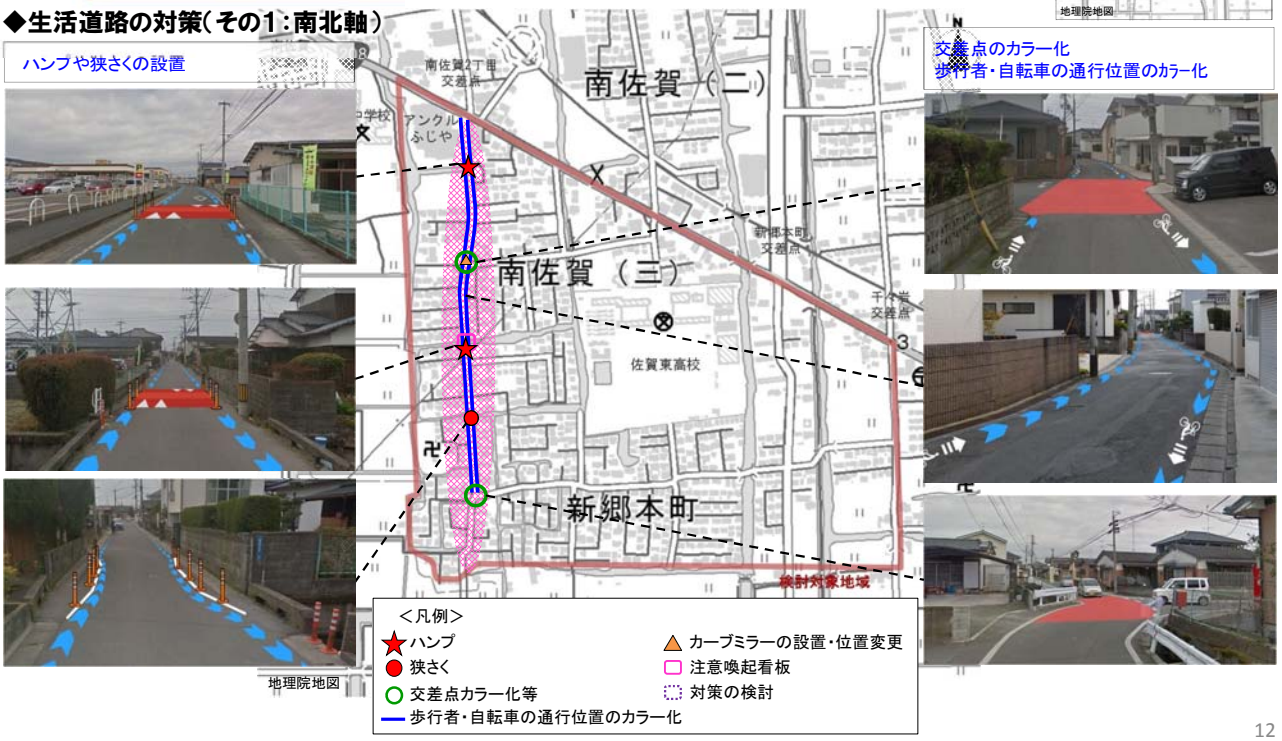
対策案の検討
～基本的な考え方～

問題内容	対応方針	対策メニュー
①抜け道車両が多い	抜け道車両を減らす	ゾーン30、 通行規制（時間帯を絞った通行規制）
②車両の走行速度が高い	車両の走行速度を抑制する	ハンプ、狭さく
③道路幅員が狭い （接触事故の危険性が高い）	歩行者や自転車の通行位置を明確にする	歩行者・自転車の通行位置のカラー化
④交差点での見通しが悪い （出会い頭事故の危険性が高い）	ドライバーに出会い頭事故への注意喚起をする	注意喚起 （交差点のｶﾗｰ化、注意喚起看板、路面標示）
	交差点での見通しを良くする	カーブミラーの設置・位置調整
⑤自転車の並列走行や右側通行が多い	自転車の運転マナーを向上させる	自転車のマナー教育
⑥幹線道路への出入りに時間がかかる	車線運用を変更する （左折、直進、右折の組合せ）	車線運用の変更 （現状の道路幅内）
	信号時間を調整する	信号時間の調整

※対策メニューについて、早期に効果発現が期待できる対策（短期対策）のみを示しています。

対策案の検討
～対策案（事務局案）～

◆生活道路の対策（その1：南北軸）



※対策案(事務局案)について、記載されている内容は実施の確定を示すものではありません。

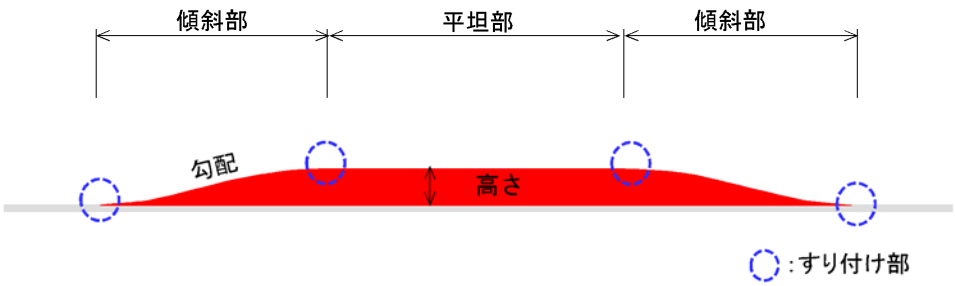
対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：ハンプ

13

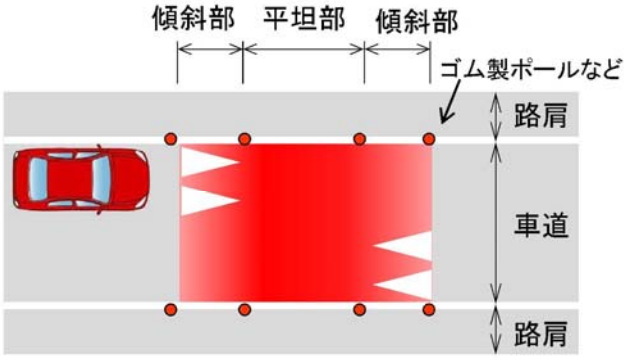
対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：ハンプ

■ 概要図　H-3

（断面図）



（平面図）



14

対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：ハンプ

◆動画（福岡県新宮町のハンプ設置例）

15

対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：狭さく

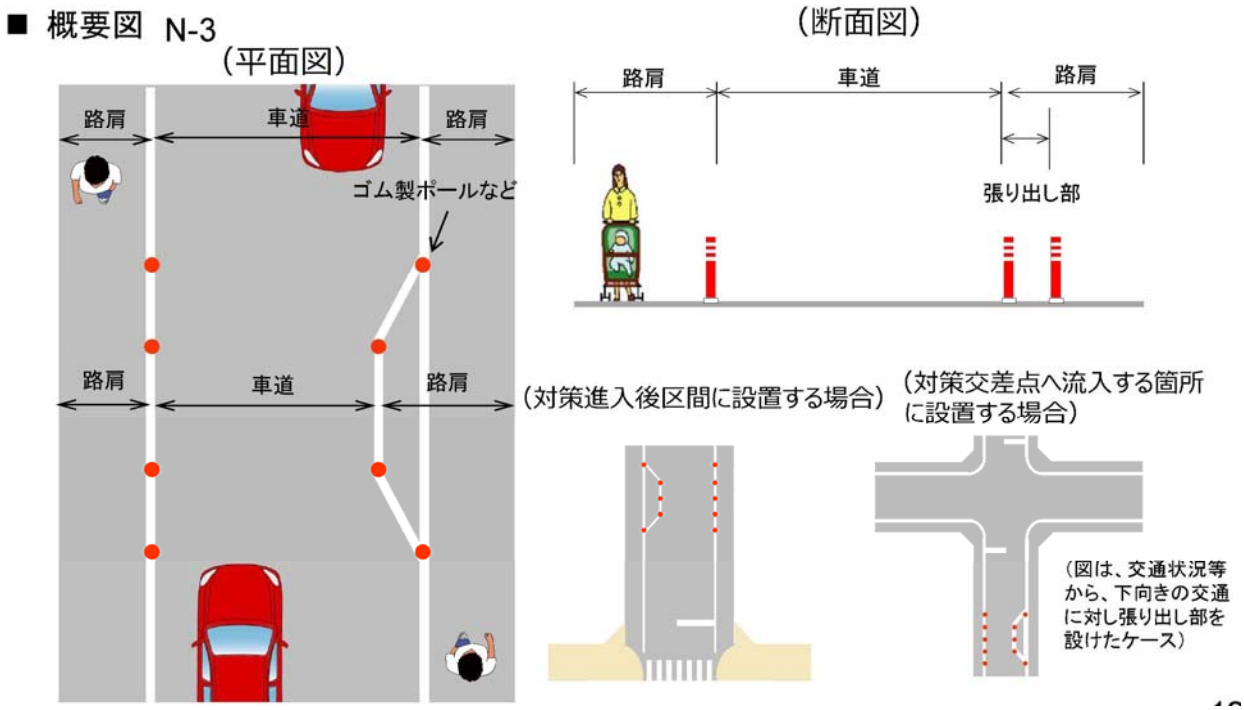
16

対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：狭さく（交差点）

17

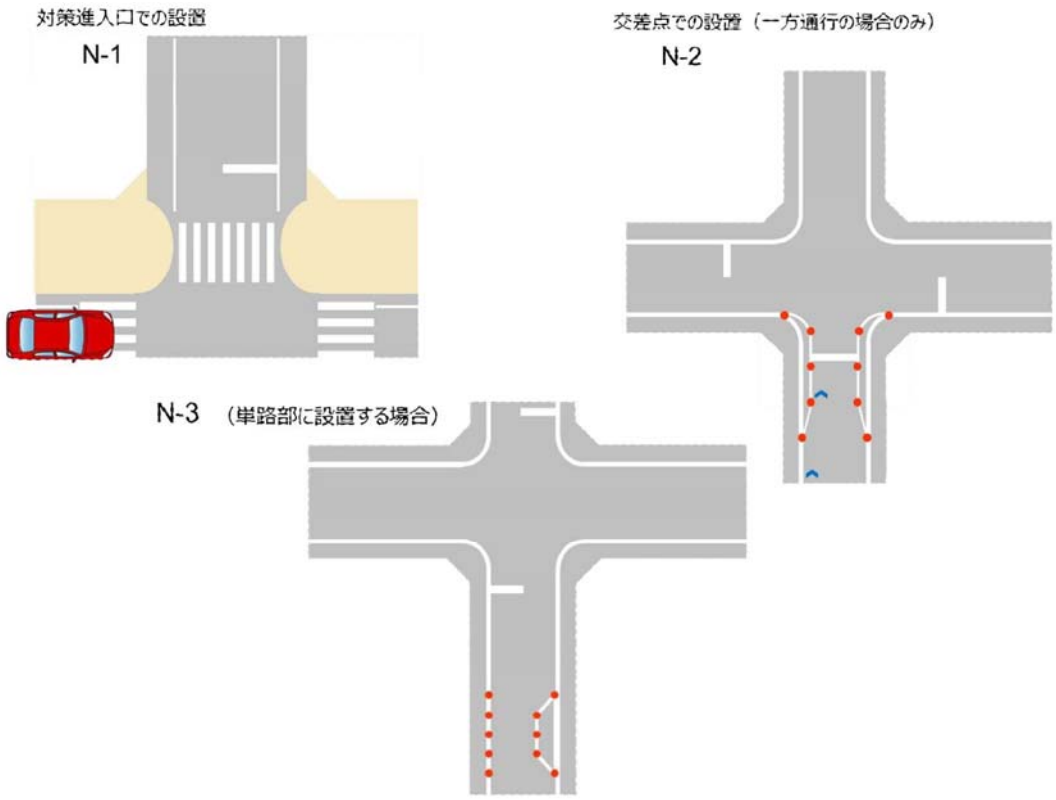
対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：狭さく

■ 概要図 N-3



18

対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：狭さく



19

対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：カラー舗装

20

対策案の検討 【参考】交通安全対策メニュー：道路空間の再配分

対策案の検討
～対策案（事務局案）～

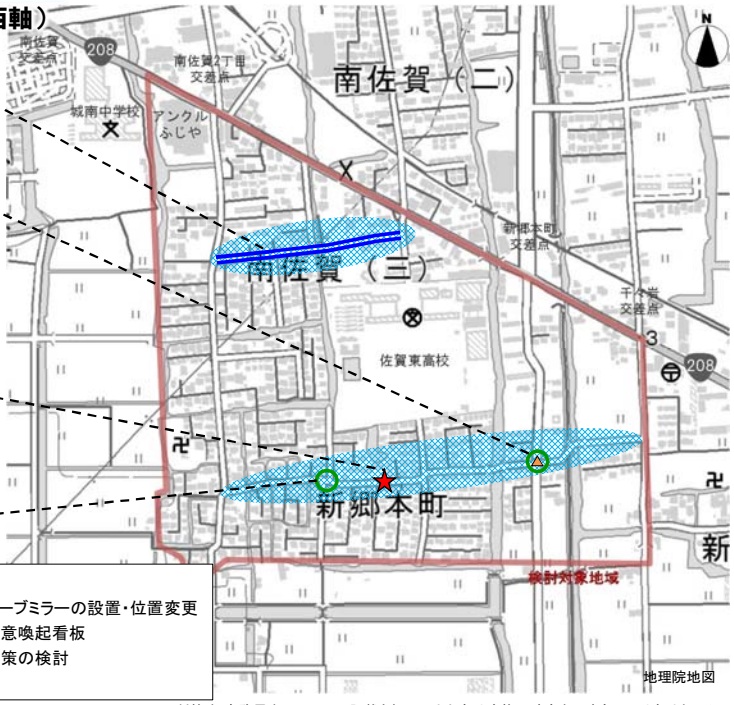
◆生活道路の対策（その2：東西軸）

歩行者・自転車の通行位置のカラー化

カーブミラーの位置調整、
交差点のカラー化

ハンプの設置

一時停止の検討（南北方向）、
交差点のカラー化



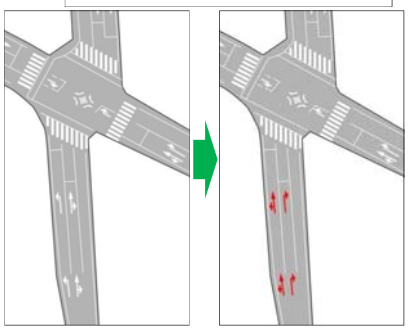
＜凡例＞
- ハンプ
- 狭さく
- 交差点カラー化等
- 歩行者・自転車の通行位置のカラー化
- カーブミラーの設置・位置変更
- 注意喚起看板
- 対策の検討

※対策案(事務局案)について、記載されている内容は実施の確定を示すものではありません。

対策案の検討
～対策案（事務局案）～

◆幹線道路（国道208号）の対策

車線運用の変更の検討
（左折・直進＋右折に変更）
（※今後警察協議）



段差対策の検討

信号時間の検討

＜凡例＞
- ハンプ
- 狭さく
- 交差点カラー化等
- 歩行者・自転車の通行位置のカラー化
- カーブミラーの設置・位置変更
- 注意喚起看板
- 対策の検討

地理院地図

※対策案(事務局案)について、記載されている内容は実施の確定を示すものではありません。

23

対策案の検討
～対策案（事務局案）～

⇒対策案(事務局案)をまとめたこの図面については、
ワークショップで大判に印刷したものを用意します。
詳細はそちらをご覧頂き、内容についてご検討お願いします。

24

ワークショップの進め方

25

ワークショップとは？

ワークショップとは、一方的な説明ではなく、
参加者全員が自ら参加し、
何かを学び合ったり、創り出したりする
手法のことです。

26

ワークショップのテーマ

北川副地区での
生活道路の交通安全に関する
対策案の検討
（事務局案をたたき台にして検討）

◆事務局案の内容で十分？
◆　〃　で不都合はない？
◆　〃　よりもっと良くなる方法はない？

ワークショップの進め方
～全体の流れ～

◆班に分かれます！　＜約5分＞

⇩

◆まずは自己紹介！　＜約5分＞

⇩

◆テーマについて話し合い！　＜約50分＞

⇩

◆話し合いの結果を発表！　＜約5分／班＞

ワークショップの進め方
～話合いの進め方～

①対策案（事務局案）について、
追加対策や事務局案への意見などを付箋に書きましょう。
※お手伝いが必要な方はスタッフへお声かけ下さい。
②書いた付箋を、**地図に張り付け**ましょう。
③出された意見について、司会者を中心に、
ｸﾞﾙｰﾌﾟの意見としてとりまとめましょう。
④最後に、**結果の発表**をお願いします。

29

話合いのルール

◆**相手の意見を否定しない**ようにしましょう！
（自分と違う意見も尊重）

◆班で意見を一つにまとめるものではありません。
人と違う意見が重要なので、心配せずに発言しましょう！

◆色々な人から意見が出ることが重要なので、**一人が長時間話をしない**よう注意しましょう！

30

皆さんの地域の安全性が高まる
取り組みです。
ワークショップを楽しみましょう！

社会実験について

社会実験について
～基本的な考え方～

一部の対策について、社会実験で効果や影響を確認します。
（下表の赤字の対策）

No	対策メニュー	社会実験の実施	備考（社会実験をしない理由）
1	**ハンプ**	○	―
2	**狭さく**	○	―
3	**交差点カラー化**	○	―
4	**歩行者・自転車の通行位置のカラー化**	○	―
5	停止線・外側線の表示・塗り直し	―	効果が明らかなため
6	カーブミラー	―	同上
7	看板	―	同上
8	街灯の設置・点検	―	同上
9	自転車のマナー教育	―	同上
10	信号時間の検討	―	検討中のため
11	車線運用の変更の検討	―	同上

33

社会実験について
～社会実験案（事務局案）～

◆社会実験案（ハンプ・狭さく）

●ハンプ・狭さくは、効果や影響の確認を特に十分に行うため、全箇所で社会実験を行う。

ハンプの設置

ハンプの設置

狭さくの設置

ハンプの設置

34

社会実験について
～社会実験案（事務局案）～

◆社会実験案（カラー化）

●カラー化(交差点・通行位置)は全箇所で行わず、代表的な南北軸で社会実験を行う。

交差点のカラー化

自転車の通行位置のカラー化

交差点のカラー化

地理院地図

社会実験について
～社会実験案（事務局案）～

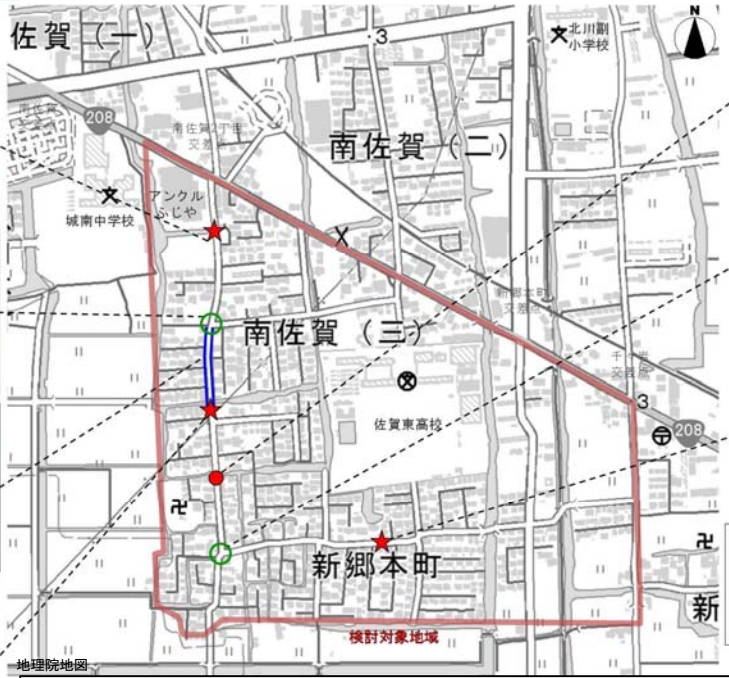
◆社会実験案（事務局案）

ハンプの設置

交差点のカラー化

自転車の通行位置のカラー化

ハンプの設置



地理院地図

狭さくの設置

交差点カラー化

ハンプの設置

<凡例>
- ハンプ
- 狭さく
- 交差点カラー化
- 自転車の通行位置のカラー化

●社会実験は1月15日（日）～2月17日（金）の期間で実施予定
●期間中に効果検証の調査を実施予定（ビデオ調査、アンケート調査、ヒアリング調査）

今後の予定のお知らせ

1月15日(日)～2月17日(金)　社会実験

※1月15日(日)は来て頂いた方と一緒にハンプの設置等を行います。
　当日の詳細については、後日お知らせいたします。
※社会実験中に効果検証のための調査を実施します
　（ビデオ調査、アンケート調査、ヒアリング調査）

3月上旬～中旬　第3回検討会

テーマ(案)：社会実験の効果　など

引き続き、ご参加をお待ちしています。

37

配布資料

目的：第2回検討会にて、参加者に配布

＜資料内容＞

・検討会の主旨

・本日の流れ

・ワークショップの流れ

・今後について

・第1回検討会のまとめ（ヒヤリマップ）

・対策案の基本的な考え方

・交通安全対策メニュー一覧表（対策メニューリスト）

北川副地区交通安全対策検討会　第2回検討会について

平成28年12月11日(日)

◆検討会の主旨

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策を進めています。
この度、**北川副地区をモデル地区に、**
住民主導で交通安全対策を検討し、
その/ウハウを他の地域にも広げていきたいと考えています。

◆本日の流れ　【全体】 9:30～ 2時間程度

会議の内容	時間の目安
1)検討会の主旨説明	約5分
2)第1回検討会の振り返り	約5分
3)対策案の検討 ①対策案(事務局案)の説明(20分) ②対策案の検討 【ワークショップ】(60分) ＜ワークショップの流れ(例)＞ 自己紹介(5分)⇒事務局案への意見出し(10分)⇒話し合い(45分)	約80分
4)検討内容発表会	約5分/班
5)社会実験について	約10分
5)今後の予定のお知らせ	約5分

◆ワークショップの流れ

①対策案(事務局案)について、追加対策や事務局案への意見を付箋に書きましょう。

②書いた付箋は、地図に張り付けましょう。
(できるだけ対策箇所の近くにおいて下さい)

③出された意見について、司会者を中心にグループの意見としてとりまとめましょう。

④最後に、結果の発表をお願いします。

◆今後について

1月15日(日)～2月17日(金)　社会実験

※1月15日(日)は来て頂いた方と一緒にハンプの設置等を行います。
当日の詳細については、後日お知らせいたします。

※社会実験中に効果検証のための調査を実施します
(ビデオ調査、アンケート調査、ヒアリング調査)

3月上旬～中旬　第3回検討会

テーマ(案):社会実験の効果　など

引き続き、ご参加をお待ちしています。

■第１回検討会のまとめ（北川副地区のヒヤリマップ）

・右折時間が短い
・右折車がいると左折車、直進車が通行できない

・中高生の自転車の往来が多い
・橋の歩道が急勾配になっている

・街灯がなく暗い

・自転車が並列走行が多く、左側通行もしていない
・見通しが悪い

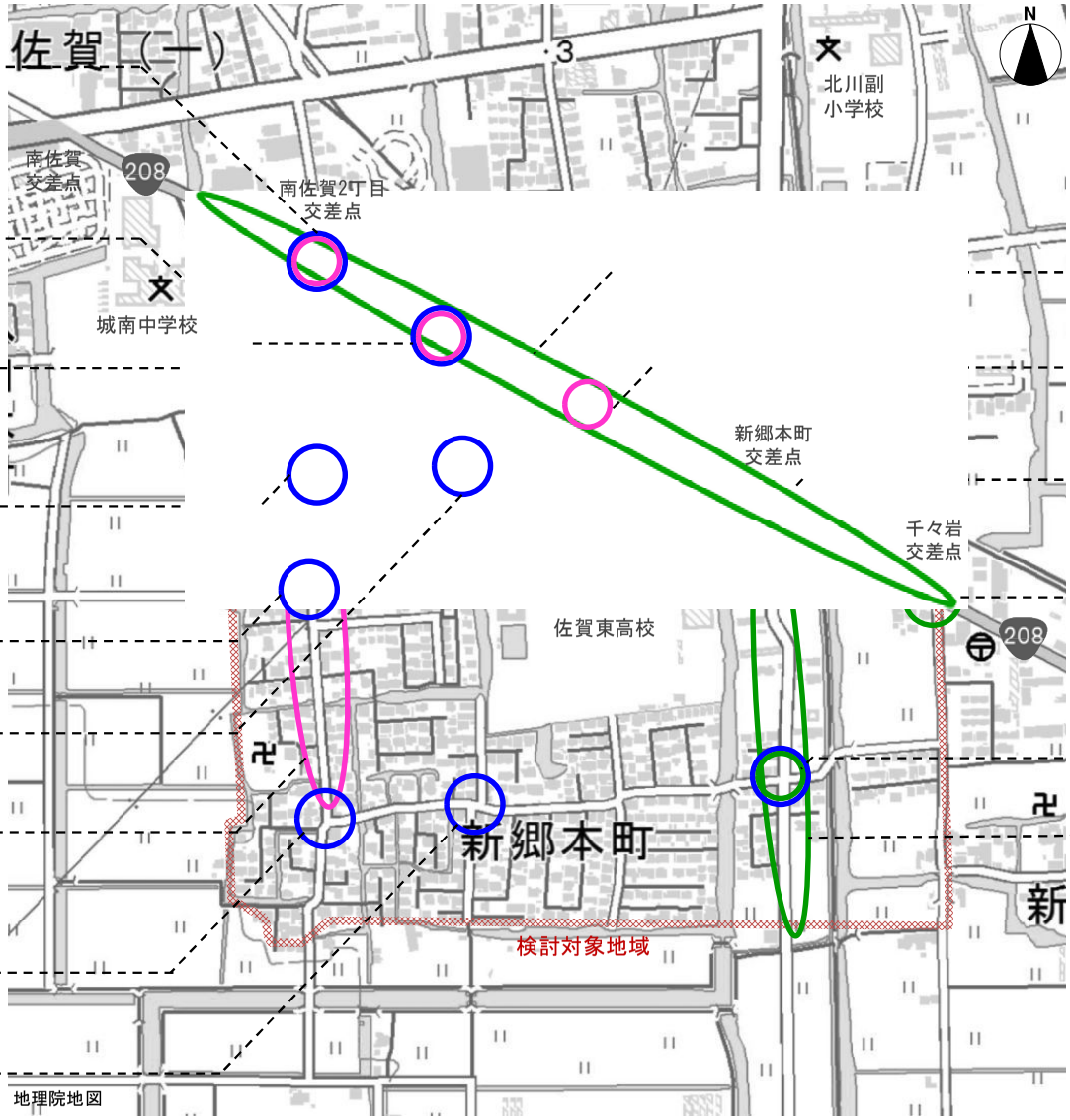
・橋幅が狭い

・自転車の往来が多い
・自転車の並列走行が多い

・道路が狭く、歩行者と自転車の通行が困難

・道路が狭い
・一時停止の表示がない

・一時停止の表示がない



＜凡例＞
ピンク：1班の意見（南佐賀自治会）
緑　：2班の意見（千々岩団地自治会）
青　：3班の意見（新郷、南佐賀団地自治会）

※班は検討会当日の発表順で設定しています。
　また、対象地域外の意見や危険事象以外の意見は省略しています。

・歩道が狭い

・右側停車している高校生の自転車と自動車が接触しそう

・右折車がいると左折車、直進車が通行できない

・歩行者用信号の切り替わりが遅い
・道路が狭い

・交差点の見通しが悪い

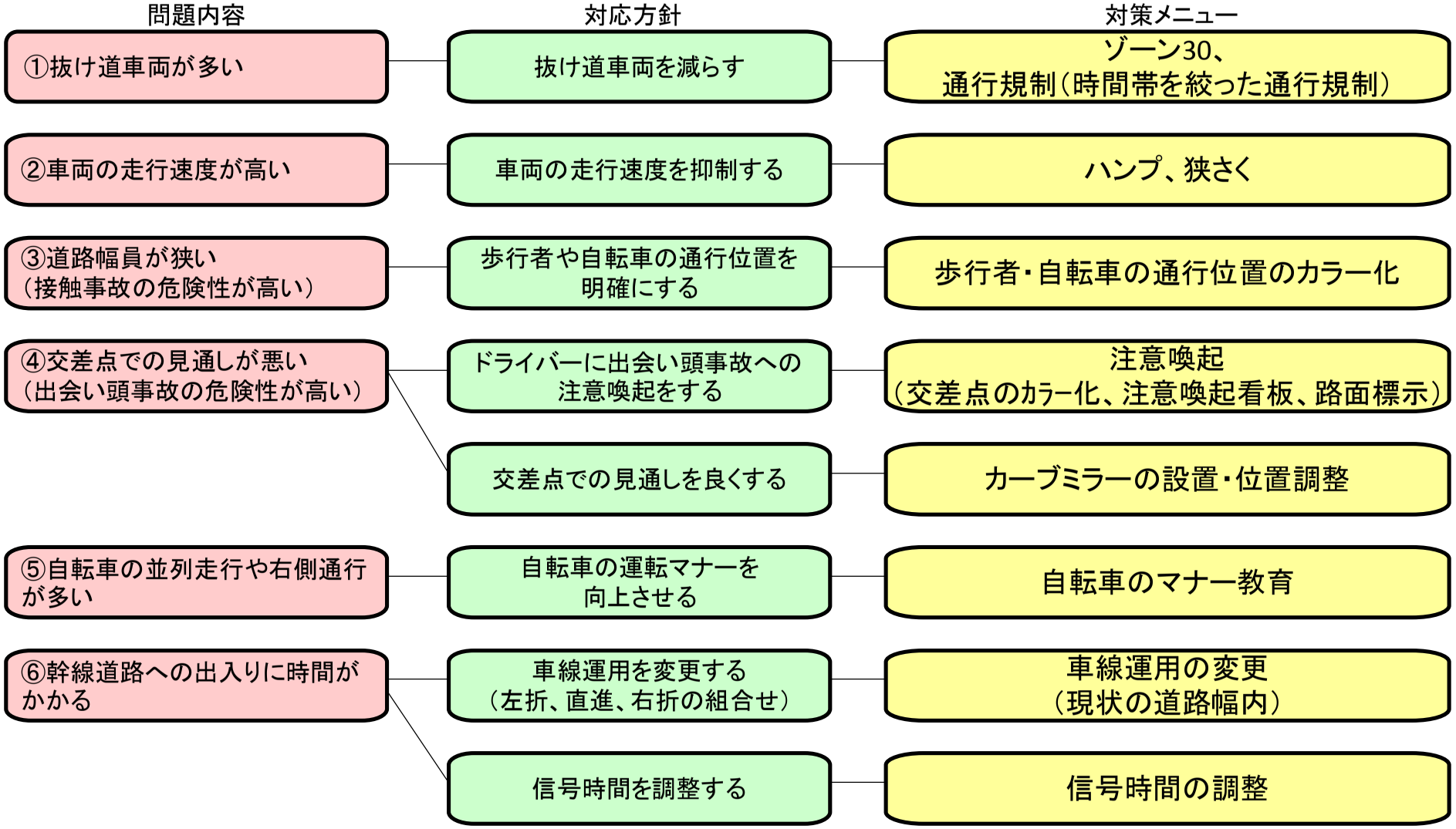
・自動車の走行速度が速い

【全体的な問題】
・自動車の走行速度が高い
・白線が消えかかっている
・道路の出入口に30km/hの速度規制表示がない
・自転車運転マナーが悪い

北川副地区交通安全対策検討会　第2回検討会　ワークショップ参考資料

平成28年12月11日(日)

■対策案の基本的な考え方



※対策メニューについて、早期に効果発現が期待できる対策(短期対策)のみを示している。

■交通安全対策メニュー　一覧表

種類	安全対策メニュー　（）内は安全対策の目的			
施設整備	狭さく （速度抑制） 	スムース歩道 （速度抑制、流入抑制） 	ライジングボラード （流入抑制） 	ハンプ （速度抑制）
	防護柵 （物理的な分離） 	カラー舗装 （注意喚起） 	防護柵 （物理的な分離） 	
交通規制	ゾーン30 （速度抑制） 	最高速度規制 （速度抑制） 	一方通行化 （流入抑制） 	
その他	生活道路における交通安全教育（車両・自転車・歩行者）			

WS用資料（大判図面：対策案）

目的:第2回検討会ワークショップにて、意見等の記入用に各班に用意

＜資料内容＞

・対策案（事務局案）の内容、位置図

対策案（事務局案）

＜全体的な対策＞
停止線・外側線の塗り直し・新設、
ゾーン３０の申請、看板設置、
自転車マナー教育

＜凡例＞
- ハンプ
- 狭さく
- 交差点のカラー化等
- 歩行者・自転車の通行位置のカラー化
- カーブミラーの設置・位置変更
- 注意喚起看板
- 対策の検討

《対策案のイメージ》

①ハンプ

②交差点のカラー化

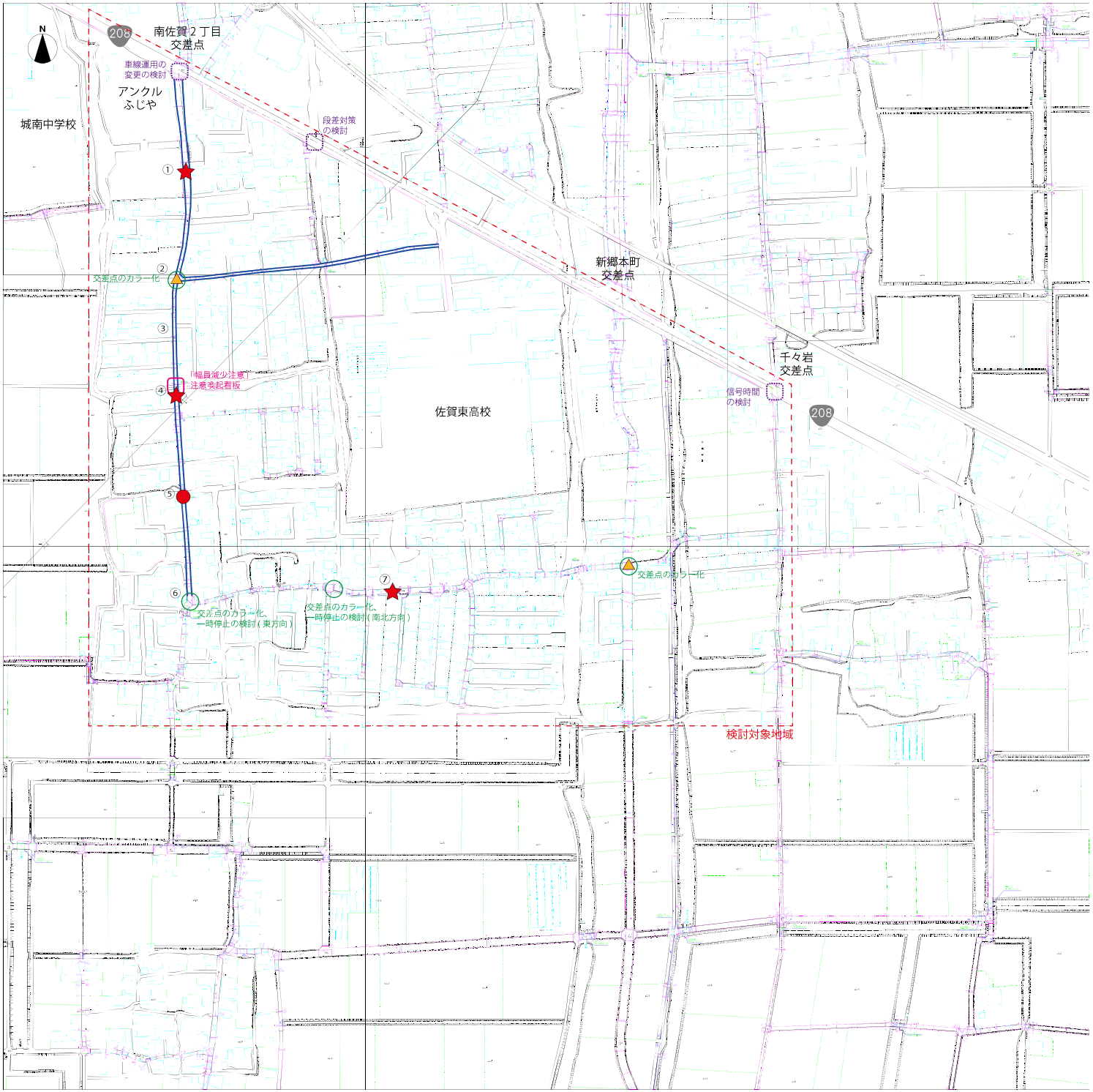
③歩行者・自転車の通行位置のカラー化

④ハンプ

⑤狭さく

⑥交差点のカラー化

⑦ハンプ



＜ワークショップで検討する内容＞
①事務局案の内容で対策は十分か。
②事務局案の内容を実施する際、不都合のある箇所がないか。
③もっとより良い案がないか。

＜事務局案について＞
●対策案（事務局案）について、記載されている内容は実施の確定を示すものではありません。

回覧資料

目的：第2回検討会後に、地区住民に回覧

＜資料内容＞

・第2回検討会実施の報告

・社会実験のおしらせ

・社会実験の施工参加の呼びかけ

北川副地区において第2回交通安全対策検討会を行いました。

平成 28 年 12 月〇日(〇)

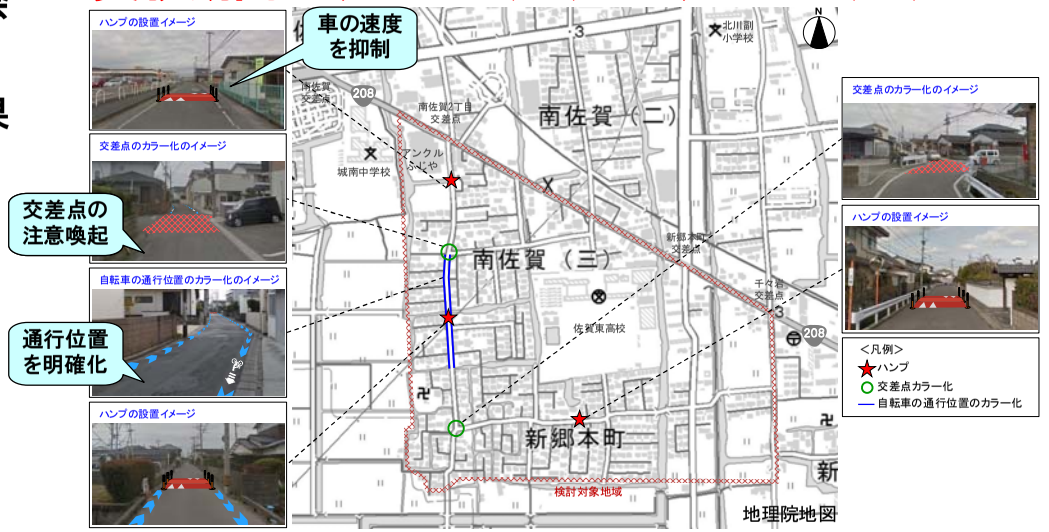
12月 11日(日)(9:30～)に、北川副公民館にて『北川副地区第 2 回交通安全対策検討会』を開催しました。

- 第2回検討会は、『対策案の検討』を目的に、第 1 回検討会で挙げられた危険箇所への対策案を話し合いました。
- 今回頂いた意見と、これから行う社会実験の効果検証の結果をもとに、最終案を検討します。

＜今までの経緯＞
佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策として、北川副地区をモデル地区に住民主導で交通安全対策を進めています。
第 1 回検討会では、地域の危険箇所の抽出を行いました。

第2回検討会で挙げられた対策案のうち、ハンプ、カラー化について、社会実験※1で効果等の検証を行います。

実験期間:1月15 日(日)～2 月17 日(金)※2



※1:期間中の対策は仮設であり、効果等を検証して最終的に設置の有無や設置位置を決定します。
※2:期間中に問題が発生した場合は、必要に応じて対策の撤去や実験期間の見直し等を行います。

社会実験の対策を一緒に実施しませんか?

社会実験用のハンプ等の設置を以下の日時で実施します。

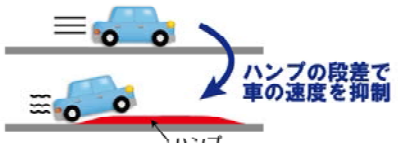
日時:1月15 日(日) 〇:〇〇～

場所:〇〇〇〇

地域の安全は地域の手で!!

地域の安全を守るための対策を一緒に設置しませんか？
皆さんのご参加をお待ちしています。

＜お問い合わせ先＞
佐賀市 建設部 道路整備課 武久、梅野
電話番号:0952－40－7176



参考資料４　社会実験

・社会実験計画書

・役割分担表

・ハンプレンタルの申請書（国総研）

・各種申請書（竣工届含む）

・配布資料

・マスコミ投込み資料

社会実験計画書

目的：社会実験に際して提出する、各種申請書の添付資料用に作成

＜資料内容＞

・社会実験内容（社会実験の目的）
・　　〃　　（対策内容及び対策箇所）
・　　〃　　（社会実験期間）
・ハンプ設置・撤去に関する通行規制（規制図）
・　　〃　　（ハンプの仕様及び数量等）

平成 28 年度
佐賀国道管内交通事故分析検討外業務

社会実験計画書

平成 29 年 1 月

目　次

1 社会実験内容 1

1.1 社会実験の目的 1
1.2 対策内容及び対策箇所 1
1.3 社会実験期間 5

2 ハンプ設置・撤去に関する通行規制 6

1 社会実験内容

1.1 社会実験の目的

北川副地区で検討されている生活道路の交通安全対策のうち、設置位置や設置方法により想定した効果を発現しない、または想定外の悪影響が出る可能性のある一部の対策について、社会実験を行い、対策の効果や影響を確認する。

1.2 対策内容及び対策箇所

社会実験を行う対策は、以下表 1−1、図 1−1 に示す 6 箇所とする。

表 1-1　対策内容一覧

No	対策内容	対策箇所
1	ハンプＡ	新郷下武線（起点より約 80m）
2	ハンプＢ	新郷下武線（起点より約 350m）
3	ハンプＣ	光法新郷線（起点より約 1.4 km）
4	交差点カラー化Ａ	新郷下武線（起点より約 230m）
5	交差点カラー化Ｂ	新郷下武線（起点より約 590m）
6	自転車通行位置 カラー化Ａ	新郷下武線（起点より約 230m～460m 間）

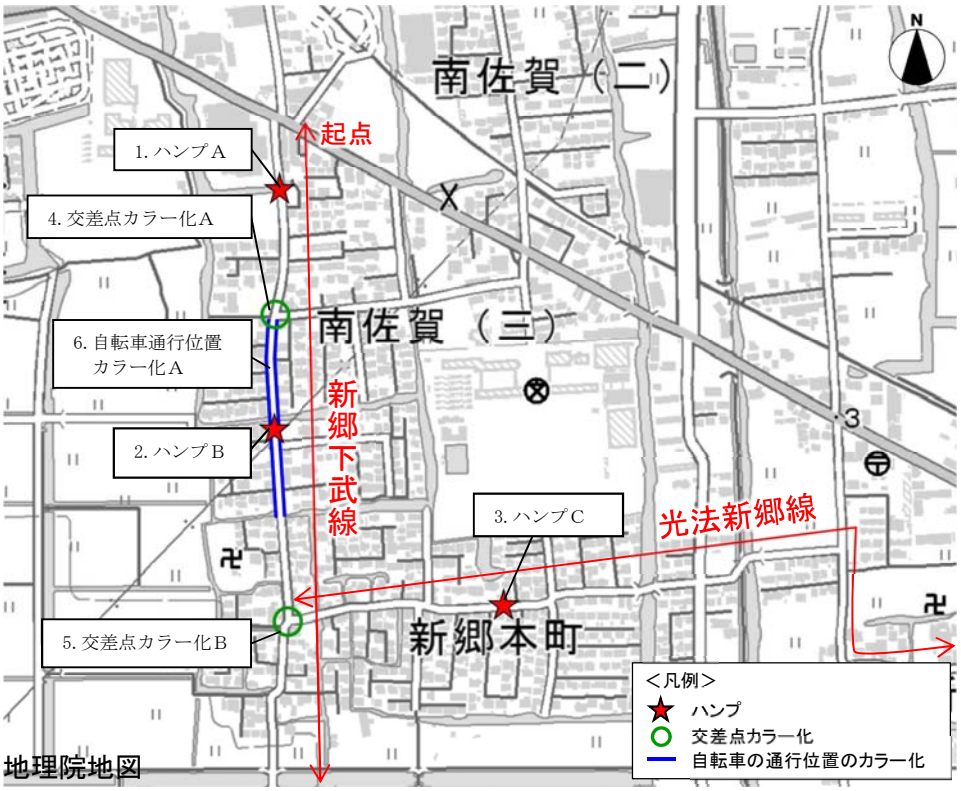
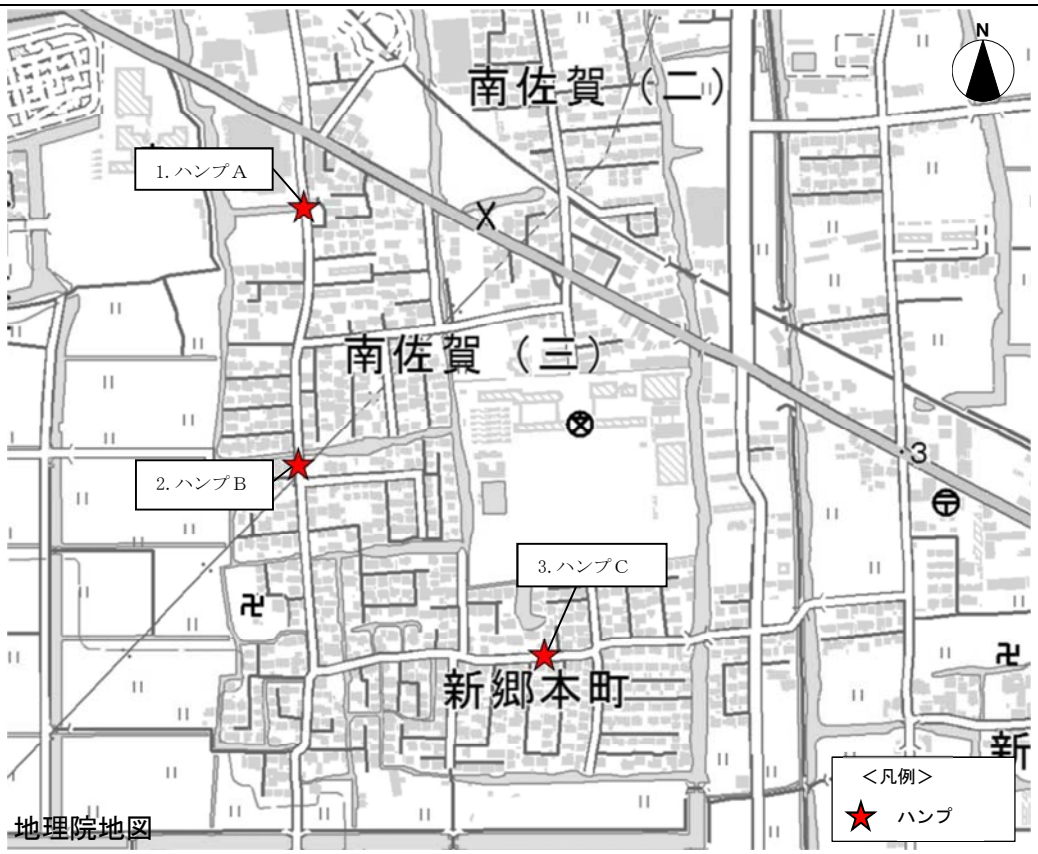


図 1-1　社会実験位置図

1.2.1 ハンプ

ハンプの設置箇所について、現状と施工後のイメージを以下に示す。

表 1-2　ハンプ設置箇所見取り図



No.	地点	設置箇所	現況写真	設置後イメージ図
1	ハンプA	新郷下武線 （起点より約 80m）		
2	ハンプB	新郷下武線 （起点より約 350m）		
3	ハンプC	光法新郷線 （起点より 約 1.4 km）		

1.2.1 交差点のカラー化

交差点のカラー化の設置箇所について、現状と施工後のイメージを以下に示す。

表 1-3　交差点カラー化設置箇所見取り図

No.	地点	設置箇所	現況写真	設置後イメージ図
4	交差点の カラー化Ａ	新郷下武線 （起点より約 230m）		
5	交差点の カラー化Ｂ	新郷下武線 （起点より約 590m）		

1.2.1 自転車の通行位置のカラー化

自転車の通行位置のカラー化の設置箇所について、現状と施工後のイメージを以下に示す。

表 1-4　自転車通行位置カラー化設置箇所見取り図

No.	地点	設置箇所	現況写真	設置後イメージ図
6	自転車 通行位置 カラー化Ａ	新郷下武線 （起点より約 230m ～460m 間）		

1.3 社会実験期間

社会実験を実施する期間を以下に示す。

なお、社会実験期間中に問題が発生した場合は、必要に応じて対策の撤去や実験期間の見直し等を実施する。

表 1-5　社会実験調査日程

社会実験期間
平成 29 年 1 月 15 日（日）～ 平成 29 年 2 月 17 日（金）

2 ハンプ設置・撤去に関する通行規制

ハンプ（A～C）の設置及び撤去は、通行規制を伴って実施する。
各ハンプの設置・撤去についての通行規制の内容を以下に示す。

■ハンプA設置・撤去時

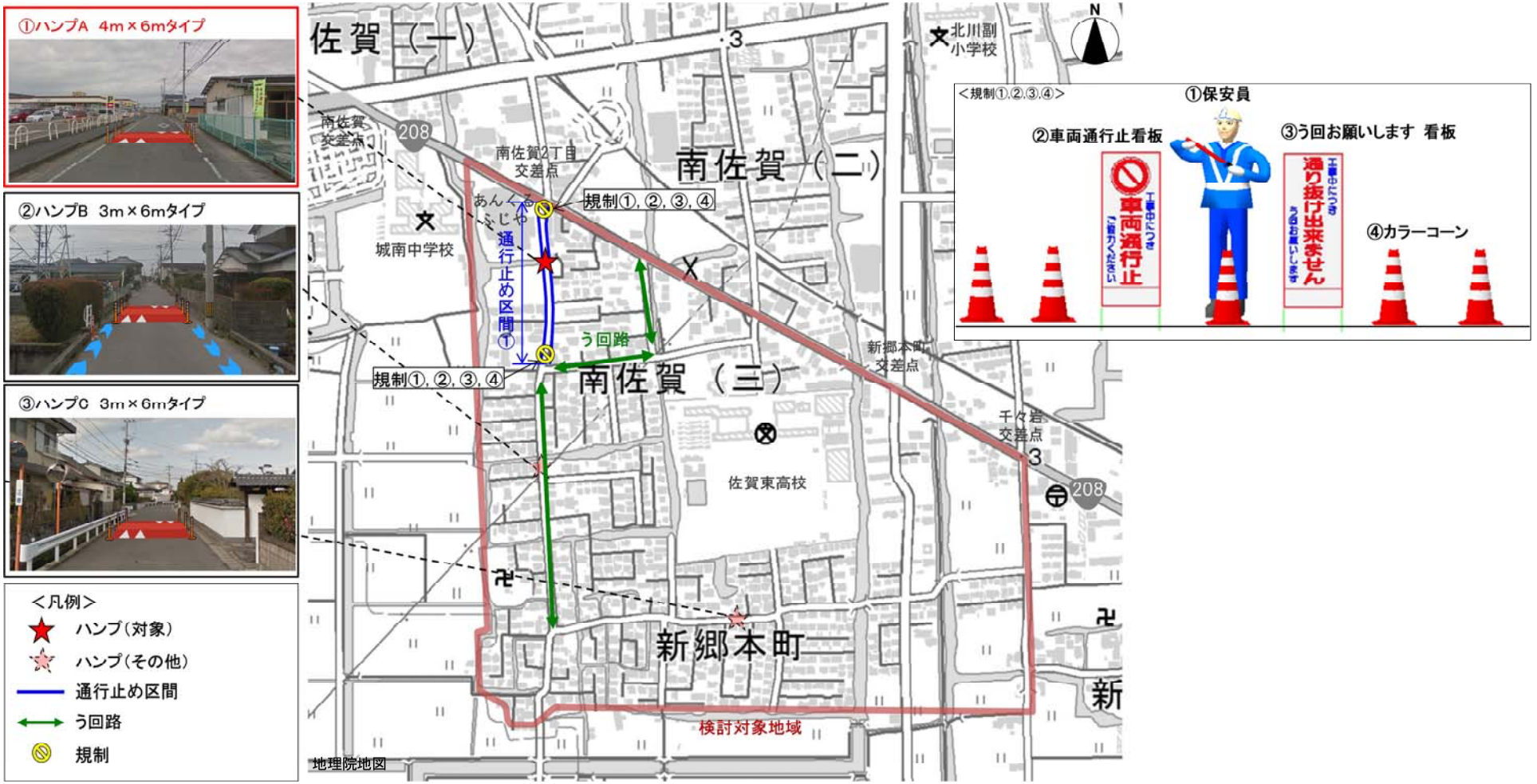


図 2-1 ハンプA設置・撤去時の規制図

■ハンプB設置・撤去時

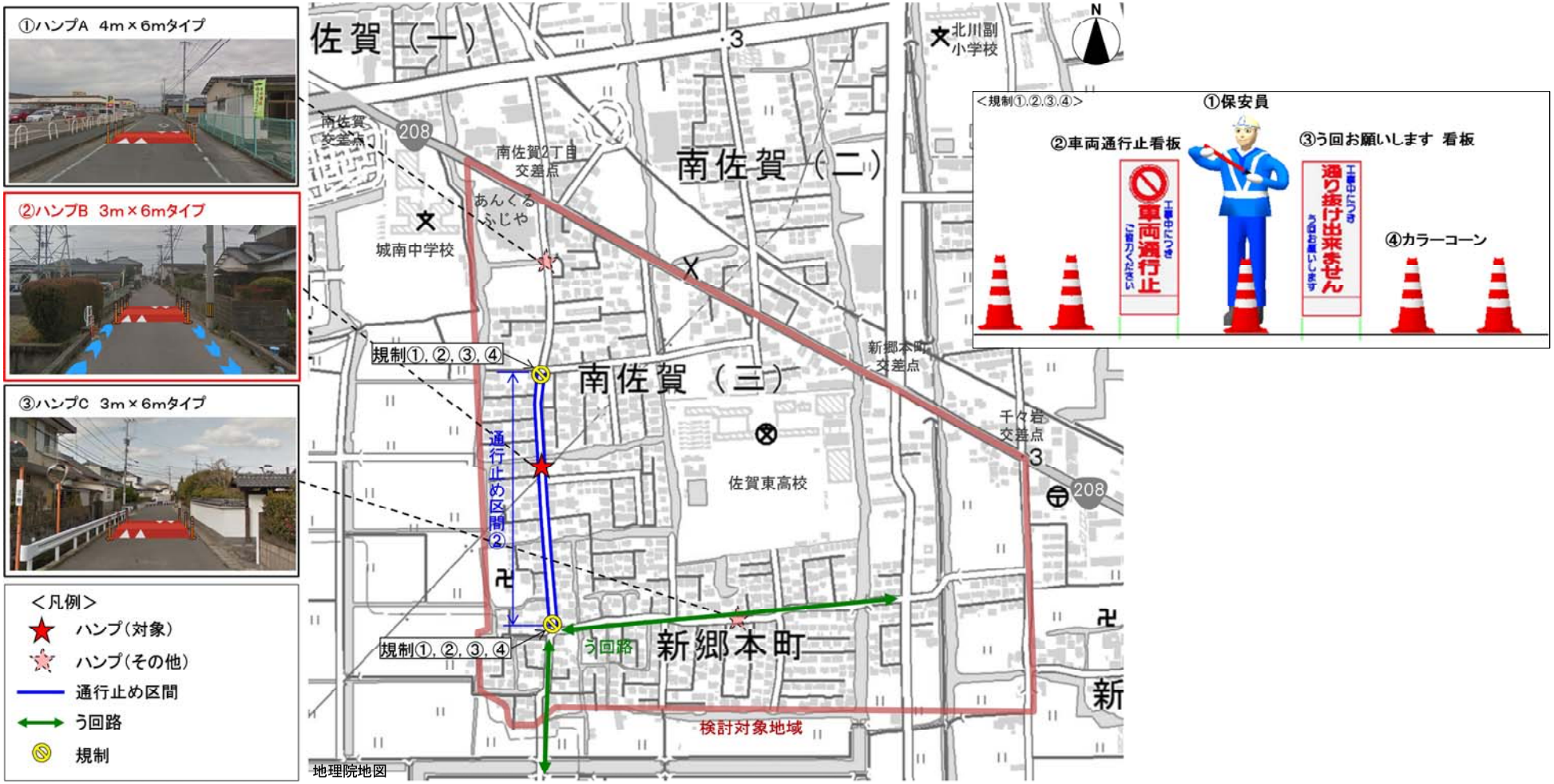


図 2-2 ハンプB設置・撤去時の規制図

■ハンプC設置・撤去時

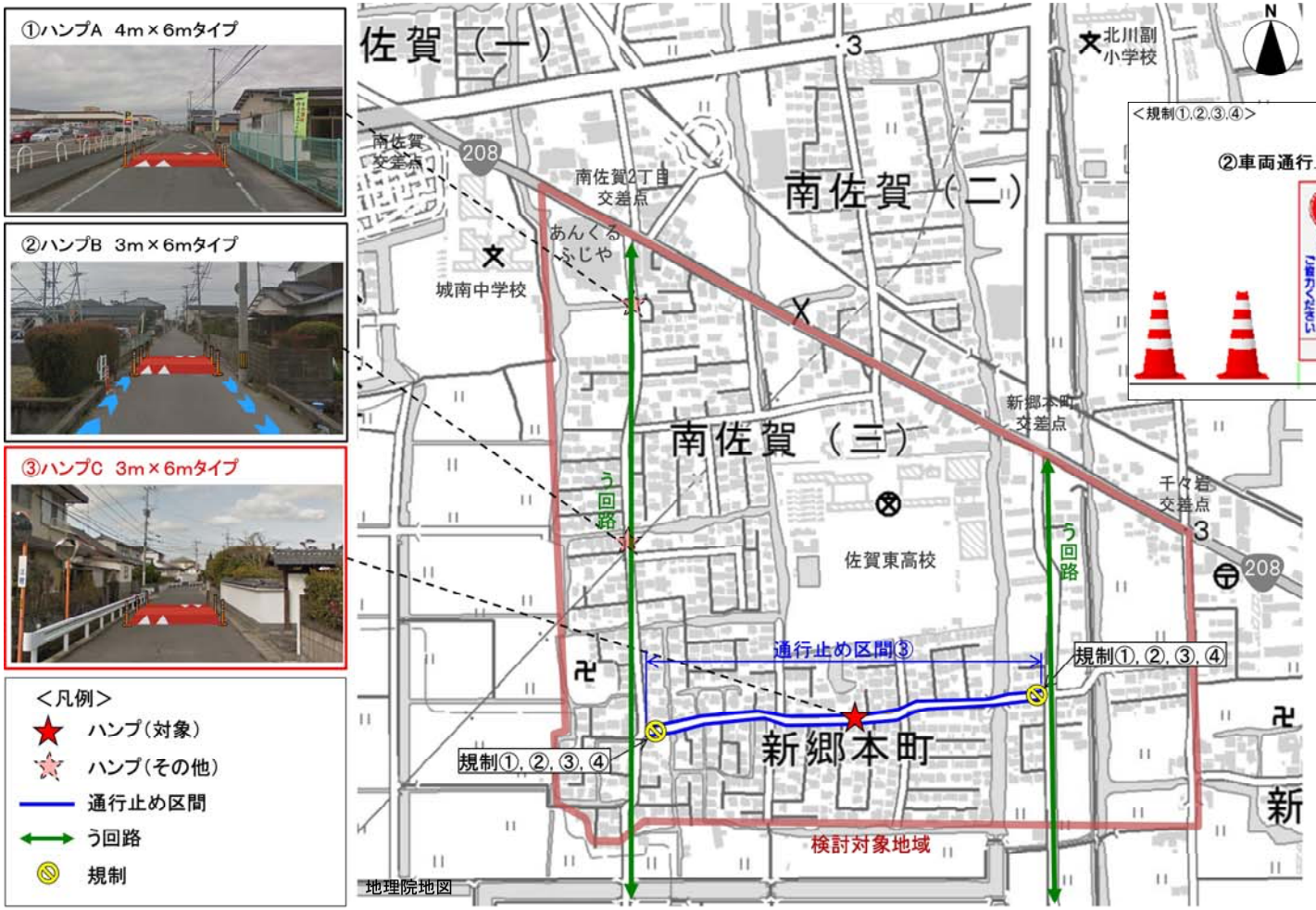
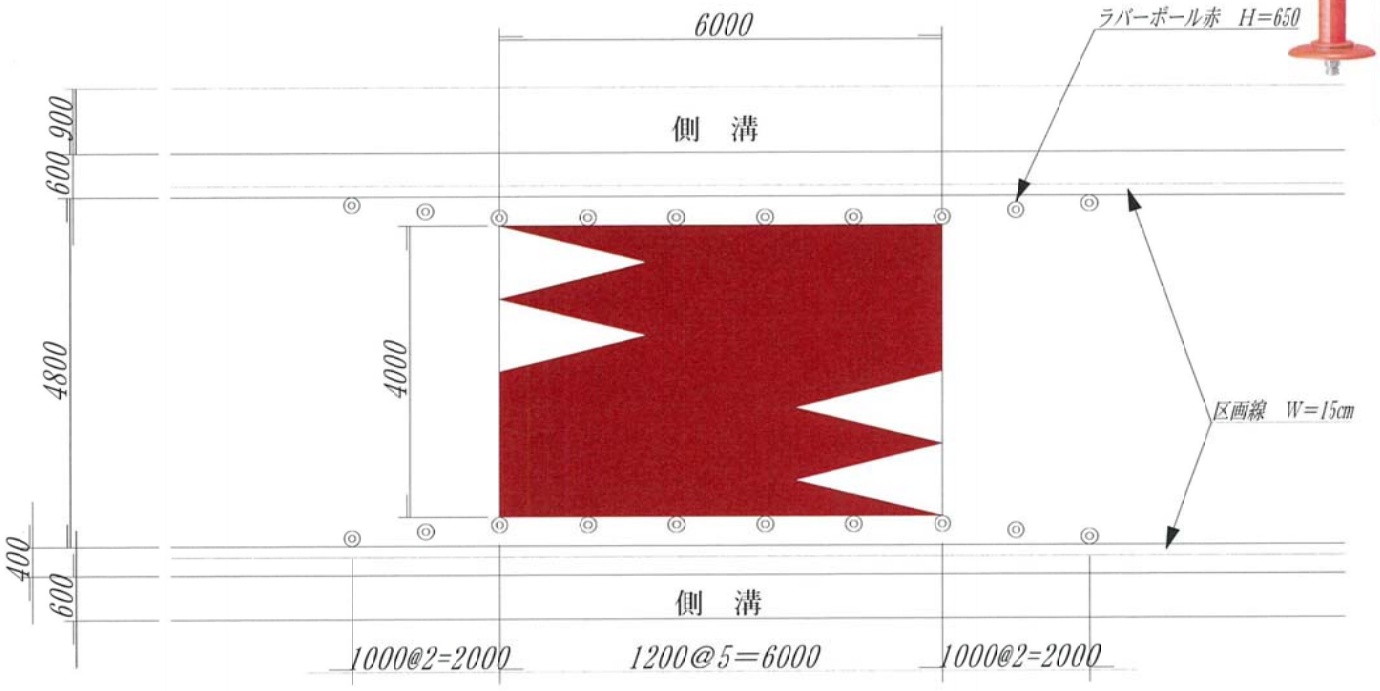


図 2-3 ハンプC設置・撤去時の規制図

通行止め区間1

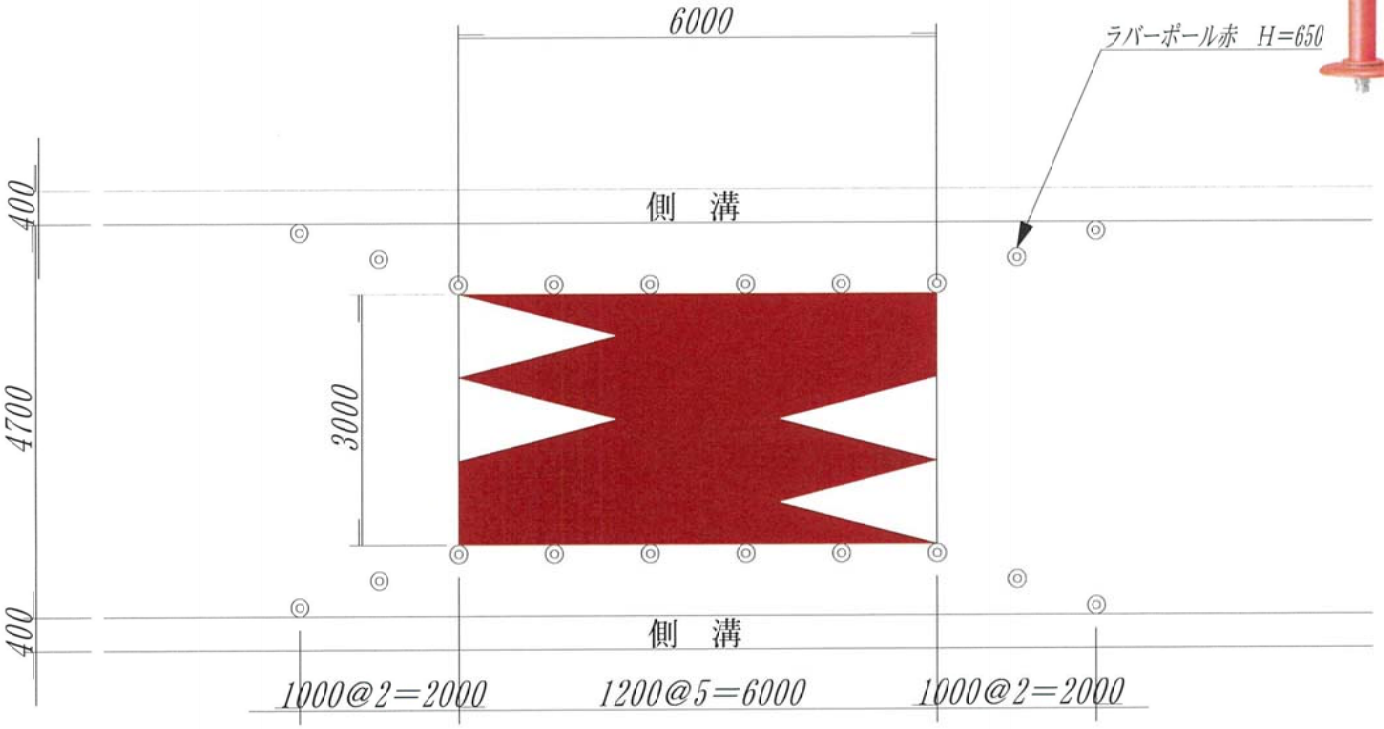


アンクルふじや駐車場側

数量表

ハンプ仕様	4m × 6m
アンカー	104本
ラバーポール　赤　H=650	20本
仮ラインテープ	20m
実線消去黒テープ	20m

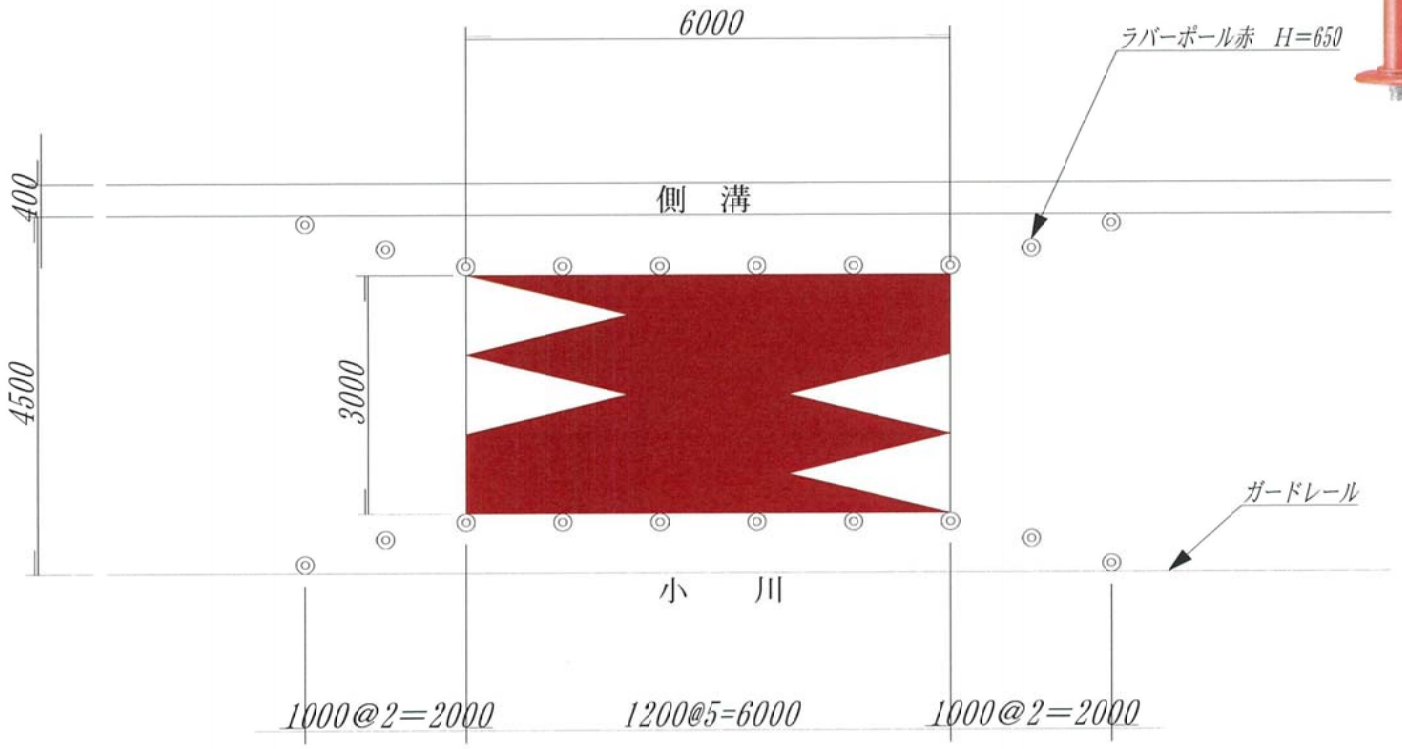
通行止め区間2



数量表

ハンプ仕様	3m × 6m
アンカー	78本
ラバーポール　赤　H=650	20本

通行止め区間3



数量表

ハンプ仕様	3m × 6m
アンカー	78本
ラバーポール　赤　H=650	20本

役割分担表

目的：社会実験に向けて、スケジュールや作業項目、役割分担を関係者で共有

＜資料内容＞

・スケジュール

・作業項目

・役割分担

社会実験（1/15～）に向けたスケジュール

作業項目	大項目	中項目	小項目	担当（●:主担当、▲関係者） 自治体	コンサル	国道事務所	施工業者	1月 4日以前	5日 木	6日 金	7日 土	8日 日	9日 月	10日 火	11日 水	12日 木	13日 金	14日 土	15日 日	16日 月	1/17-2/15	2月 16日 木	17日 金	18日 土	19日 日	20日 月	21日 火	22日 水	備考
社会実験の準備	ハンプ・ガードコーン（国総研） ※スーパー前に設置予定	レンタル申請	申請書・使用計画書	●	—	—	—	■																				
		国総研からの受取り	受取り時間帯の事前連絡	—	●	—	—		■																				
			受取り 1/11(水)	—	—	—	●								★														13日に施工業者倉庫へ運搬（15日まで一時保管）
		運搬	運搬 1/11(水)-13(金)	—	—	—	●								■	■	■		■										15日当日に施工業者倉庫から現場へ運搬
		保管	一時保管 1/13(金)-15(日)	▲	—	▲	●										■	■											
		設置	設置 1/15(日)	▲立会	▲立会	▲立会	●作業												★										スーパー前から設置（9時～11時）
		撤去	撤去 2/17(金)	—	▲立会	—	●作業																★						
		国総研への返却	返却時間帯の事前連絡	—	●	—	—														■								
			運搬・返却 2/20(月)-22(水)	—	—	—	●																			■	■	■	
	ハンプ（九地整） ※鉄塔前、東西軸に設置予定	レンタル申請	申請書	—	—	●	—	■																				
		レンタル物の事前確認	レンタル物の事前確認	—	▲	—	●		■																				
		保管	保管 12月中-1/13(金)	▲	—	●	▲	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■												
		運搬	運搬 1/13(金)、15(日)	—	—	▲立会	●作業										■	■	■										13日に国道事務所倉庫から施工業者倉庫へ運搬 15日当日に施工業者倉庫から現場へ運搬
		設置	設置 1/15(日)	▲立会	▲立会	▲立会	●作業												★										
		撤去	撤去 2/17(金)	—	▲立会	—	●作業																★						鉄塔前、東西軸を設置（12時～14時、15時～17時）
		返却	返却 2/17(金)	—	—	—	●作業																	■					
	ガードコーン（国道事務所） ※九地整ハンプ（2基）の箇所で使用	器材準備	唐津維持所有コーンの使用可能確認（ガードコーン24本の運搬）	—	●	▲	—	本数確認					期間中のどこかで唐津維持から施工業者倉庫へ運搬（24本）																いつ運搬するかを確認
			不足品の用意（ガードコーン16本・受け部材16個）	—	—	●	—	■	■	■			■	■	■	■	■												
			不足品の用意（受け部材24個）	—	▲	—	●	■	■	■			■	■	■	■	■												
		設置	設置 1/15(日)	▲立会	▲立会	▲立会	●作業												■										
		撤去	撤去 2/17(金)	—	▲立会	—	●作業																★						
		返却	返却 2/17(金)	—	—	▲	●																	■					
	路面カラー（交差点カラー化、自転車の通行位置のカラー化）	設置	—	●	—	—	—	■	■	■			■	■	■	■	■	■											
各種広報	看板	通行止め時の看板	—	—	—	—	●												■				■						
		社会実験中の看板	—	●	—	—	—												■	■	■	■	■						
	マスコミへの周知	配布資料作成	—	—	●	—	—	■																					
		マスコミへの投込み	—	●	—	—	—	■	■	■			■	■	■	■	■												
	住民への周知	配布資料作成	—	—	●	—	—	■																					
		住民配布	—	●	—	—	—	■	■	■			■	■	■	■	■												
通行規制	道路使用許可等	道路使用許可（警察）	申請書類（申請書、計画書、同意書）	▲	●	—	—		★受取り										■				■						箇所毎に分けて通行規制（9時～17時）
		道路工事届出書（消防）	申請書類（申請書、計画書）	—	●	—	—		★受取り																				
		道路使用許可（佐賀市）	申請書類（申請書、計画書、同意書）	▲	●	—	—								■受取り	■	■												
		道路占用許可（佐賀市）	申請書類（申請書、計画書、字図）	—	●	—	—								■受取り	■	■												

ハンプレンタルの申請書（国総研）

目的：社会実験で設置するハンプをレンタルするために作成（国総研の様式）

＜資料内容＞

・レンタルハンプの概要
・依頼文
・申請書
・ハンプ使用計画（概要）
・　　〃　　（位置図）
・　　〃　　（設置計画図）
・　　〃　　（設置に伴う対策等）

国土技術政策総合研究所　道路研究室
2016 年 11 月時点

レンタルハンプの概要
～仮設ハンプを社会実験・体験会用に貸し出しています～

1．貸与可能な設備

可搬型のハンプとボラードを貸し出しています。

ハンプ
（凸部等の技術基準での標準の形状）

ボラード
（高さ 80cm、直径 8cm）

2．申請方法

国土技術政策総合研究所に申請します。まず、国土技術政策総合研究所に連絡し、レンタルハンプの空き状況を確認のうえ貸与希望期間の仮予約を行ってください。その後、各地区で使用計画が決まりましたら、申請様式により国土技術政策総合研究所に申請します。

3．発生する費用

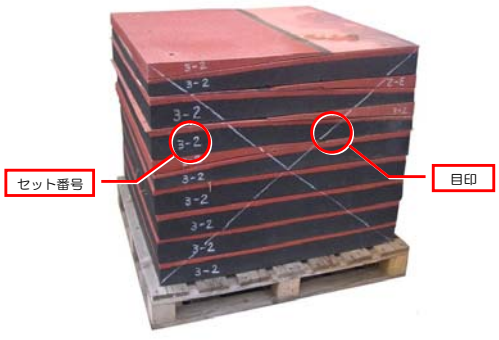
- 国土技術政策総合研究所と各地区との往復の運搬費用

  ハンプの貸出、返却場所は、国土技術政策総合研究所となります。積み下ろし作業も申請者に行っていただくため、運搬はユニック車を手配されることをお勧めします。国土技術政策総合研究所における積み下ろしでは、ハンドリフトをご利用いただくこともできます。なお、手配の際は、車両の最大積載量にご注意ください。

  貸出の際、ハンプは下図のような荷姿としております、返却の際も元の状態に戻しての返却をお願いします。

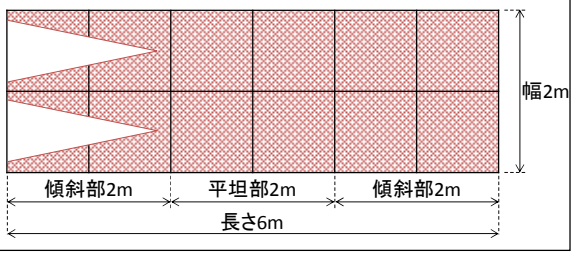
- 設置・撤去の費用

  ハンプは、アンカーで路面に固定して使用します。アンカーは申請者が準備してください。



輸送時の荷姿（1 パレット）

1 パレットの概要
・形状　　：幅 1.1m×奥行き 1.1m×高さ約 1m
・重量　　：約 650～750kg
・組み立てイメージ（幅 2m 分になります）



以上

（例）

事　務　連　絡
平成　年　月　日

国土技術政策総合研究所
道路交通研究部　道路研究室長　殿

●●市●●部
●●課長

レンタルハンプ利用について

このたび、●●市◇◇地区の市道において、下記のとおり交通安全向上のための交通社会実験を実施いたします。つきましては、実験の実施へのご協力をお願いいたします。

記入例

記

1. 社会実験実施概要
   ○実験名称：地区周遊環境の整備に向けた実験
   ○実験期間：平成　年　月　日～月　日
   ○実施箇所：●●市◇◇地区　△△公園南側市道
   ○実験内容：
   ①　車両速度低下のためのハンプ・狭窄の設置

2. 社会実験の主体と責任の所在について

○主催者（主体）　●●市建設部道路管理課

（協議会等の場合）
◇◇地区交通社会実験実行委員会を結成し、実施いたします。
【メンバー】　代表　◇◇地区観光協会
□□大学工学部
●●市建設部道路管理課

○安全管理　社会実験実施中は、実験区間の入口付近に予告看板、注意看板等を設置し、また誘導員等を配置することで、安全管理を行います。

○事故等の対応　実験設備に著しい破損があった場合や紛失・盗難にあった場合、その保証についてはすべて●●市が責任をもって対処いたします。

○その他　事故の対応は、自治体総合損害賠償責任保険で対応いたします。

以上

<table>
<tr><td rowspan="2">品名
・
希望数量</td><td>ハンプ</td><td colspan="2">延べ　幅員　　〇　　m幅分

（台形に換算した場合。運搬の関係で、２ｍ単位に切り上げてください。最大１２ｍ）

例：４ｍ幅で２基設置する場合には８ｍ幅分</td></tr>
<tr><td>ゴム製ポール</td><td colspan="2">〇〇　本（最大 20 本）</td></tr>
<tr><td>主な目的

該当するものを選択</td><td colspan="3">社会実験　　・　　走行体験

その他（　　）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用場所</td><td>地区名</td><td colspan="2">〇〇　都道府県　〇〇　市区町村　〇〇　地区</td></tr>
<tr><td>路線名等</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>希望期間
（搬出～返却まで）</td><td colspan="3">平成　　年　　月　　日～　　月　　日（延べ　　日間）</td></tr>
<tr><td>使用計画</td><td colspan="3">別紙</td></tr>
<tr><td rowspan="6">管理責任者</td><td colspan="3">名称：〇〇市</td></tr>
<tr><td colspan="3">所在地：〒
〇〇県〇〇市〇〇</td></tr>
<tr><td colspan="3">管理責任者（役職　氏名）：</td></tr>
<tr><td rowspan="4">連絡先</td><td colspan="2">部署：</td></tr>
<tr><td colspan="2">担当者：</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＴＥＬ：</td></tr>
<tr><td colspan="2">E-mail：</td></tr>
<tr><td>その他
（連絡事項等があれば記載）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

レンタルハンプ申請書

- 希望期間は、原則 30 日までとし、年度をまたがないこととしてください。
- 申請者は、原則、地方公共団体とします。
- ハンプの数量は、延長方向に 6m（平坦部 2m、傾斜部各 2m）の台形の形状とした場合です。1m 四方のパネル形状のため、組み替えて設置することも可能です。その場合は、台形の形状に換算して記入してください。

申請書については、必要事項が記載されているか、目的が妥当か、貸し出し可能な数量・期間か、責任の主体が明確であるかを確認します。計画の内容について相談したい場合は、事前に国土技術政策総合研究所にご連絡ください。

ハンプ使用計画

平成　　年　　月　　日作成

概要

実験等名称		
使用場所	地区名	○○　都道府県　○○　市区町村　○○　地区
	路線名等	
本設置の検討箇所	地区名	（使用場所と同じ場合は記入不要）
	路線名等	（使用場所と同じ場合は記入不要）
検討箇所（地域）の課題	走行速度、通過交通、歩車混在状況、交通量等に関する課題について、簡単に記載してください。	
使用方法	↓該当するものに○ ＜　＞　道路に設置し、社会実験等を実施 ＜　＞　道路以外の場所に設置し、体験会等を実施 ＜　＞　通行の制限等を実施した道路に設置し、状況確認または体験会等を実施 ＜　＞　その他（　　）	
希望期間 （搬出～返納まで） 原則 30 日までとし、年度をまたがないこととしてください。搬出、返納は、平日としてください。	平成　　年　　月　　日～　　月　　日（延べ　　日間） （予備日を含めた期間としてください）	
	搬出予定日	平成　　年　　月　　日（　）
	設置予定日	平成　　年　　月　　日（　）
	撤去予定日	平成　　年　　月　　日（　）
	返納予定日	平成　　年　　月　　日（　）
実験期間と項目	実験期間　平成　　年　　月　　日～　　月　　日 （ハンプ設置を含めた、実験全体の期間を記載してください）	
	実験項目　（例：ハンプ設置（0/00～0/00）、狭窄設置（0/00～0/00））	
調査項目と方法	＜　＞　利用者意識　（方法：　　） ＜　＞　走行速度　（方法：　　） ＜　＞　交通量　（方法：　　） ＜　＞　　（方法：　　） ＜　＞　　（方法：　　）	

位置図（対策のエリア全体が入る程度。使用場所を丸印等で示す。）

・トンネル、橋、勾配の急な箇所は避けるものとしますが、設置する場合は、最終頁の備考欄に安全対策を記載してください。

設置計画図（設置箇所の詳細図）

・道路幅員、車道幅員を記載してください。
・設置するハンプの寸法を記載してください。
・各方向の歩行者、自転車の通行位置を明示してください。
・注意喚起看板等の設置位置を記載してください。
・ゴム製ポール等を設置する場合は、設置位置を記載してください。

使用予定数量	ハンプ　〇m幅　〇基、　〇m幅　〇基、　〇m幅　〇基 （合計〇m幅分　平坦部 2m の台形ハンプに換算。最大１２ｍ） 申請予定数量　〇m幅分 （運搬の関係で２ｍ単位に切り上げて下さい）
	ゴム製ポール　　〇　本　　・　　不要　　（最大２０本）

設置に伴う対策等

凸部の見通しの状況と注意喚起の方法		
夜間の対策		
速度規制の状況	ゾーン 30 に　　該当する　・　該当しない　（〇〇km/h） 該当しない場合は、設置箇所の規制速度を記載してください。最高速度が指定されていない場合は、その旨記載してください。 規制速度が 30km/h を超える場合は、対応を記載してください。 （　　）	
都道府県公安委員会または所轄警察署との調整・協議項目と内容	※　実験の実施に当たり都道府県公安委員会または所轄警察署との調整・協議項目（ハンプ設置の可否、ハンプ設置位置等）と調整状況について記載してください。	
所轄警察署の連絡先	組織名	
	担当者名	
	所在地	
	ＴＥＬ	

備考（その他示しておきたい事項があれば、ここに記載してください）

使用計画に関する連絡先

各種申請書（竣工届含む）

目的：社会実験で設置するハンプについて、1ヵ月間の設置や設置・撤去時の工事を実施するために作成

＜資料内容＞

・道路使用許可申請書（佐賀警察署）
・　　〃　　（佐賀市）
・道路占用許可申請書（佐賀市）
・道路工事届出書（佐賀消防署）
・工事竣工届（佐賀市）

別記様式第六（法第78条、規則第10条）

道路使用許可申請書

平成　　年　　月　　日

警察署長殿

申請者　住　所
　　氏　名　　㊞

道路使用の目的				
場所又は区間				
期　　間	年　月　日　時から　年　月　日　時まで			
方法又は形態				
添付書類				
現場責任者	住　所			
	氏　名		電　話	

第　　号

道路使用許可証

上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。

条　件	

平成　　年　　月　　日

警察署長　印

備考　1　申請者が法人であるときは、申請者の欄には、その名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名を記載すること。
2　申請者は、氏名の記載と押印に代えて、署名することができる。
3　方法又は形態の欄には、工事又は作業の方法、使用面積、行事等の参加人員、通行の形態又は方法等使用について必要な事項を記載すること。
4　添付書類の欄には、道路使用の場所、方法等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。
5　用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

道 路 使 用 許 可 申 請 書

平成　　年　　月　　日

佐 賀 市 長　様

申請者　住 所
氏 名　　㊞
TEL

１．場　　所　　佐賀市

２．路 線 名　　市道　　号　　線

３．期　　間　　自　平成　　年　　月　　日
至　平成　　年　　月　　日　　内　　日間

４．時　　間　　時から　　時まで

５．目　　的

６．規 制 対 象　　○全面通行止　　○車両通行止　　○片側交互通行
○片側相互通行　○その他　（　　）

７．添 付 資 料　　付近見取図、規制図、実施要領（イベント等の場合）
写真　同意書

８．現場責任者　　氏名
TEL

＊別紙規制図のとおり規制標識・案内看板等を設置し、交通規制の周知徹底および道路における危険を防止します。

新規	更新	変更	（　　第　　号） 年　月　日

道路占用 許可申請 / 協　議 書

平成　　年　　月　　日

佐賀市長　　様

〒
住　所
氏　名　　印
担当者
ＴＥＬ

道路法 第32条 / 第35条 の規定により 許可を申請 / 協　議 します。

占用の目的				
占用の場所	路線名	市道　　号　　線		車道・歩道・その他
	場　所	佐賀市		
占用の物件	名　称	規　模	数　量	
占用の期間	平成　年　月　日から 平成　年　月　日まで　間	占用物件の構造	別紙図面のとおり	
工事の期間	平成　年　月　日から 平成　年　月　日まで　間	工事実施の方法	直営・請負 （請負業者　　）	
道路の復旧方法	原形復旧	添付書類	・付近見取図　・現況写真 ・現況図（平面・断面）　・計画図（平面・断面） ・字図　・その他	
備　考	交通規制　無　・　有 （　昼間・夜間・昼夜間共　／　全面・片側通行止　）			

記載要領

1．「許可申請　「第32条　「許可を申請
　協　議」、　第35条」及び　協　議」　については、該当するものを○で囲むこと。

2．

新規	更新	変更

については、該当するものを○で囲み、更新、変更の場合には、従前の許可書または回答書の番号及び年月日を記載し、その写しを添付すること。

3．申請者が法人である場合には、「住所」の欄には主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。

4．申請者（申請者が法人の場合は代表者。以下同じ。）が氏名の記載を自署で行う場合又は申請者の本人確認のため道路管理者が別に定める方法による場合においては、押印を省略することができる。

5．「場所」の欄には、地番まで記載すること。占用が２以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。「車道・歩道・その他」については、該当するものを○で囲むこと。

6．変更の許可申請にあっては、関係する欄の下部に変更後のものを記載し、上部に変更前のものを（　）書きすること。

様式第２２号（第２１条関係）

道　路　工　事　届　出　書

年　　月　　日

（あて先）　　消防署長

届出者
住　所
（電話　　）
氏　名　　㊞

工事予定日時	自 至		
路線及び箇所			
工事に伴う迂回路			
工事内容			
交通規制の種別			
工事施工業者	（電話　　番）		
現場責任者		連絡先	

※　受　付　欄	※　経　過　欄

備考

１　法人にあっては，その名称，代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

２　工事区域略図及び迂回略図を６部添付すること。

３　※印の欄は，記入しないこと。

工　事　竣　工　届

平成　　年　　月　　日

佐　賀　市　長　　様

届出者　　住　所
氏　名　　印
ＴＥＬ

下記の工事について完了しましたので、関係書類を添えて提出します。

記

１．工事の内容

２．工事施工箇所　　佐賀市

３．路　線　名　　市道　　号　　線

４．許可年月日及び　　平成　　年　　月　　日
　許可番号　　佐賀市指令道第　　号

５．工 事 期 間　　平成　　年　　月　　日　から
　　平成　　年　　月　　日　まで

６．工事竣工年月日　　平成　　年　　月　　日

７．工事施行業者　　住　所
　　名　称

【添付書類】　・工事管理写真（着工前・工事中・成工）
　※ただし、工事中の写真はスケール等を使用し、許可内容や
　　道路復旧状況がわかるものであること
・許可書の写し

配布資料

目的：社会実験初日に実施したハンプ設置イベントにて、参加者に配布

＜資料内容＞

・検討経緯

・社会実験の実施日時

・社会実験の実施箇所及び実施内容

・ハンプの設置手順（住民参加の作業内容）

生活道路安全対策の社会実験

検　討　経　緯

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策として、
北川副地区をモデル地区に住民主導で交通安全対策を進めています。
北川副地区では、昨年11月に第1回検討会(地域の課題抽出)、
12月に第2回検討会(対策案の検討)を行いました。
対策案の内、一部の対策について本日より社会実験を行い、効果検証します。

実　施　日　時

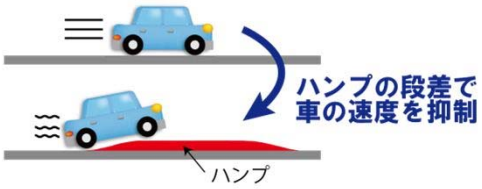
平成２９年１月１５日（日）～平成２９年２月１７日（金）

実　施　箇　所
実　施　内　容

北川副地区にて生活道路安全対策として下記３種類の対策を実施します。

①ハンプの設置

→車両の速度抑制

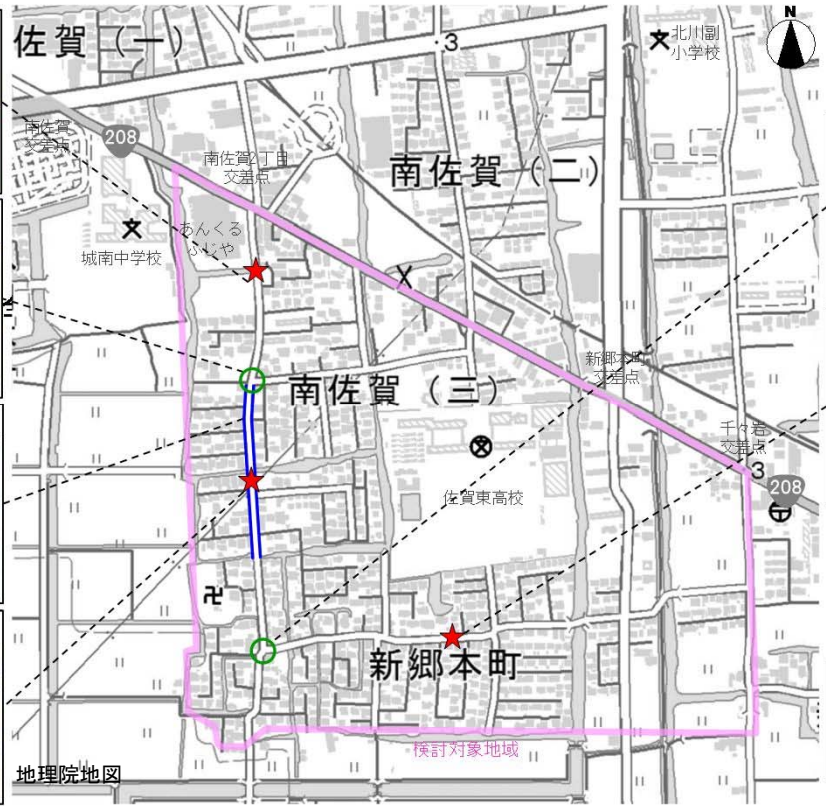


②交差点のカラー化

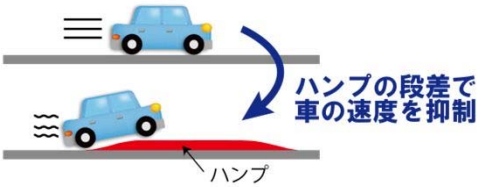
→交差点の注意喚起

③自転車の通行位置のカラー化

→通行位置の明確化



ハンプの設置手順



（赤字箇所を参加者の皆さんと一緒に作業予定です）

①ハンプ設置位置決め（墨出し）

⇒ハンプを置く位置を決めて、印をつけます

②ハンプ仮置き

⇒①で決めた位置に正確に設置できるように、
ハンプの全パーツを仮置きします

③ハンプ固定

⇒アンカーを打って、ハンプを路面に固定します

③-1：アンカーを打つための穴あけ
③-2：アンカーを固定するための接着剤注入
③-3：アンカーを挿入
③-4：アンカーを固定

※アンカーにゴムキャップを被せる作業

④ガードコーン設置（③と同時進行）

⇒ハンプの外側に歩行者用のスペースを確保するため、
ガードコーンを設置します

④-1：ガードコーンを設置するための穴あけ
④-2：ガードコーンを固定するための接着剤注入
④-3：ガードコーン設置

※接着剤を注入した穴にガードコーンを挿し込む作業

マスコミ投込み資料

目的：社会実験実施に際して、取組みの周知のために作成

＜資料内容＞

・社会実験の実施日時

・社会実験の実施箇所及び実施内容

・検討経緯

＜反響＞

下記のマスコミが本社会実験について報道

〔テレビニュース〕

・FNN・SAGATVニュース（2017.1.15(日) 11:56～11:57）

・NHKニュース（2017.1.15(日) 12:14～12:16）

・KBCニュース（2017.1.15(日) 15:22～15:23）

〔新聞〕

・佐賀新聞（2017.1.14(土) 朝刊25面）

・西日本新聞（2017.1.31(火) 朝刊24面）

・読売新聞（2017.2.1(水) 朝刊26面）

生活道路安全対策の社会実験

実　施　日　時

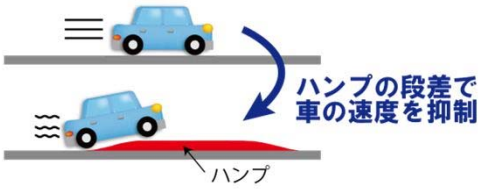
平成２９年１月１５日（日）～平成２９年２月１７日（金）

※平成２９年１月１５日（日）は、午前１０時から
参加者を交えて対策設置（ハンプ）を行います。
（天候により日程変更あり）

実　施　箇　所
実　施　内　容

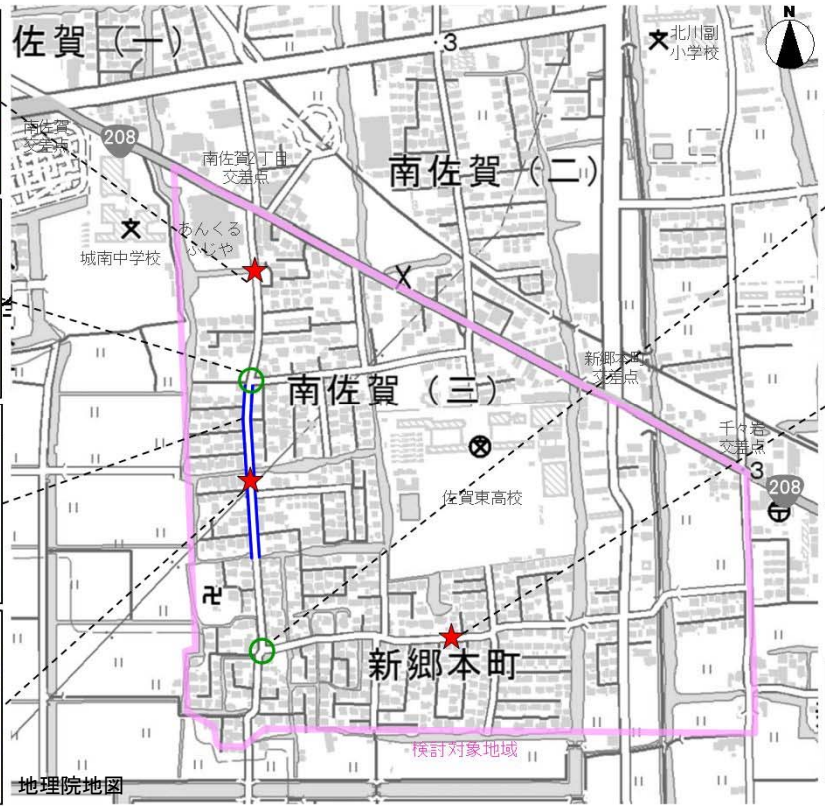
北川副地区にて生活道路安全対策として下記３種類の対策を実施します。

①ハンプの設置
→車両の速度抑制



②交差点のカラー化
→交差点の注意喚起

③自転車の通行位置のカラー化
→通行位置の明確化



生活道路安全対策の社会実験

検　討　経　緯

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策として、
北川副地区をモデル地区に住民主導で交通安全対策を進めています。
平成２８年度は下表に示すスケジュールで対策を実施しています。

日付	項目	具体的な内容等
9/30(金)	住民説明会	**[目的]**： ①H27 安推連調査の結果報告 ②対策検討についての意思確認 ③検討体制について提案(住民代表によるﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ形式) **[参加者]**：地元住民、地域内の事業者、学校関係者等(15 名程度) **[主な結果]** ①北川副地区での危険事象等を共有 ②今後対策を検討していくことで合意 ③住民代表ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ形式で検討することで合意
11/13(日)	第 1 回検討会	**[目的]**：住民主体による地域の問題箇所の抽出 **[参加者]**：地元住民(16 名) **[主な結果]**：ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟにより問題箇所を抽出 →道路が狭く、歩行者と自転車の通行が困難 →自動車の走行速度が高い →交差点の見通しが悪い →自転車の運転マナーが悪い(並列走行、右側走行)
12/11(日)	第 2 回検討会	**[目的]** ①住民主体による対策案の検討(事務局案をたたき台にして検討) ②社会実験案の提示と意見聴取 **[参加者]**：地元住民、学校関係者(北川副小、佐賀東高校)(13 名) **[主な結果]** ①対策案の検討(ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟにより対策案を検討) →ハンプの設置 →狭さくの設置(市道は元々狭いため、不要との意見もあり) →交差点カラー化(着色範囲を交差点手前からにしたいとの意見あり) →自転車の通行位置のカラー化 →ゾーン 30 の導入(規制速度を 20km/h にしたいとの意見あり) ②社会実験について合意 →ハンプ、狭さく、交差点カラー化、自転車の通行位置カラー化 ※狭さくについては、後日の調整によって対象外となった
1/15(日) ～ 2/17(金)	社会実験	**[目的・対策]**：以下の対策について、社会実験を行い、効果検証を実施予定 →ハンプ、交差点カラー化、自転車の通行位置のカラー化 **[効果検証]**：ビデオ調査、ヒアリング調査、アンケート調査で効果等を検証予定
3 月上旬 ～中旬	第 3 回検討会	**[目的]**：社会実験の効果報告、対策改善案の提示
H29 年度	対策本施工	―

参考資料５　効果検証

・調査計画書（ビデオ調査）

・調査計画書（利用者満足度調査）

・回覧資料

調査計画書（ビデオ調査）

目的：効果検証のためのビデオ調査実施に際して作成

＜資料内容＞

・調査目的

・調査箇所及び調査内容

・調査日時

・調査方法

平成 28 年度

佐賀国道管内交通事故分析検討外業務

ビ デ オ 調 査 計 画 書

（佐賀市北川副地区の安全対策）

平成 29 年 1 月

国 土 交 通 省 九 州 地 方 整 備 局 佐 賀 国 道 事 務 所
[redacted]

※一部抜粋

目　　次

1.　調査目的 1
2.　調査箇所および調査内容 2
3.　調査日時 3
4.　調査方法 5
5.　調査実施体制（連絡体制） 17
5-1 通常時の連絡体制 17
5-2 緊急時の連絡体制 18
6.　注意事項・安全管理 24
6-1 安全管理教育 24
6-2 その他安全管理上の確認・留意事項 25
安全管理書類 32

1. 調査目的

本調査は、佐賀市北川副地区エリアにおいて社会実験を行うに当たり、当該地点における交通量・交通挙動（速度・危険事象・通過交通）を調査し、対策実施前後を比較することで、実施した対策（下図参照）について対策効果を把握し、今後の安全対策検討のための基礎データを収集することを目的とする。

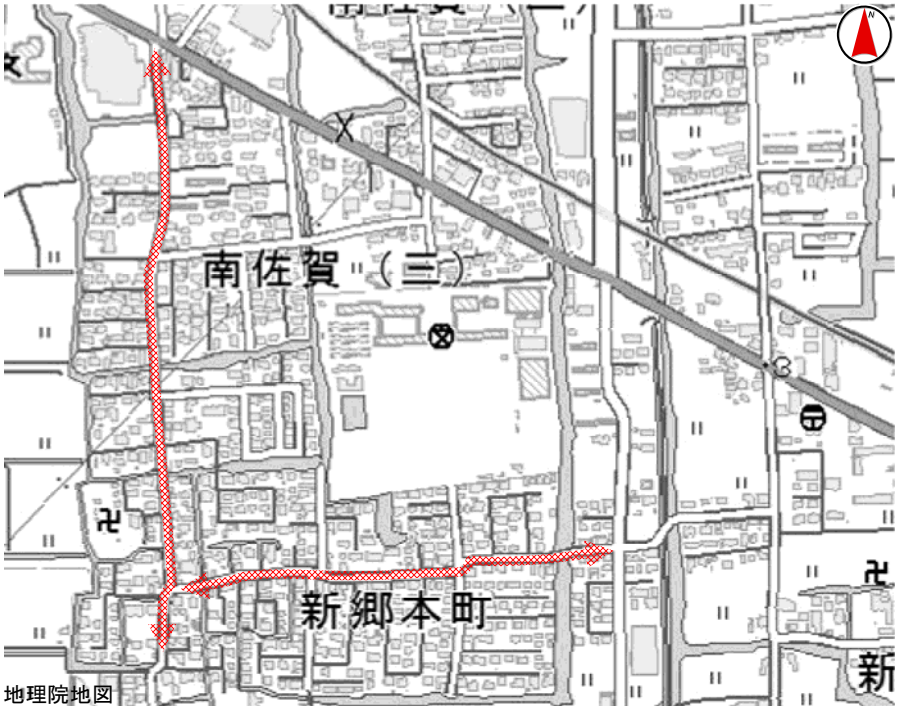


図 1　社会実験対象路線

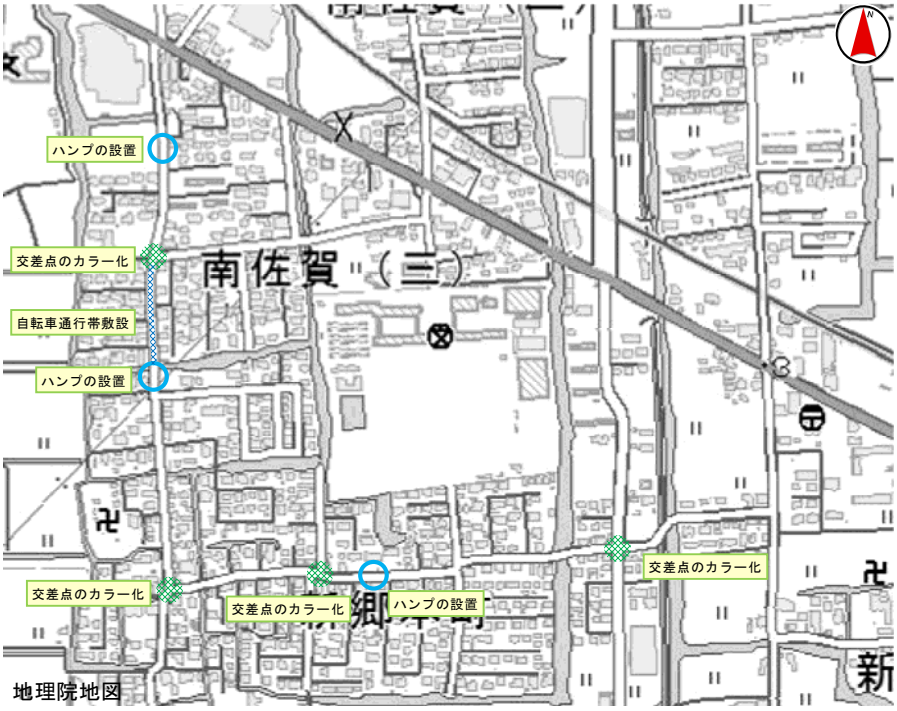


図 2　社会実験での対策実施内容

2. 調査箇所および調査内容

本調査は下記の内容を実施する。

表 1　調査箇所および調査内容

箇所名	調査内容		調査目的	調査時間
佐賀市北川副地区	事前事後の交通状況を比較し対策効果を分析	交通量調査	方向別自動車・自転車・歩行者の交通量を把握する	朝夕ピーク
		速度調査	対策実施箇所の前後区間における車両速度を計測し、対策効果を把握する。	
		走行経路調査	対象路線を走行する抜け道車両の台数を把握し、対策効果を把握する。	
	事後の交通状況を観測し対策箇所通過車の挙動を確認	挙動調査	対象路線を走行する車両や自転車・歩行者の走行挙動を把握する。 また、ハンプ設置箇所や交差点カラー化箇所における車両の走行時の状況を確認する	

※分析時間は別途検討

図 3　調査箇所

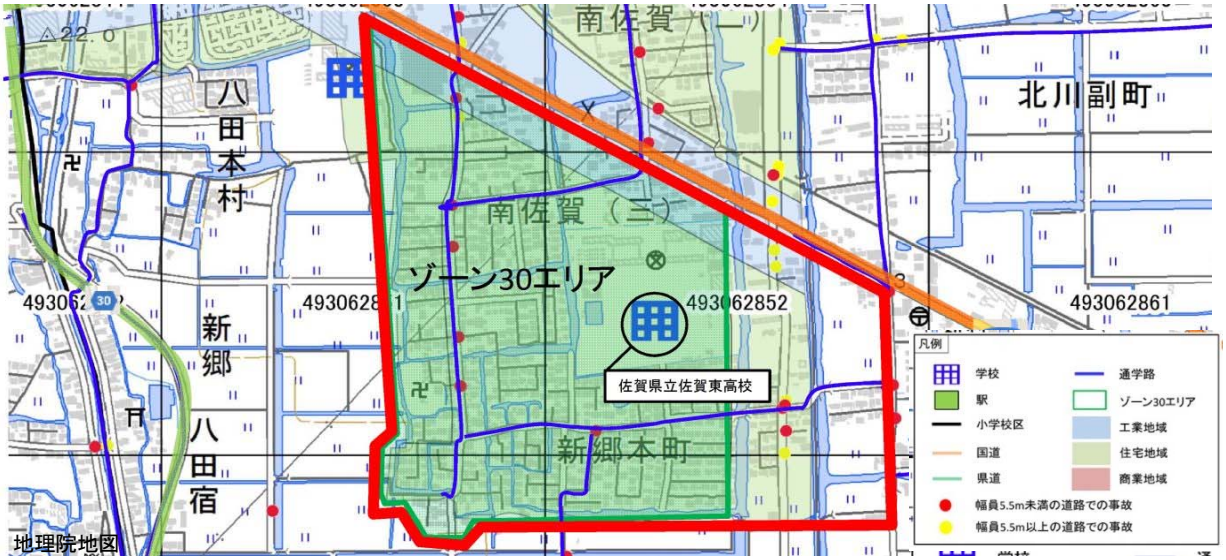


図 4　対象エリアの事故発生状況

3. 調査日時

本調査の実施日時（案）は以下のとおりである。

表 2　調査日時

調査期間	平成 29 年 2 月 8 日（水）　【予備日：9 日（木）、10 日（金）】 ※雨天、降雪時は調査日を延期し、予備日に実施する
調査時間帯	朝ピーク時 3 時間（6:00～9:00） 夕ピーク時 4 時間（15:00～19:00）

※調査実施または延期については、前日の天気予報により判断するものとする。
※比較対象となる事前データは、平成 28 年 2 月 10 日(水)同時間帯に実施

また、社会実験実施工程は下記のとおりである。

※調査日は、事前データと同月同曜日で、社会実験後半の日を選定した。
※事前データと事後データによる効果検証を行うに当たり、前提条件となる対象路線を通る交通量の自然増（または減）を考慮し、エリア内の西側に位置し南北に抜ける路線について社会実験実施前に朝ピーク時間帯（7:00～9:00）の交通量を目視計測する。目視計測地点はアンクルふじや前の道路断面とする。

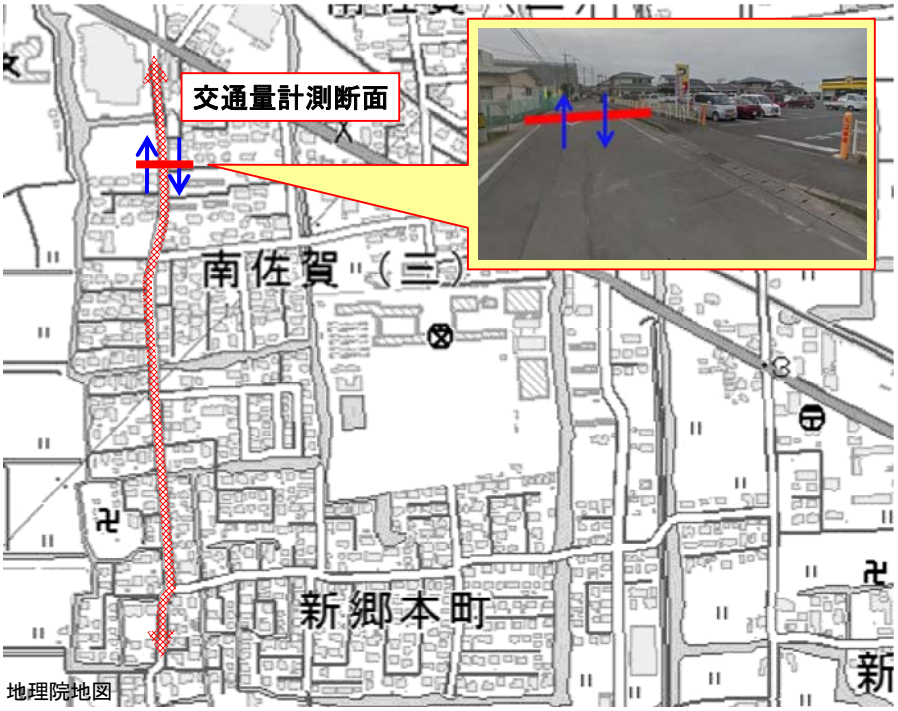
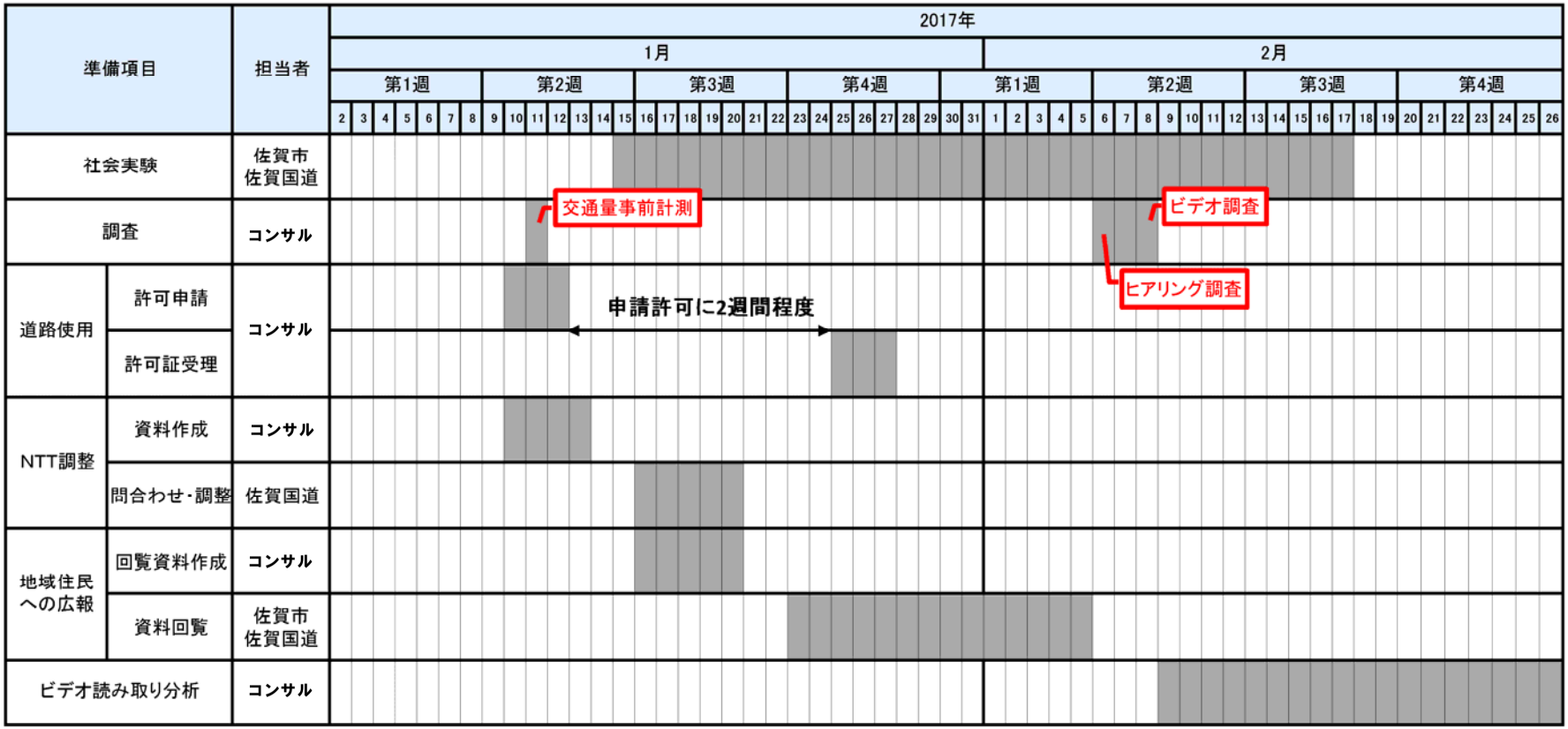


図 5　交通量事前計測時の計測断面

関係機関との調整や、地域住民への広報について、作業工程は下記のとおりである。

表 3　調整等の詳細工程



4. 調査方法

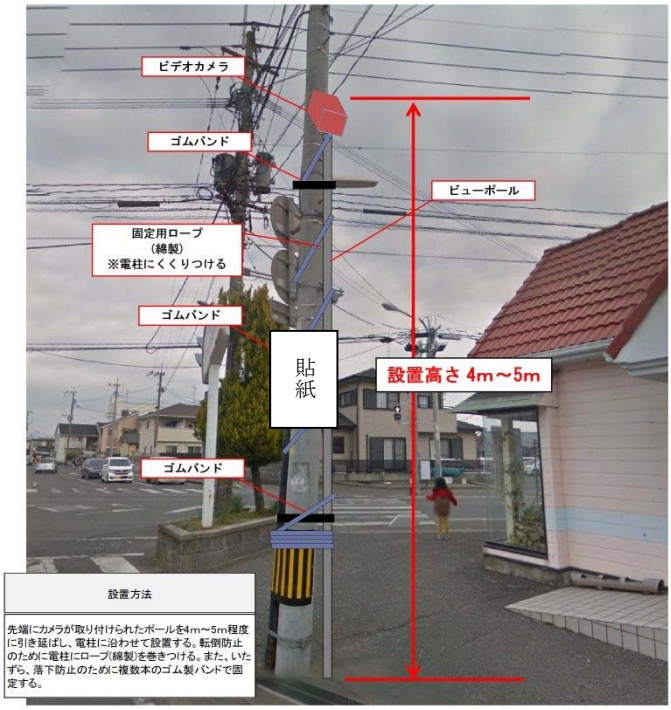
（1）ビデオ設置方法

本調査はビデオカメラを電柱、照明中、カーブミラーに設置し交通状況を観測するものである。なお、ビデオカメラの設置にあたっては、以下に留意するものとする。

- 転倒、落下防止のために道路施設等(照明柱、電柱、カーブミラー等)にロープやビデオ用固定クリップ、ゴムバンド等で固定する。
  ※ポールでの固定時の具体的な手順は巻末に整理した。
- 歩行者の通行を確保できるよう設置し交通規制を伴わないものとする。
- ビデオ稼動の確認および設置状況の安全管理のため調査員が定期的に巡回する。
- 「交通調査実施中」の貼紙により、通行者に周知する。

※道路幅員が狭いため、ポストコーンは設置しない。

以下に機器の設置イメージと貼紙のイメージを示す。



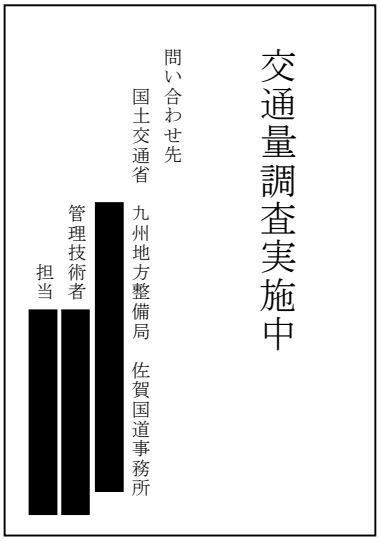


図 6　ビデオカメラ設置イメージ(ポールでの設置時)

設置方法
電柱の足場(3m～4mの位置)にビデオカメラ用固定クリップ(クランプヘッド)を用いて設置する。落下防止のために、ゴムバンド等でカメラと電柱を括り付ける

▼ビデオカメラ固定用クリップ（ＳＬＩＫ社製クランプヘッド）

図 7　ビデオカメラ設置イメージ（ビデオ固定用クリップでの設置時）

（２）設置機器

設置するビデオ機器は Victor 社製のハイビジョンビデオカメラとする。ビデオカメラの使用は以下に示す通りである。

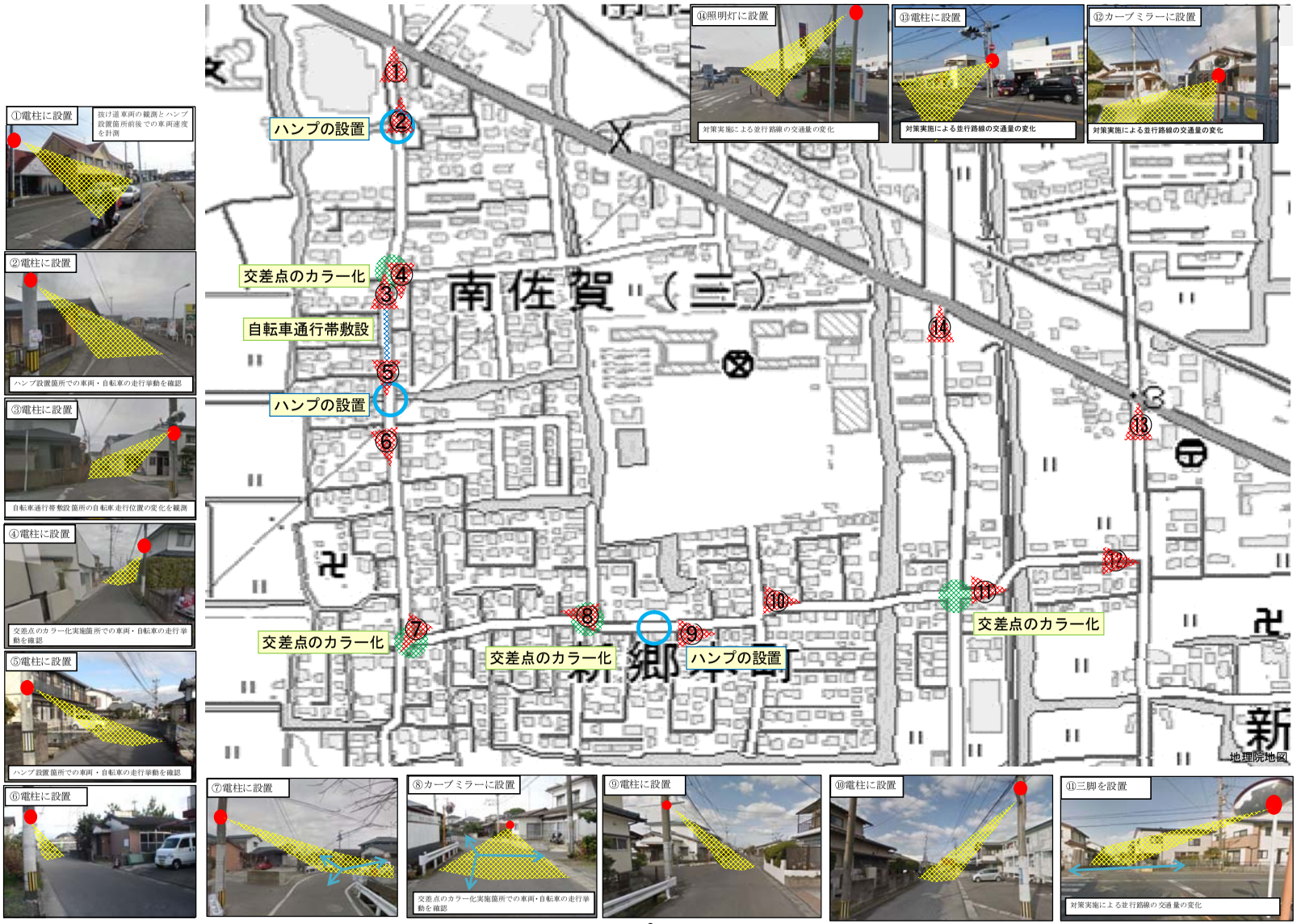
GZ-EX370-N（ピンクゴールド）

GZ-EX370-H（クリアブラック）

項目	内容
電源	ACアダプター使用時：DC 5.2 V バッテリー使用時：DC 3.6 V
消費電力	2.3 W（モニター明るさ：3（標準）） 2.5 W（モニター明るさ：4（明るい）） 定格消費電流：1A
外形寸法（mm）	50 x 57 x 116 （幅x高さx奥行き：グリップベルトを含まず）
質量	約200 g（本体のみ）、 約240 g（付属バッテリー含む）
動作環境	許容動作温度：0°C ～ 40°C 許容保存温度：-20°C ～ 50°C 許容相対湿度：35 % ～ 80 %
映像素子	1/5.8 型 251 万画素（裏面照射 CMOS）
撮像エリア（動画）	AVCHDモード 101万～229万画素(手ぶれ補正:切、ダイナミックズーム:入) iFrameモード 92万～177万画素(ダイナミックズーム:入)
撮像エリア（静止画）	171万画素（4:3） 229万画素（16:9）
レンズ	F1.8 ～ F6.3、f= 2.9 mm ～ 116.0 mm 動画 AVCHDモード 35mmカメラ換算:40.5mm～2430mm(ダイナミックズーム:入) 35mmカメラ換算:40.5mm～1620mm(ダイナミックズーム:切) iFrameモード 35mmカメラ換算:46.0mm～2530mm(ダイナミックズーム:入) 35mmカメラ換算:46.0mm～1840mm(ダイナミックズーム:切) 静止画 35mmカメラ換算:49.5mm～1980mm(4:3) 35mmカメラ換算:40.5mm～1620mm(16:9)
最低照度	3ルクス 1ルクス（シーンセレクト：ナイトアイ）
ズーム（動画撮影時）	光学ズーム：～ 40倍 ダイナミックズーム：～ 60倍（手ぶれ補正:切） デジタルズーム：～ 200倍
ズーム（静止画撮影時）	光学ズーム：～ 40倍
液晶画面	3.0型ワイド、23万画素、カラー液晶
	内蔵メモリー（32 GB）（GZ-EX370）

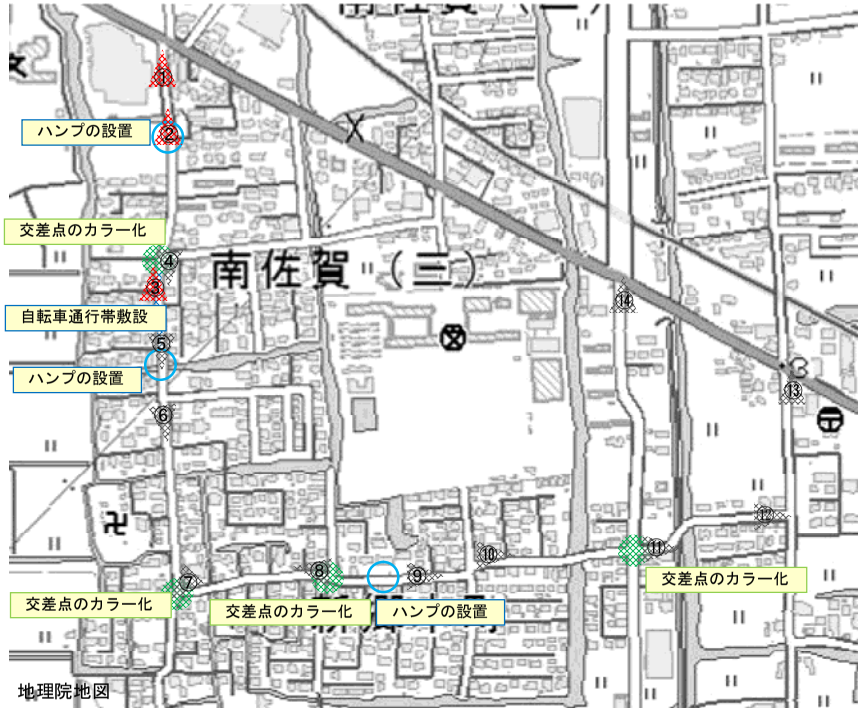
（３）ビデオ設置位置と調査項目

ビデオカメラの設置位置と調査項目を以下に示す。（カメラ設置位置は、現地での画角確認後に微調整する可能性がある）

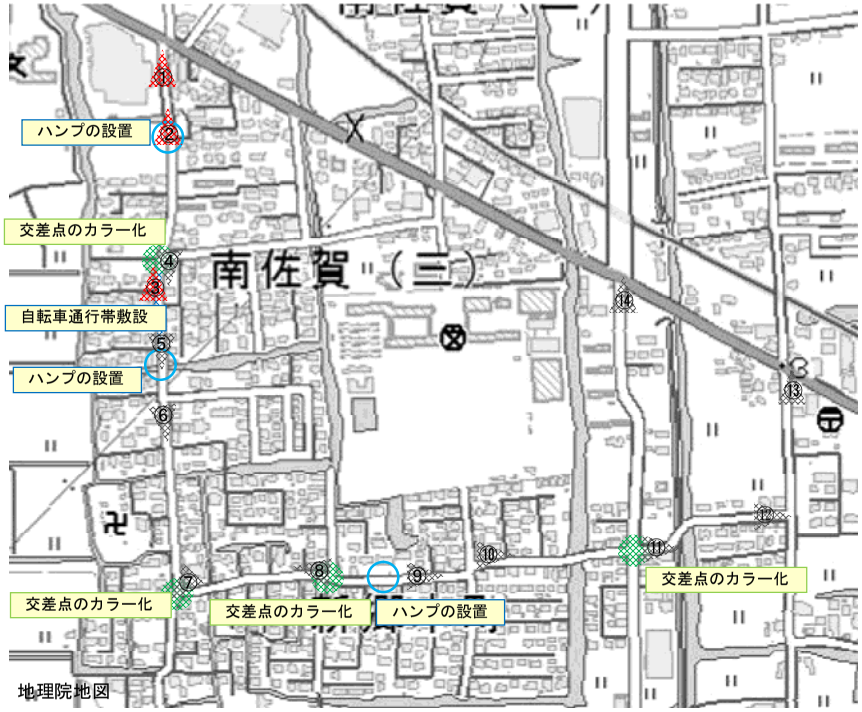


南佐賀"(三)
ハンプの設置
交差点のカラー化
自転車通行帯敷設
ハンプの設置
交差点のカラー化
交差点のカラー化
ハンプの設置
交差点のカラー化
地理院地図

設置個所	画角
①電柱に設置 抜け道車両の観測とハンプ設置箇所前後での車両速度を計測 事前データ有	
②電柱に設置 事前データ無 ハンプ設置箇所での車両・自転車の走行挙動を確認	
③電柱に設置 事前データ無 自転車通行帯敷設箇所の自転車走行位置の変化を観測	


ハンプの設置
交差点のカラー化
南佐賀（三）
自転車通行帯敷設
ハンプの設置
交差点のカラー化
交差点のカラー化
ハンプの設置
交差点のカラー化
地理院地図

設置個所	画角
④電柱に設置 事前データ有 交差点のカラー化実施箇所での車両・自転車の走行挙動を確認	
⑤電柱に設置 事前データ有 ハンプ設置箇所での車両・自転車の走行挙動を確認	
⑥電柱に設置 事前データ無 ハンプ設置箇所とその前後での車両速度を計測	



設置個所	画角
	画角取得中

地理院地図

設置個所	画角

ハンプの設置
交差点のカラー化
南佐賀（三）
自転車通行帯敷設
ハンプの設置
交差点のカラー化
交差点のカラー化
ハンプの設置
交差点のカラー化
地理院地図

設置個所	画角
⑬電柱に設置 事前データ有 対策実施による並行路線の交通量の変化	
⑭照明灯に設置 事前データ有 対策実施による並行路線の交通量の変化	

1) 方向別自動車交通量調査

自動車交通量調査は、ビデオカメラ映像から車種別・方向別・時間帯別に交通量を計測して行う。車種は、次表に示す 5 分類とし、時間帯については 10 分毎に集計するものとする。

表 4　交通量調査の車種区分

車　種	内　　容	車頭番号
乗　用　車	乗用車、ワゴン、軽乗用車等	3，5，7
小型貨物車	小型トラック、ライトバン、軽トラック等	4，6
バ　　ス	マイクロバス、路線バス、観光バス等のバス	2
普通貨物車	大型トラック、タンクローリー等	1，9，0
二　輪　車	原付、自動二輪車	－

2) 自転車・歩行者交通量調査

歩行者交通量調査は、対象地点を通行する歩行者を見かけ上の推定年齢別（小学生以下、中学生以上、高齢者（65 歳以上））および自転車を方向別にビデオカメラ映像から観測し、10 分毎に集計するものとする。

3) 挙動調査

交通状況をビデオカメラ映像から観測し、ハンプや狭さく設置箇所における車両、自転車の車両挙動を確認する。また交差点カラー化箇所についても同様に車両挙動を確認する。

表 5　確認事項と主な撮影カメラ

確認事項	主な撮影カメラ番号
・ハンプ設置箇所を通過時の車両・自転車・歩行者の走行挙動を確認	カメラ② カメラ⑤ カメラ⑨
・交差点カラー化箇所を通過時の走行挙動を確認	カメラ④ カメラ⑦ カメラ⑧ カメラ⑪
・自転車通行帯敷設箇所における自転車の走行位置を確認	カメラ③ カメラ④ カメラ⑥
・その他、急ハンドルや急ブレーキ、車両と歩行者のニアミス等	全カメラ

4) 車両速度調査

ビデオ映像に対して、任意の 2 断面を設定し、断面の通過時間と距離から走行速度を算出する。ハンプ設置箇所とその前後で車両速度を計測するものとし、同一車両での速度変化を観測する。

計測項目と計測方法のイメージ、指標の算出方法を以下に示す。

■計測項目

・主な計測項目　　：計測断面の通過時刻

・その他の計測項目の例　：車両番号/信号現示/利用車線/車種/交差点での進行方向

■評価指標の求め方

走行速度　$v(m/s)=\frac{L(m)}{t(s)}$

L:断面間の距離
t:隣接する断面の通過時刻の差

図 8　走行速度計測方法

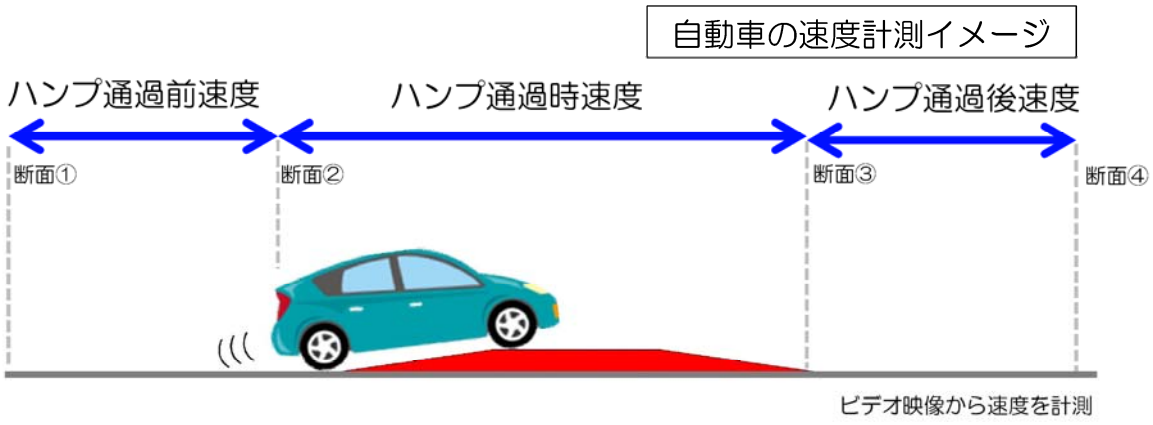


図 9　計測イメージ

5) 走行経路調査

交通流動調査は､各地点のビデオ映像により１台ずつの車種､車両の色を観測する。観測した車種、車両に色等を元にビデオ映像間のマッチングを行い、車両の走行経路を把握する。

なお、自動車の車種分類は、以下の５分類とする。

抜け道利用が多いと想定される経路は、下図に示す通りである。

表 6　車種分類

車　種	内　　容
乗　用　車	乗用車、ワゴン、軽乗用車等
小型貨物車	小型トラック、ライトバン、軽トラック等
バ　　ス	マイクロバス、路線バス、観光バス等のバス
普通貨物車	大型トラック、タンクローリー等
二　輪　車	原付、自動二輪車

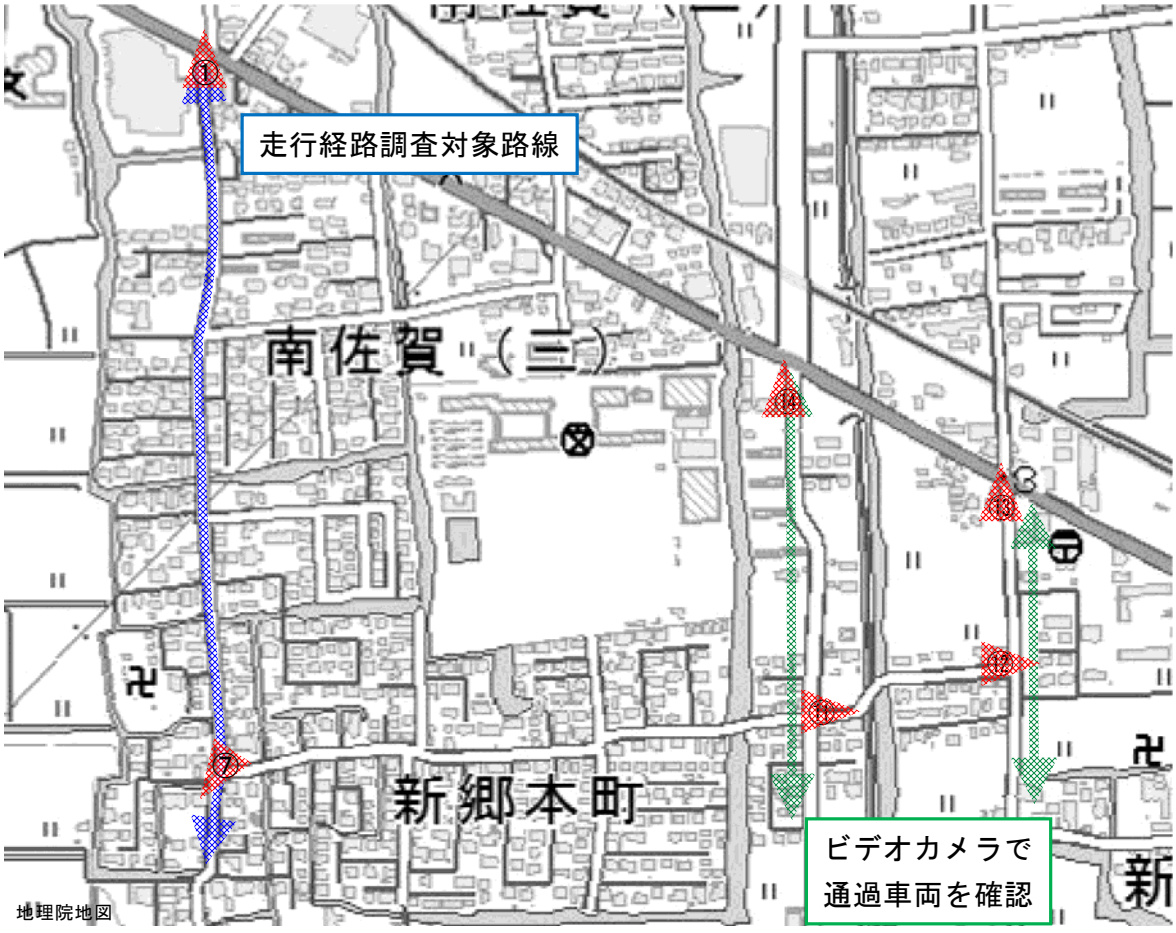


図 10　走行経路調査対象路線

■ポール設置時の具体的な手順

固定用ロープの取り付け

・ 固定用ロープのフック部分を上部リングに通します

・ 固定用ロープのフック部分を支柱に回して一周させ、上部リングに引っ掛けます

⇒このとき、映像・電源コードおよびコントローラーコードの内側を通すようにし、それらを巻き込まないように注意してください

転倒防止用ロープの取り付け

・ ビューポールの上部リングに転倒防止用ロープのフック部分を通します

・ 転倒防止用ロープのフック部分を支柱に回して一周させ、ロープ反対側にあるリングに引っ掛けます

⇒このときも、映像・電源コードおよびコントローラーコードの内側を通すようにし、それらを巻き込まないように注意してください
⇒また、固定用ロープにも絡まないように注意してください

ビューポールをのばす

・ 固定ネジを緩めて、ビューポールを一段ずつ上げていきます
・ 一段分のポールが上がったら、ロックピンを確実に出し、固定ネジをしっかりと締めてください

⇒このとき、コード類・固定用ロープなどが絡まないように注意してください
⇒必ず軍手を使用して、けがの防止に努めてください

ロックピン・固定ネジの固定

・ ビューポールが一段分上がったら、上げたポールを回転させて、その下段にあるロックピンが出るように調節します
・ ロックピンを出したら、固定ネジをしっかり締めてください
・ 特にロックピン固定前は上げたポールが落下してくることがありますので、軍手を使用するとともに、十分な注意を払ってください
・ ロックピンが出ない任意の高さにも固定ネジで調節できすが、落下防止のためにネジの固定を確実に行ってください

出典：http://www.doro.co.jp/_userdata/viewpole_howto.pdf

固定用ロープの巻き付け

・ ビューポールの先頭部分の固定ができたら、下部まで固定用ロープを支柱に複数回巻き付けて、さらに安定させるようにします

⇒固定用ロープを巻きつけることで、ビューポール本体が風に煽られて画角がズレることを防ぎます

②下部の固定（ビューポールの下部を支柱に固定）

・ 固定用ロープをビューポール本体の下部リングに通します

・ 固定用ロープを支柱に回してビューポールを固定してください
・ 下部リングを利用してしっかりとロープを結んでください

出典：http://www.doro.co.jp/_userdata/viewpole_howto.pdf

・ さらにゴムバンドを使って固定してください

出典：http://www.doro.co.jp/_userdata/viewpole_howto.pdf

調査計画書（利用者満足度調査）

目的：効果検証のための利用者満足度調査実施に際して作成

＜資料内容＞

・調査目的

・調査内容

・調査方法

・調査スケジュール

・調査票

平成 28 年度

佐賀国道管内交通事故分析検討外業務

利 用 者 満 足 度 調 査 計 画 書

（佐賀市北川副地区の安全対策）

平成 29 年 1 月

国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所

[redacted]

目　　次

※一部抜粋

1.　調査の目的 1
2.　調査内容 2
3.　調査日時 2
4.　調査方法 3
4-1 ヒアリング調査 3
4-2 アンケート調査 4
5.　調査スケジュール 7
6.　注意事項・安全管理 8
6-1 安全管理教育 8
6-2 その他安全管理上の確認・留意事項 9
7.　調査実施体制（連絡体制） 11
7-1 通常時の連絡体制 11
7-2 緊急時の連絡体制 12

1. 調査の目的

本調査は、佐賀市北川副地区おいて平成 29 年 1 月に実施される交通安全社会実験について、利用者の声を収集し、対策の評価、受容性を把握するために実施するものである。

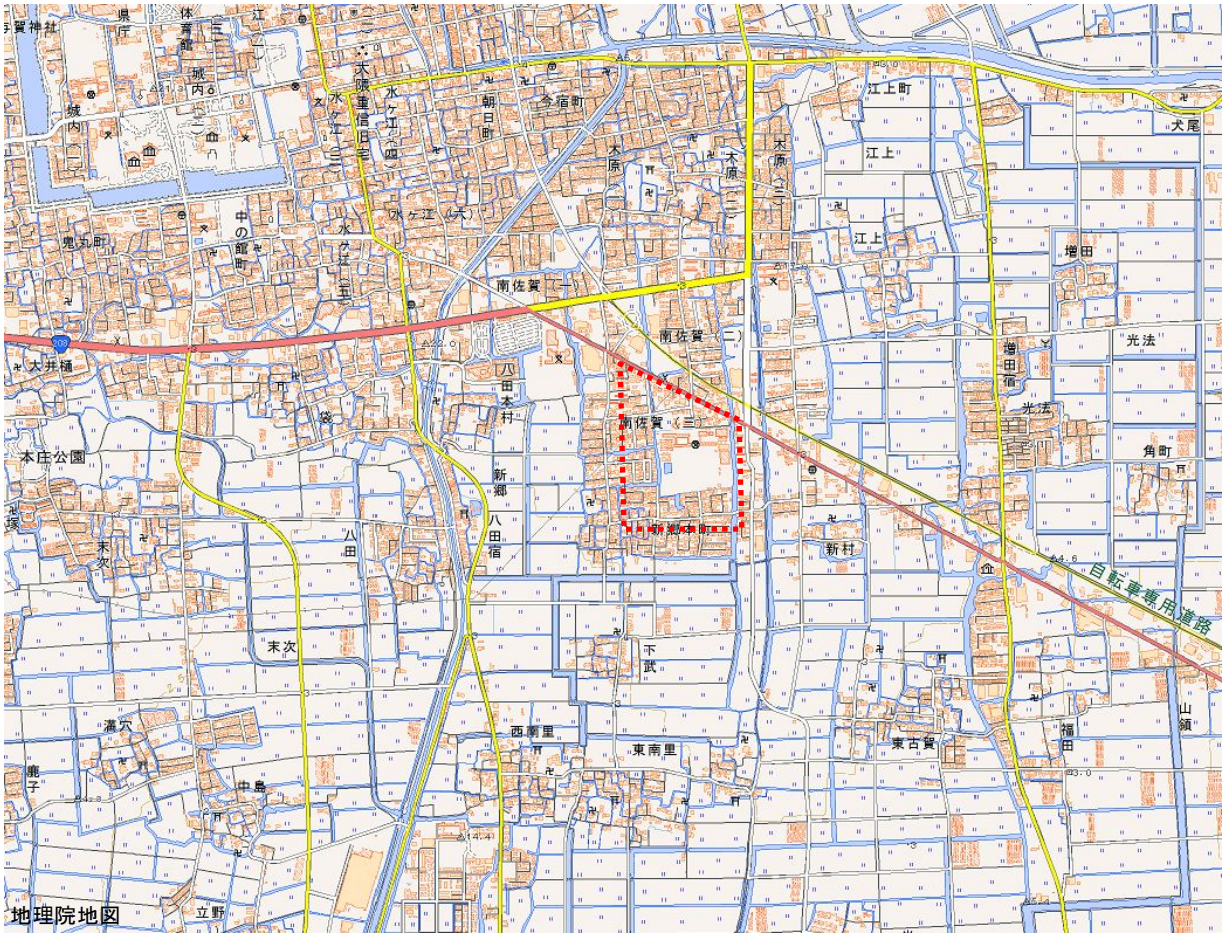


図 1　調査対象範囲

2. 調査内容

調査は、地域住民、当該地区の学校へ通学する中高生、さらに当該地区へ買い物等に来る利用者に対し、アンケート調査を実施し、日ごろの通行状況や対策の認知状況、効果、受容性、新たな課題や問題点等について把握を行う。

＜調査内容＞

○対策の認知状況
○対策の効果（対策による具体的な行動・意識の変化）
○総合的な評価（安全性の向上）
○対策の受容性
○その他（自由意見）

3. 調査日時

調査日時は以下に示す日程で実施する。

ヒアリング調査は、ビデオ調査への影響を避けるため、ビデオ調査の実施日と同日にならないように実施する。

表 1　調査日時

調査方法	調査日	調査時間
アンケート調査	〔自治会〕 平成 29 年 1 月 30 日（月）~配布 平成 29 年 2 月 15 日（水）〆 〔学生〕 平成 29 年 2 月 6 日（月）~学校へ配布 平成 29 年 2 月 15 日（水）〆	－
ヒアリング調査	平成 29 年 2 月 6 日（月）	9:00~17:00

4. 調査方法

4-1 ヒアリング調査

利用者の声を収集するため、地区の北側に位置する「あんくるふじや佐賀本店」の入口において来店者に対してヒアリングを実施する。ヒアリングは、来店者に対して実施し、入口でアンケートへの協力の声掛けを行う。

項目	備考
日時	平成 29 年 2 月 6 日（月） 9:00~17:00
ヒアリング対象	あんくるふじや佐賀本店 来店者 （佐賀市南佐賀 1 丁目 22-2）
ヒアリング場所	1 国道 208 号側入口（主に歩行者・自転車） 2 南側入口（主に自動車利用者）
聞き取り内容	○対策の認知状況 ○対策の効果（対策による具体的な行動・意識の変化） ○総合的な評価（安全性の向上） ○対策の受容性 ○その他（自由意見）
目標サンプル数	100 票以上

ヒアリング調査に使用する調査票は巻末に掲載。

図 2 ヒアリング場所

4-2 アンケート調査

地区沿道に住む地域の方々および中高生に対し、アンケート用紙を配布し、郵送回収により、対策効果の実感、対策の受容性、新たに発生している課題等について把握する。

表 2　アンケートの内容

項目	備考
調査対象	地域の方々（南佐賀 3・新本郷町）　　地区内全世帯 学生（県立佐賀東高校、市立城南中学校）　1、2 年生全クラス ※生徒数：佐賀東高校（1 年生：239 名、2 年生：236 名） 城南中学校（1 年生：162 名、2 年生：154 名）
調査方法	＜地域の方々へのアンケート＞ 配布　・地元自治会に協力を依頼し回覧板等で封筒入りの調査票を配布 ・自治会長に配布をお願いし、同封の返信用封筒により郵送回収。 回収　・返信用封筒により各々投函 〔参考〕その他の配布・回収方法 日本郵便株式会社の配達地域指定郵便サービスを利用し、地域へ封書を配達。 同封の返信用封筒により回収。 （町丁目の地域単位の全戸に送付、あて名の記載不要）
	＜中高生へのアンケート＞ 配布 ・学校へ調査票を持参し、ホームルーム等の時間を利用しアンケートに回答してもらう。 回収 ・記入後回収してもらい、後日受け取りに行く。
アンケート内容	○通行方法（交通手段）、通行頻度 ○実感している対策の効果 ○新たに発生している課題 ○対策の受容性 ○その他自由意見
目標とする 有効サンプル数	地域の方々へのアンケート　200 票 ※世帯数　（平成 28 年 4 月住民基本台帳人口） 南佐賀 3 丁目　334 世帯 南佐賀 2 丁目　304 世帯 新郷本町　　602 世帯 中高生へのアンケート　　各 50 票（計 100 票）

アンケート調査票については、巻末に掲載。

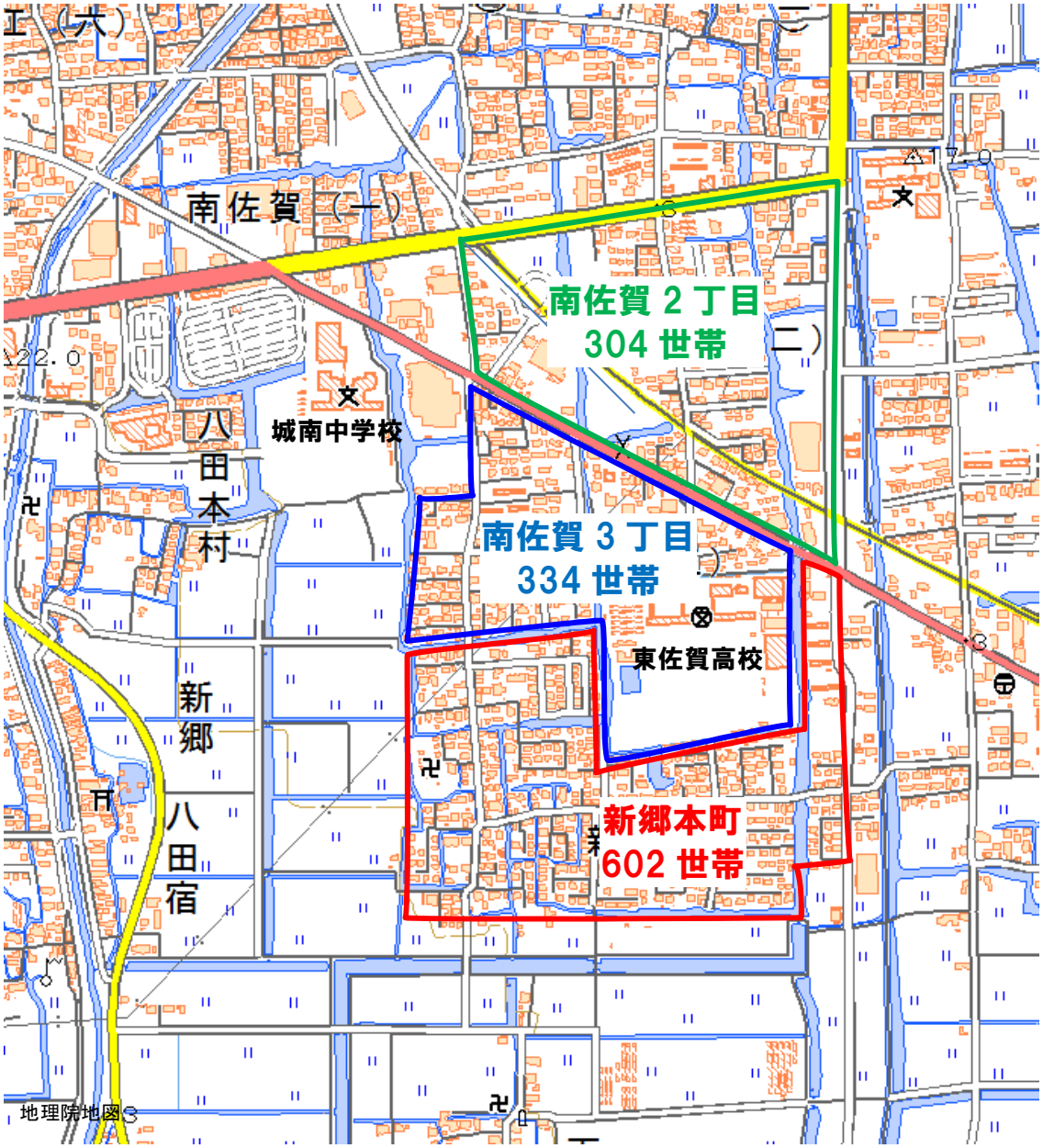


図 3　アンケート配布先案（丁目境界）

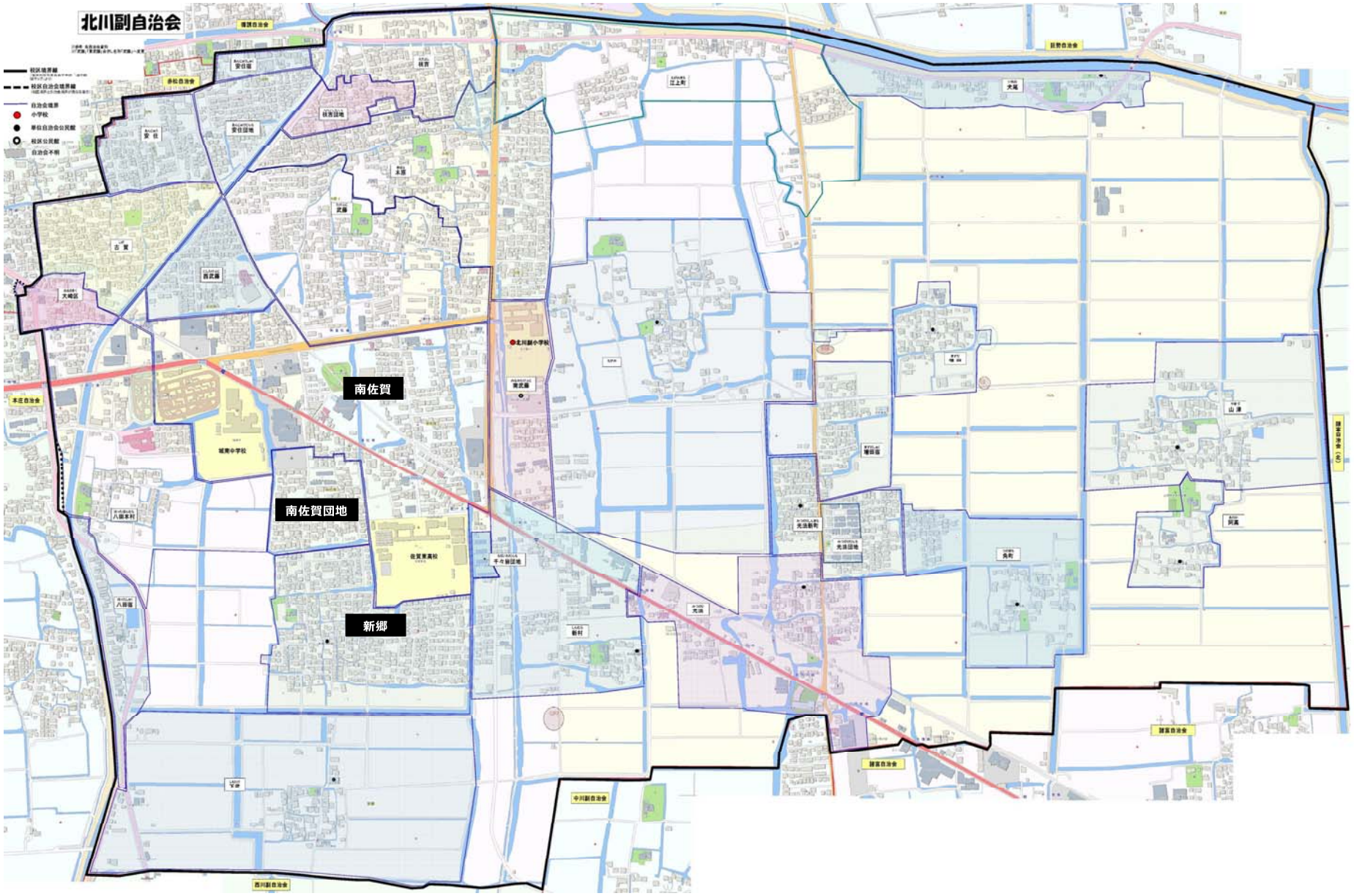


図 4　【参考】北川副自治会の範囲と境界

5. 調査スケジュール

ヒアリングおよびアンケート調査について、実施スケジュールを以下に示す。

表 3　調査スケジュール

月日（週単位）	社会実験	佐賀市	佐賀国道事務所	コンサル
1/4(水)~				
1/8(日)~				1/13~アンケート回収用郵便手続き（受取人払い）
1/15(日)~	**1/15** **ハンプ設置**	~1/20　調査票確定 ~1/20　調査協力依頼 （佐賀市→あんくるふじや、各自治会長、中学・高校）	~1/20　調査票確定 ~1/20　調査協力依頼 （佐賀市→あんくるふじや、各自治会長、中学・高校）	※調査協力依頼（必要に応じてコンサル同行）
1/22(日)~				~1/25　調査票・返信用封筒印刷 ~1/27　調査票を佐賀市または各自治会長へ郵送
1/29(日)~		（1/30~住民アンケート配布開始）		1/30~　各自治会へ配布→各世帯へ回覧板により配布
2/5(日)~				2/6　現地ヒアリング実査（あんくるふじや） 2/6　中学校・高校へ調査票を持参（または、郵送） ※必要に応じてコンサル同行
2/12(日)~	**2/17** **実験終了**	2/17　中学・高校からアンケート調査票の受け取り （受け取り後、コンサルへ）		~2/15　地元アンケート投函締切
2/19(日)~				~2/24　調査結果とりまとめ（2/20 到着分まで） →会議資料の作成
2/26(日)~				
3 月上旬		※委員会にて効果の分析結果を報告（日程未定）	※委員会にて効果の分析結果を報告（日程未定）	

地域アンケート調査票

北川副地区の交通安全に関するアンケートご協力のお願い

地域の皆様には、日頃から道路行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、佐賀市と佐賀国道事務所は、北川副地区において 2017 年 1 月 15 日より、地区内の交通安全の試みの一つとして、ハンプ等の設置を試験的に実施しています。その効果検証を目的とし、アンケート調査を実施することといたしましたので、大変ご多忙とは存じますが、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査は**佐賀市と佐賀国道事務所が主体となり、各地区の自治会長の皆様のご協力をいただき実施しているものです。**

アンケート回答後は同封している返信用封筒により２月２０日（月）までにご返信下さい。

※ 調査結果は上記目的以外には使用いたしません。

※ 回答は無記名のうえ、全て統計的に処理され、個人が特定できる内容についての情報収集はいたしません。 また、個人的な意見や考えが外部に漏れることは、一切ありません。

＜調査主体（問い合わせ先）＞

佐賀市　建設部　道路整備課

電話：０９５２－４０－７１７６（担当）　武久，梅野

国土交通省　九州地方整備局　佐賀国道事務所

電話：０９５２－３２－１１５１　（担当）　横山

＜調査実施＞

[redacted]

アンケートの回答にあたって

■選択肢（選択できる回答）がある質問については、当てはまる選択肢にチェックを入れてください。

■また、［ ］欄のある質問については、［　］内に具体的な回答内容をご記入ください。

はじめに、あなたご自身についてお答え下さい。

性別	男性 ・ 女性	年齢	10 代・20 代・30 代・40 代・50 代・60 代・70 代以上
お住まい	1．北川副地区内	2．その他佐賀市内	3．その他

質問 1　北川副地区の普段の通行状況についてお答えください。

1．普段、この地区をどのような方法で通行しますか？(複数回答)
□徒歩　□自転車　□バイク　□自動車　□その他（　　）

2．この地区をどの程度の頻度で通行しますか？
□ほぼ毎日　□週に 2～3 回　□月に 2～3 回　□月に 1 回程度　□通ったことがない→質問 8 へ

質問 2　北川副地区の交通安全の取り組みについてお答えください。
北川副地区では 2017 年 1 月 15 日(日)から 2 月 17 日(金)まで、交差点のカラー化等の交通安全対策を試験的に実施しています。この取り組みをご存じですか？

□知っている　□知らない

■以下の質問 3 から質問 6 は、それぞれの対策内容についてお尋ねしています。
通行したことがある場所についてお答えください。

質問 3　**ハンプ**(道路上に設置された低いカマボコ形の障害物：右図)が設置されたことで、どのような効果があったと思いますか？

●自動車・バイクで通行される方はお答えください。
1．ハンプ(道路上に設置された低いカマボコ形の障害物)の設置により速度を落として走行するようになった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

●徒歩・自転車で通行される方はお答えください。
2．ハンプ(道路の盛り上がり)の設置によって自動車の速度が落ち、安心して通行できるようになった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

質問 4　**交差点のカラー化**によって、どのような効果があったと思いますか？

●自動車・バイクで通行される方はお答えください。
1．交差点位置が分かりやすくなり、注意して走行するようになった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

●徒歩・自転車で通行される方はお答えください。
2．　自動車が交差点で注意して走行するようになり、安心して通行できるようになった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

質問 5　**自転車通行位置のカラー化**によって、どのような効果があったと思いますか？

●自動車・バイク・徒歩で通行される方はお答えください。
1．左側走行を守る自転車が多くなり、走行しやすくなった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

2．横に広がって走行する自転車が少なくなり、安全に通行できるようになった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

●自転車で通行される方はお答えください。
3．走行位置が分かりやすくなり、左側走行を守るようになった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

4．走行位置が分かりやすくなり、横に広がって走行することがなくなった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

質問 6　これらの対策によって、総合的にみて地区全体の安全性は向上したと思いますか？

□かなり安全になった　□やや安全になった　□どちらとも言えない　□やや危険になった　□かなり危険になった

質問 7　今回の社会実験を踏まえ、今後の対策について、ご自身の意向も最も近いものを 1 つお選びください。

□今後も継続して対策すべき（不便を感じることはない）
□不便を感じるが、対策は継続すべき
□不便を感じるため、対策は必要ない
□特に何も感じない
□その他（　　）

質問 8　北川副地区について、今回の対策箇所以外に危険だと感じる場所や、交通安全に関するその他ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。書ききれない場合、裏面をご利用ください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき誠に有難うございました。

北川副地区の交通安全に関するアンケートご協力のお願い

地域の皆様には、日頃から道路行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、佐賀市と佐賀国道事務所は、北川副地区において 2017 年 1 月 15 日より、地区内の交通安全の試みの一つとして、ハンプ等の設置を試験的に実施しています。その効果検証を目的とし、アンケート調査を実施することといたしましたので、大変ご多忙とは存じますが、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査は**佐賀市と佐賀国道事務所が主体となり、実施しているものです。**

※ 調査結果は上記目的以外には使用いたしません。

※ 回答は無記名のうえ、全て統計的に処理され、個人が特定できる内容についての、情報収集はいたしません。 また、個人的な意見や考えが外部に漏れることは、一切ありません。

＜調査主体（問い合わせ先）＞

佐賀市 建設部 道路整備課

電話：０９５２－４０－７１７６ （担当） 武久，梅野

国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

電話：０９５２－３２－１１５１ （担当） 横山

＜調査実施＞

[redacted]

アンケートの回答にあたって

■選択肢（選択できる回答）がある質問については、当てはまる選択肢にチェックを入れてください。

■また、［ ］欄のある質問については、［ ］内に具体的な回答内容をご記入ください。

質問１　普段の通学方法についてお答えください。
普段、どのような方法で通学しますか？(複数回答)

□徒歩　□自転車　□その他（　　）

質問２　北川副地区の交通安全の取り組みについてお答えください。

１．北川副地区では 2017 年 1 月 15 日(日)から 2 月 17 日(金)まで、交差点のカラー化等の交通安全対策を試験的に実施しています。この取り組みをご存じですか？

□知っている　□知らない

2．期間中に対策区間を通行したことがありますか？

□通行したことがある　□通行したことがない→質問８へ

■以下の質問３から質問６は、それぞれの対策内容についてお尋ねしています。
通行したことがある場所についてお答えください。

質問３　**ハンプ**(道路上に設置された低いカマボコ形の障害物：右図)についてお尋ねします
ハンプの設置により自動車の速度が落ち、安心して通行できるようになったと思いますか？

□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない
□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

質問４　**交差点のカラー化**についてお尋ねします
自動車が交差点で注意して走行するようになり、安心して通行できるようになったと思いますか？

□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない
□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

質問４　**自転車通行位置のカラー化**についてお尋ねします
自動車が交差点で注意して走行するようになり、安心して通行できるようになったと思いますか？

●徒歩で通学される方はお答えください。
1．左側走行を守る自転車が多くなり、通行しやすくなった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

2．横に広がって走行する自転車が少なくなり、安全に通行できるようになった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

●自転車で通学される方はお答えください。
3．走行位置が分かりやすくなり、左側走行を守るようになった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

4．走行位置が分かりやすくなり、横に広がって走行することがなくなった。
□かなりそう思う　□ややそう思う　□どちらとも言えない　□あまりそう思わない　□まったくそう思わない

質問６　これらの対策によって、総合的にみて地区全体の安全性は向上したと思いますか？

□かなり安全になった　□やや安全になった　□どちらとも言えない　□やや危険になった　□かなり危険になった

質問７　今回の社会実験を踏まえ、今後の対策について、ご自身の意向も最も近いものを１つお選びください。

□今後も継続して対策すべき（不便を感じることはない）
□不便を感じるが、対策は継続すべき
□不便を感じるため、対策は必要ない
□特に何も感じない
□その他（　　）

質問８　北川副地区について、今回の対策箇所以外に危険だと感じる場所や、交通安全に関するその他ご要望等ありましたら、お書きください。

最後に、あなたご自身についてお答え下さい。

性別	□男性　□女性	お住まい	□北川副地区内　□その他佐賀市内　□その他

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき誠に有難うございました。

調査員（　　）　調査日（　　時　　分）　調査場所（　　）

北川副地区の普段の通行状況についてお答えください。
手段(MA)　□徒歩　□自転車　□バイク　□自動車　□その他（　　）
頻度(SA)　□ほぼ毎日　□週に２～３回　□月に２～３回　□月に１回程度　□通ったことがない
2017年1月15日(日)から2月17日(金)まで、北川副地区内の交通安全の試みの一つとして、ハンプ等の設置を試験的に実施しています。このことをご存じでしたか？
□知っていた　□知らなかった

→「通ったことがない」かつ「知らなかった」の場合、右の自由意見へ

1 かなりそう思う　2 ややそう思う　3 どちらとも言えない　4 あまりそう思わない　5 まったくそう思わない

自動車・自動二輪車で通行される方	徒歩・自転車で通行される方
質問３　ハンプ(道路の盛り上がり)によって、どのような効果があったと思いますか？	
ハンプの施設置により速度を落として走行するようになった。	ハンプの設置により自動車の速度が落ち、安心して通行できるようになった。
1　2　3　4　5	1　2　3　4　5
質問４　交差点のカラー化によって、どのような効果があったと思いますか？	
交差点位置が分かりやすくなり、意識して減速・一時停止するようになった。	自動車が交差点で減速・一時停止するようになり、安心して通行できるようになった。
1　2　3　4　5	1　2　3　4　5
自転車通行位置のカラー化によって、どのような効果があったと思いますか？	
左側走行を守る自転車が多くなり、走行しやすくなった。	走行位置が分かりやすくなり、左側走行を守るようになった。
1　2　3　4　5	1　2　3　4　5
並列走行する自転車が少なくなり、安全にすれ違えるようになった。	走行位置が分かりやすくなり、並列走行をすることがなくなった。
1　2　3　4　5	1　2　3　4　5
質問６　狭さくによって、どのような効果があったと思いますか？	
狭さくの前後で速度を落として走行するようになった。	狭さくの前後で自動車の速度が落ちるようになり、安心して通行できるようになった。
1　2　3　4　5	1　2　3　4　5

質問７　これらの対策によって、総合的にみて地区全体の安全性は向上したと思いますか？

安全になった　1　2　3　4　5　危険になった（3：どちらともいえない）

質問８　今回の社会実験を踏まえ、今後の対策について、ご自身の意向も最も近いものを１つお選びください。

□今後も継続して対策すべき（不便を感じることはない）
□不便を感じるが、対策は継続すべき
□不便を感じるため、対策は必要ない
□特に何も感じない
□その他（　　）

■北川副地区について、今回の対策箇所以外に危険だと感じる場所や、交通安全に関するその他ご要望等ありましたら、お書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき誠に有難うございました。

性別	男性・女性	年齢	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上
お住まい	１．北川副地区内	２．その他佐賀市内	３．その他

回覧資料

目的：効果検証のためのビデオ調査実施に際して、地区住民に回覧

＜資料内容＞

・調査目的

・調査場所

・調査日時

・問い合わせ先

佐賀東高校周辺地域におけるビデオ調査実施のお知らせ

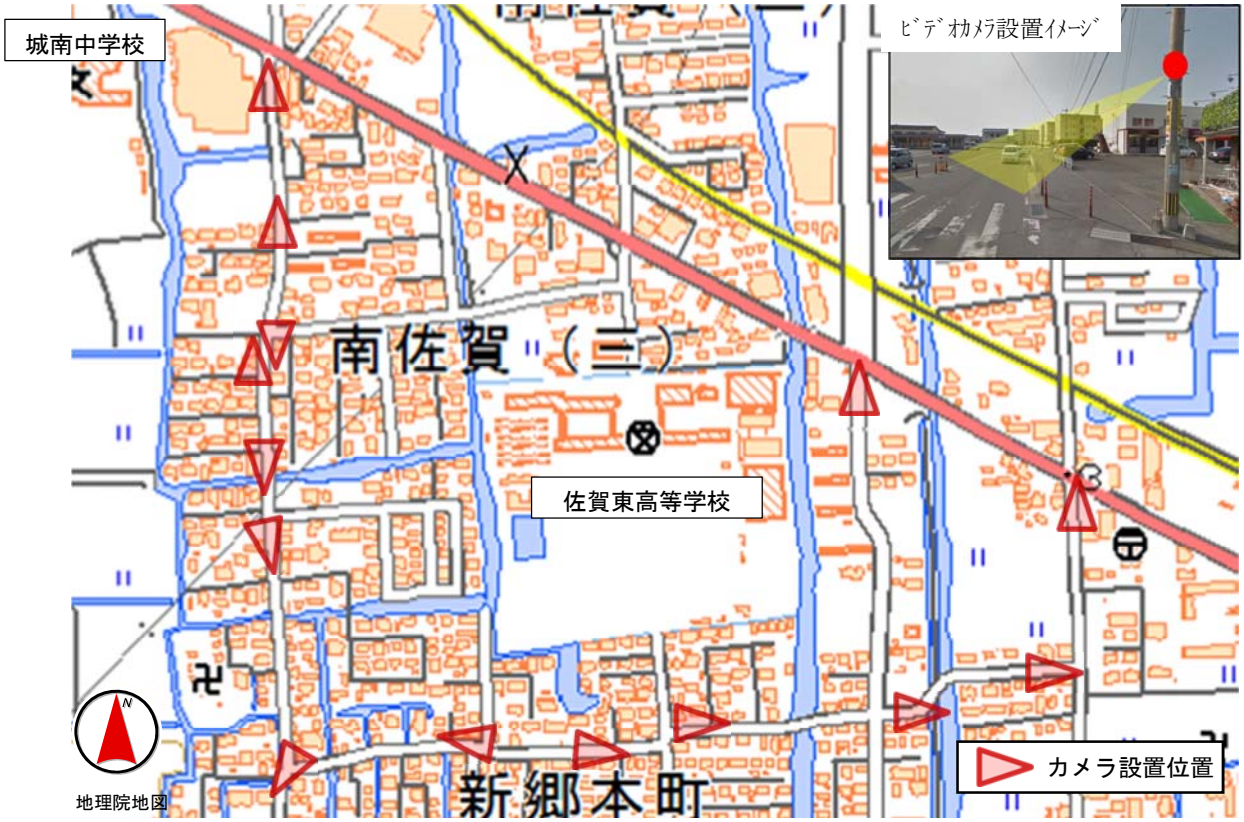
■調査目的

佐賀東高校周辺地区におきましては、生活道路を抜け道として利用している車両があり、通学生や地域住民のみなさまの生活にとって、非常に危険な状況となっております。

つきましては、エリア内の交通安全対策実施を行い、対策を実施したときの利用状況や交通量など実態を把握したいので、以下の通り調査を行います。ご理解をお願いします。

■調査場所

地図に示す箇所の電柱やカーブミラーなどにビデオカメラを設置します。



■調査日時

調査日　：平成 29 年 2 月 7 日（月）～9 日（木）のうち、平日 1 日

※自治会館前に設置するカメラのみ平成 29 年 1 月 15 日（日）～2 月 17 日(金)

調査時間：6：00～9：00（朝）、15：00～19：00（夕）

※雨天の場合は、実施いたしません。

調査責任者の身分証明書

■問い合わせ先

佐賀市　道路整備課

担当：[redacted]

国土交通省　佐賀国道事務所　交通対策課

担当：[redacted]

■調査会社

[redacted]

調査責任者 [redacted]［電話］[redacted]

※調査員は 2 名程度とし、腕章をつけます。

調査員の腕章

参考資料６　第3回検討会

・説明資料

・配布資料

・意見聴取用資料（大判図面：対策案）

・回覧資料（事前）

・マスコミ投込み資料

・回覧資料（事後）

説明資料

目的：第3回検討会にて、社会実験の結果報告や対策案の説明などに使用

＜資料内容＞

・検討会の主旨
・これまでの経緯
・本日の流れ
・社会実験の実施（社会実験の概要）
・　　〃　　（住民参加）
・　　〃　　（施工状況）
・社会実験の効果検証（ビデオ調査：調査概要）
・　　〃　　（　　〃　　：自動車の速度）
・　　〃　　（　　〃　　：自転車の通行位置）
・　　〃　　（　　〃　　：通り抜け交通）
・　　〃　　（アンケート調査：調査概要）
・　　〃　　（　　〃　　：社会実験の認知状況）
・　　〃　　（　　〃　　：ハンプの効果）
・　　〃　　（　　〃　　：交差点カラー化の効果）
・　　〃　　（　　〃　　：自転車通行位置カラー化の効果）
・　　〃　　（　　〃　　：地区の安全性について）
・　　〃　　（　　〃　　：今後の対策の必要性について）
・　　〃　　（　　〃　　：主な意見）
・これからの対策案（短期、長期）

北川副地区
第３回交通安全対策検討会

平成29年3月12日（日）

検討会の趣旨

佐賀市では生活道路を対象とした
交通安全対策を進めています。

この度、北川副地区をモデル地区に、
住民主導で交通安全対策を検討し、
そのノウハウを他の地域にも広げていきたいと
考えています。

これまでの経緯

日付	項目	内容
H28.9.30 （金）	地元説明会	各自治会に対する説明会
H28.11.13 （日）	第1回検討会 （ワークショップ）	地域住民による危険箇所の抽出
H28.12.11 （日）	第2回検討会 （ワークショップ）	対策素案への意見聴取 /社会実験案の説明
H29. 1.15 （日） ～ H29.2.17 （金）	社会実験	社会実験の実施/ 社会実験の効果計測のための各種調査
今回 H29.3.12 （日）	第3回検討会	社会実験の効果の報告 /対策案への意見聴取

本日の流れ

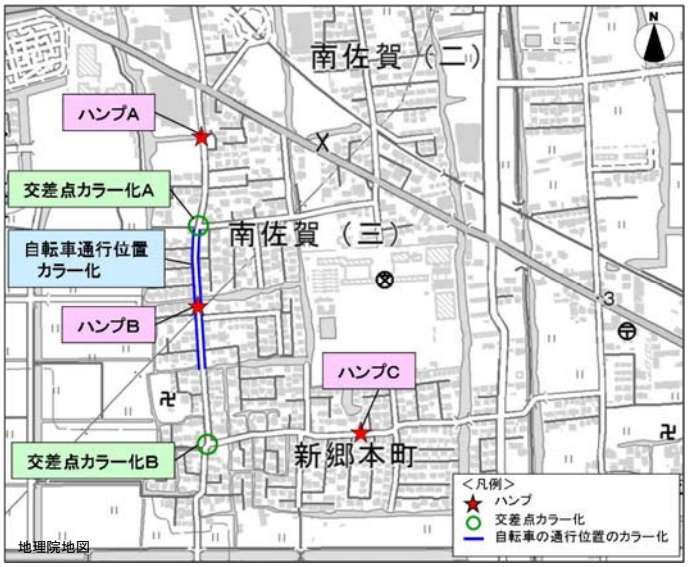
【全体】 9:30～ 90分程度

会議の内容	時間の目安
1）検討会の主旨説明・これまでの経緯	約5分
2）社会実験の実施 （ハンプ・交差点カラー化・自転車通行位置のカラー化）	約10分
3）社会実験の効果検証 ・交通実態調査結果 ・利用者満足度調査結果	約40分
4）これからの対策案 ・これからの対策案の紹介 ・意見聴取	約30分
5）まとめ	約5分

社会実験の実施

社会実験の概要

目的	北川副地区で検討されている生活道路の交通安全対策のうち、 主な対策について社会実験を行い、**対策の効果や影響を確認**する。
期間	平成29年1月15日（日）～平成29年2月17日（金）
実施した対策	・**ハンプの設置（3箇所）** *⇒車両の速度抑制* ・**交差点のカラー化（2箇所）** *⇒交差点の注意喚起* ・**自転車の通行位置のカラー化（1区間）** *⇒通行位置の明確化*

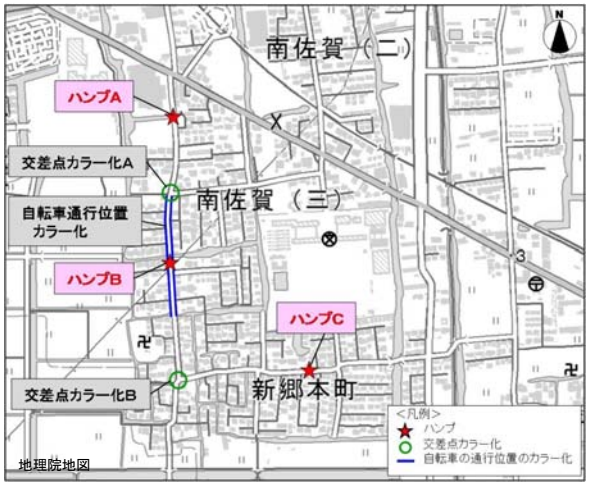


社会実験の概要図

社会実験の概要

■施工状況 （ハンプ）

	施工前	施工後
ハンプA		
ハンプB		
ハンプC		



※ハンプ イメージ図

8

社会実験の概要

■施工状況 （ハンプ）

9

社会実験の概要

■施工状況 （ハンプ）

10

社会実験の概要

■施工状況 （ハンプ）

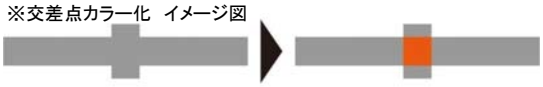
11

社会実験の概要

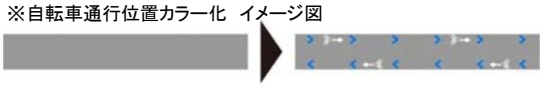
■施工状況 （カラー化）

	施工前	施工後
交差点カラー化A		
自転車通行位置カラー化		
交差点カラー化B		

※交差点カラー化 イメージ図



※自転車通行位置カラー化 イメージ図



1
2

社会実験の概要

■施工状況 （カラー化）

1
3

社会実験の概要

■施工状況 （カラー化）

14

社会実験の概要

■施工状況 （カラー化）

15

社会実験の効果検証

ビデオ調査による効果検証

ビデオ調査による効果検証

対策効果を把握するために14箇所にビデオカメラを設置してビデオ調査を実施しました。

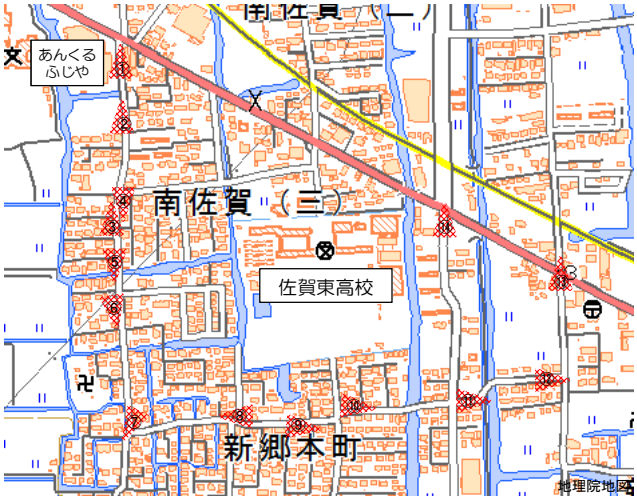
■調査日時

調査日	平成29年2月8日（水）
調査時間帯	朝ピーク時３時間（6:00～9:00） 夕ピーク時４時間（15:00～19:00）

■調査内容

調査内容	調査した内容
交通量	自動車・自転車・歩行者の交通量
速度	地域内を走る自動車の速度
抜け道自動車	地域内を抜けていく自動車の台数
利用者の様子	対策を実施した箇所を通行する利用者の様子

■ビデオカメラ設置位置

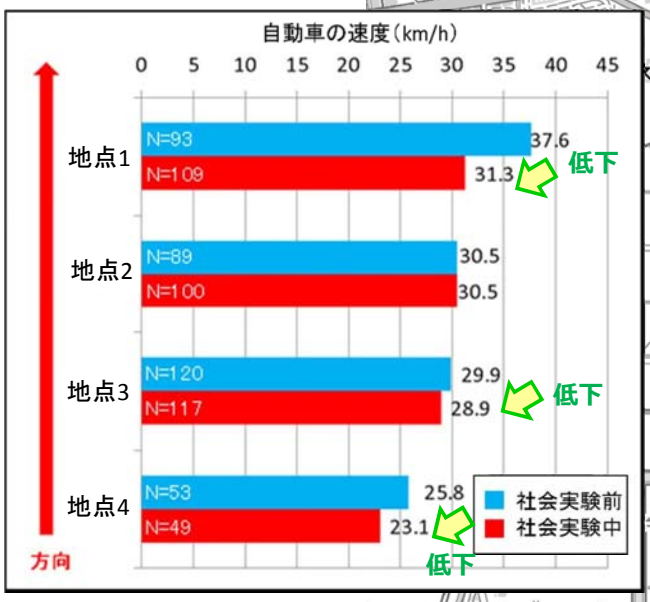


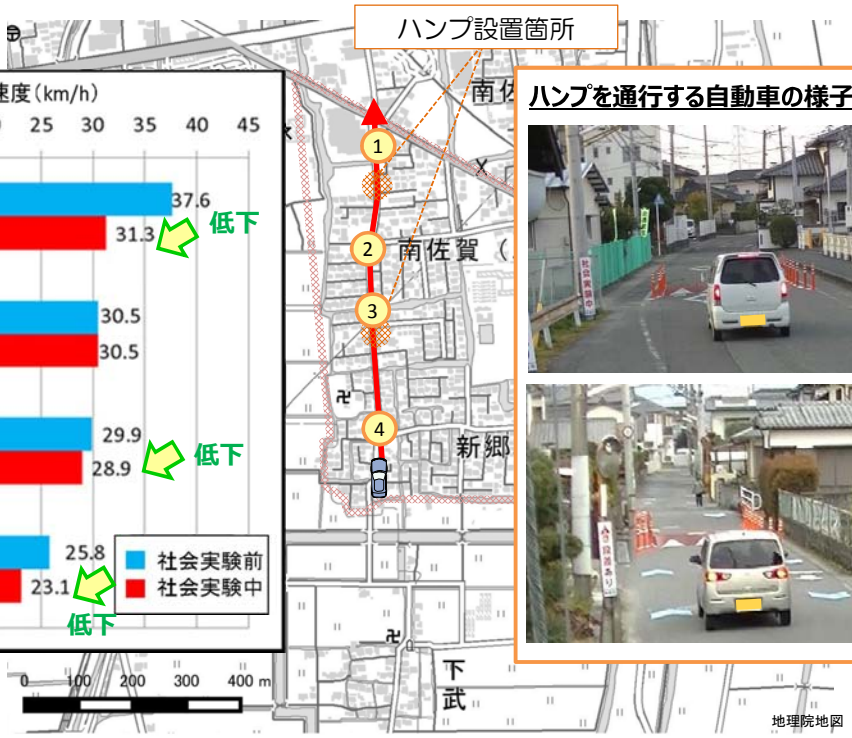
当日のカメラ取付状況

ビデオ調査による効果検証

自動車の速度

朝ピーク時(7:30～8:30)の、地域内を走行する自動車の平均速度は社会実験前と比較して低下した。



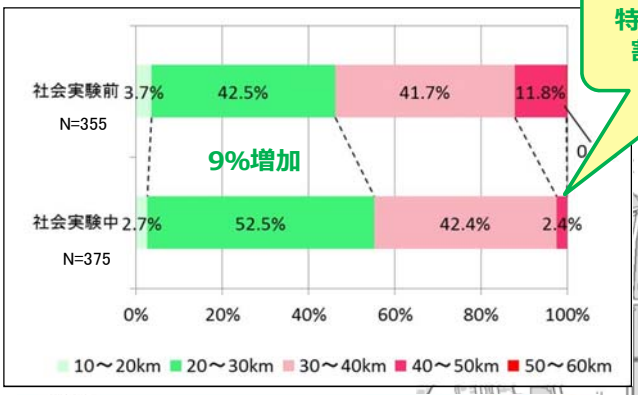


ハンプを通行する自動車の様子

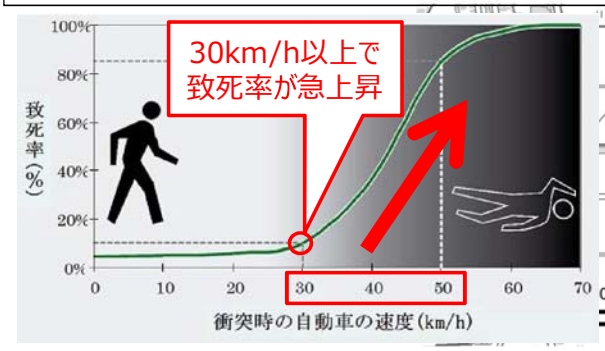
■現地調査結果【自動車の走行速度の度数分布】

自動車の速度

朝ピーク時(7:30～8:30)の、地域内を走行する自動車の30km/hを超える割合は、社会実験前と比較して低下した。



特に速度が高い車の割合が大きく低下

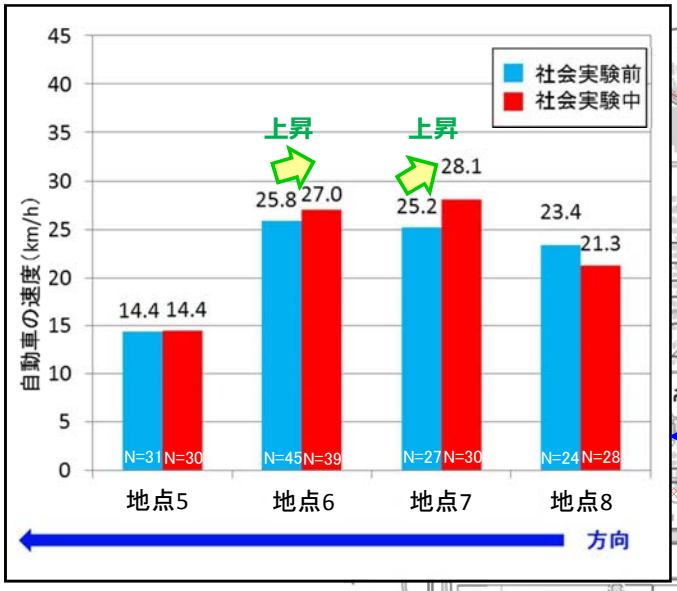


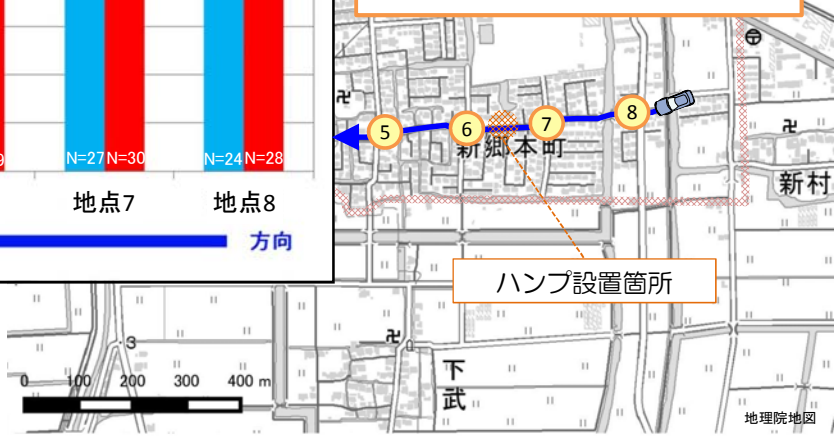
20

ビデオ調査による効果検証

自動車の速度

朝ピーク時(7:30～8:30)の、地域内を走行する自動車の平均速度は社会実験前と比較して上昇した。





21

ビデオ調査による効果検証

動画

自動車の速度

22

ビデオ調査による効果検証

動画

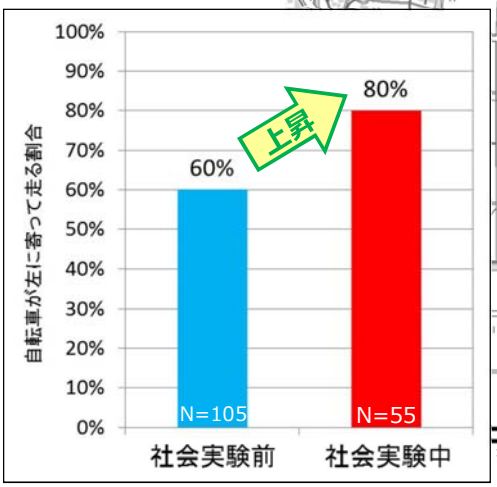
自動車の速度

23

ビデオ調査による効果検証

自転車が左に寄って走る割合

朝ピーク時(7:30～8:30)及び夕ピーク時(17:00～18:00)の自転車は左に寄って走る割合が20%上昇した。

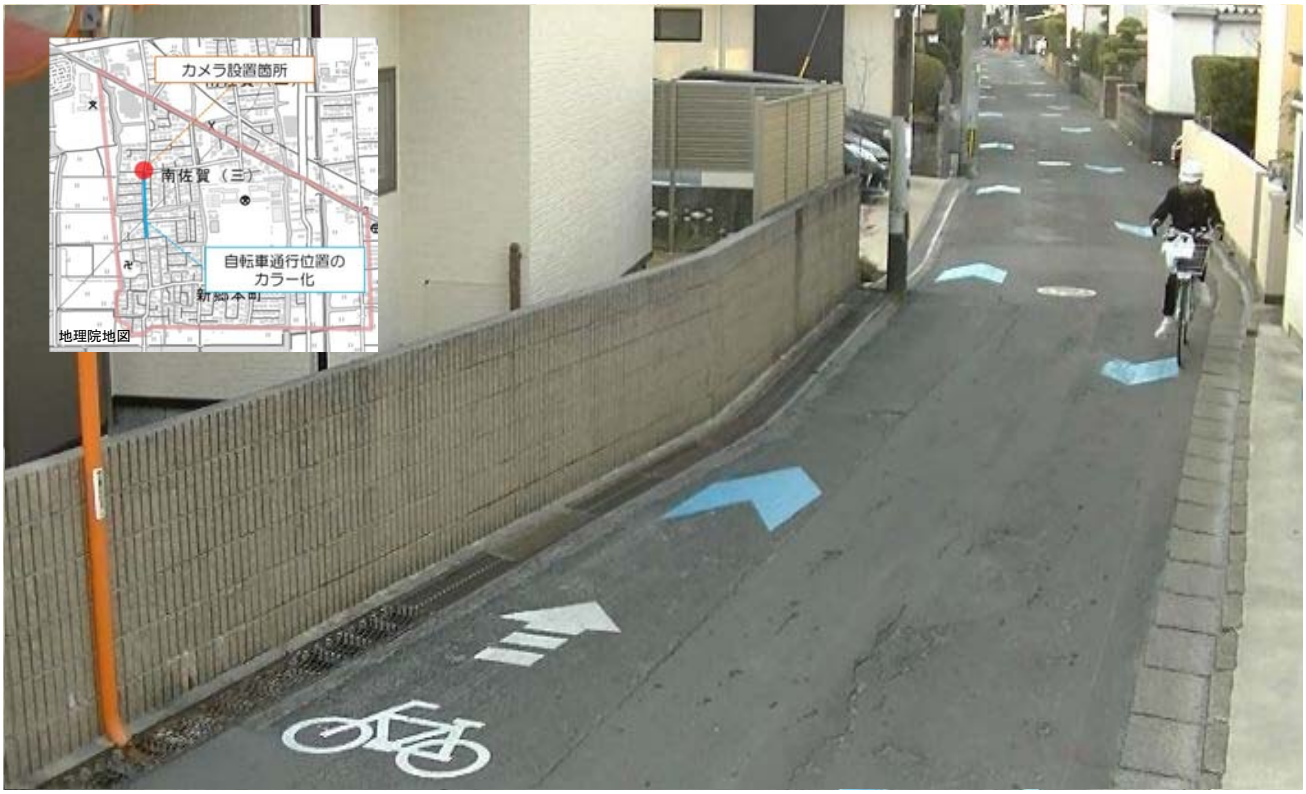


24

ビデオ調査による効果検証

動画

自転車通行帯カラー化箇所での走行



25

ビデオ調査による効果検証

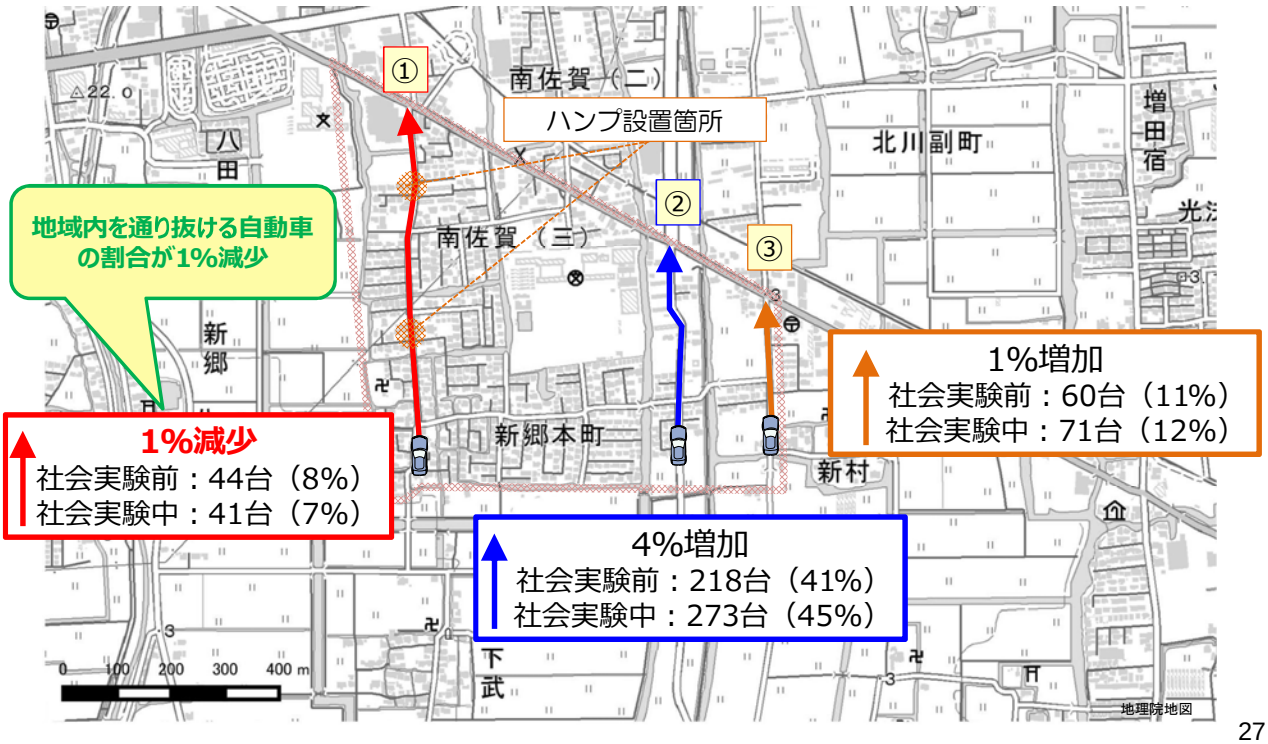
動画

自転車通行帯カラー化箇所での走行

ビデオ調査による効果検証

地域内を通り抜ける自動車

朝ピーク時(7:30～8:30)に地域内を通り抜ける自動車の割合が1%減少した。



アンケート調査による効果検証

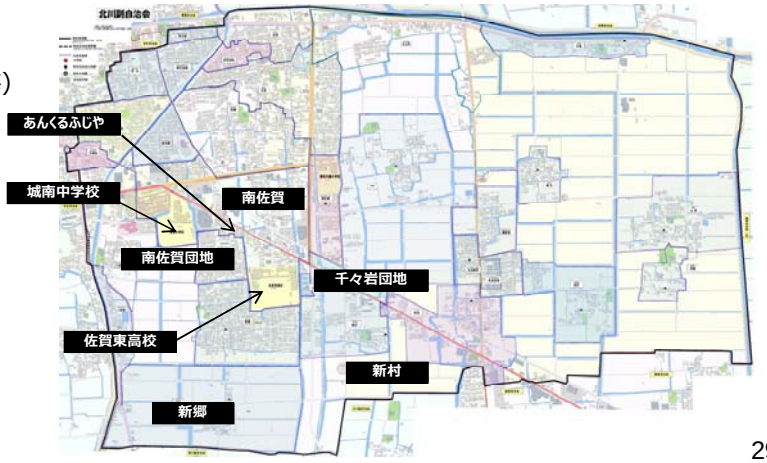
アンケート調査による効果検証

地域の方々にご協力いただき、社会実験に関するアンケート調査を実施しました。

回答者属性	中学生･高校生	地域の方々	沿道施設利用者
調査方法	佐賀市立城南中学校 佐賀県立佐賀東高校 （1、2年生）	各世帯にポスティング。郵送回収。	あんくるふじや来店者へヒアリング
配布数	中学校　335票 高校　　560票	1370票 ―新村200部 ―南佐賀440部 ―南佐賀団地210部 ―新郷440部 ―千々岩団地80部	
回収数（3/6時点）	中学校：289票 高校　：412票	341票　　（回収率：24.9%）	124票

■調査内容

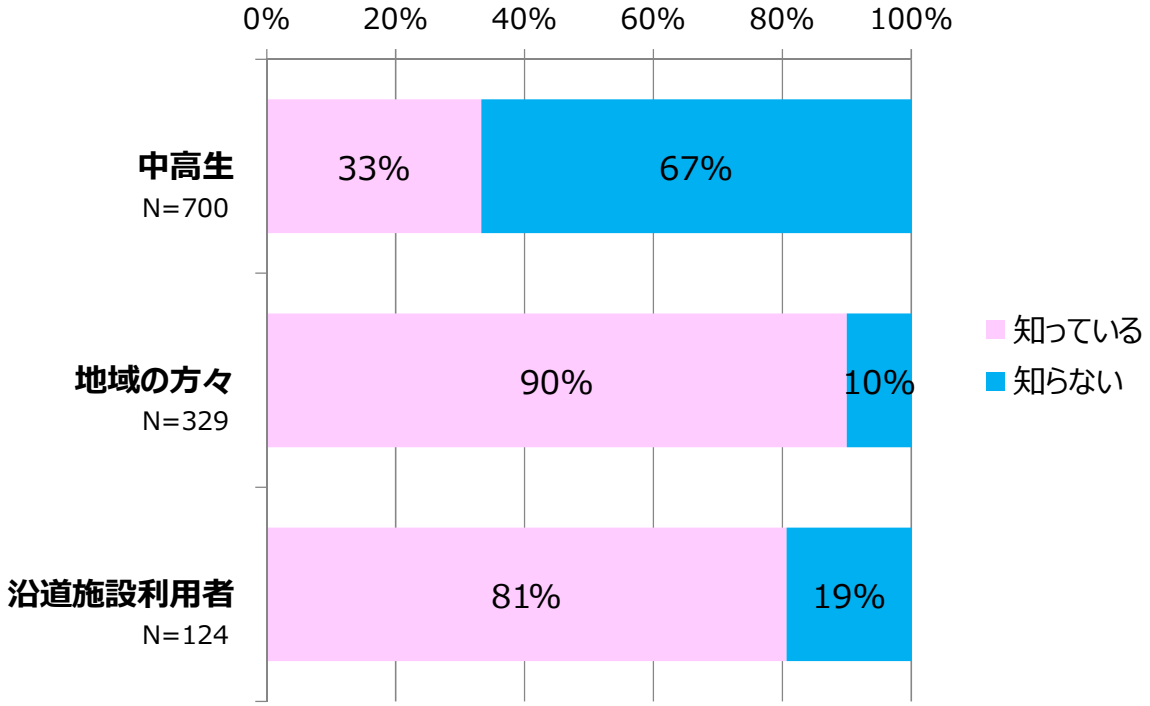
・北川副地区の普段の通行状況（交通手段等）
・社会実験実施の認知状況
・利用者が実感している対策別の効果
・総合的な安全感
・対策の受容性
・新たに発生している課題やその他自由意見



アンケート調査による効果検証

社会実験の認知状況

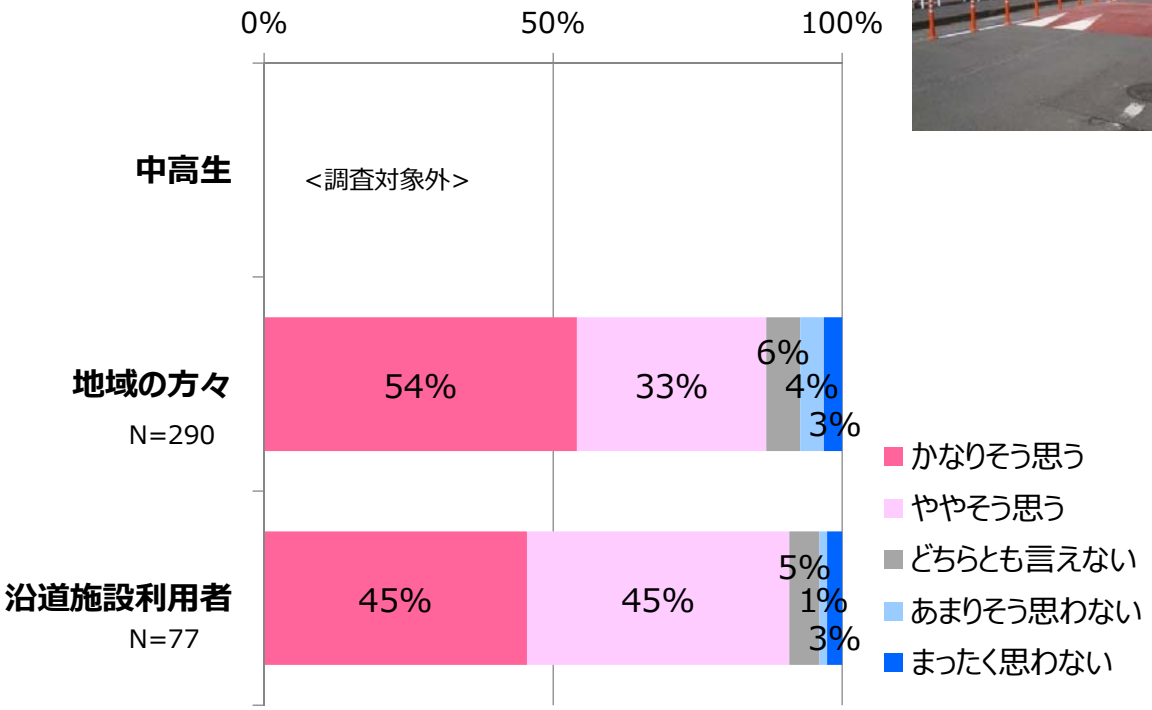
2017年1月15日(日)から2月17日(金)まで、北川副地区内の交通安全の試みの一つとして、
ハンプ等の設置を試験的に実施しています。このことをご存じでしたか？



アンケート調査による効果検証

ハンプの効果

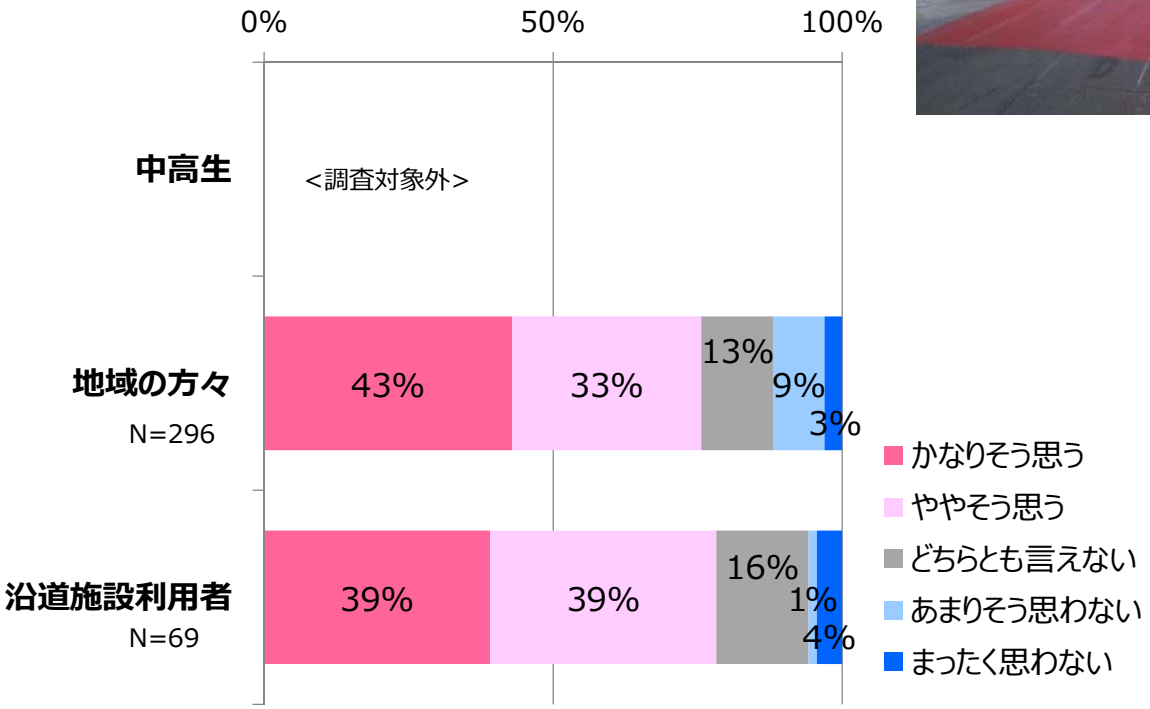
ハンプの施設置により速度を落として走行するようになったと思いますか？



アンケート調査による効果検証

交差点のカラー化による注意意識の向上

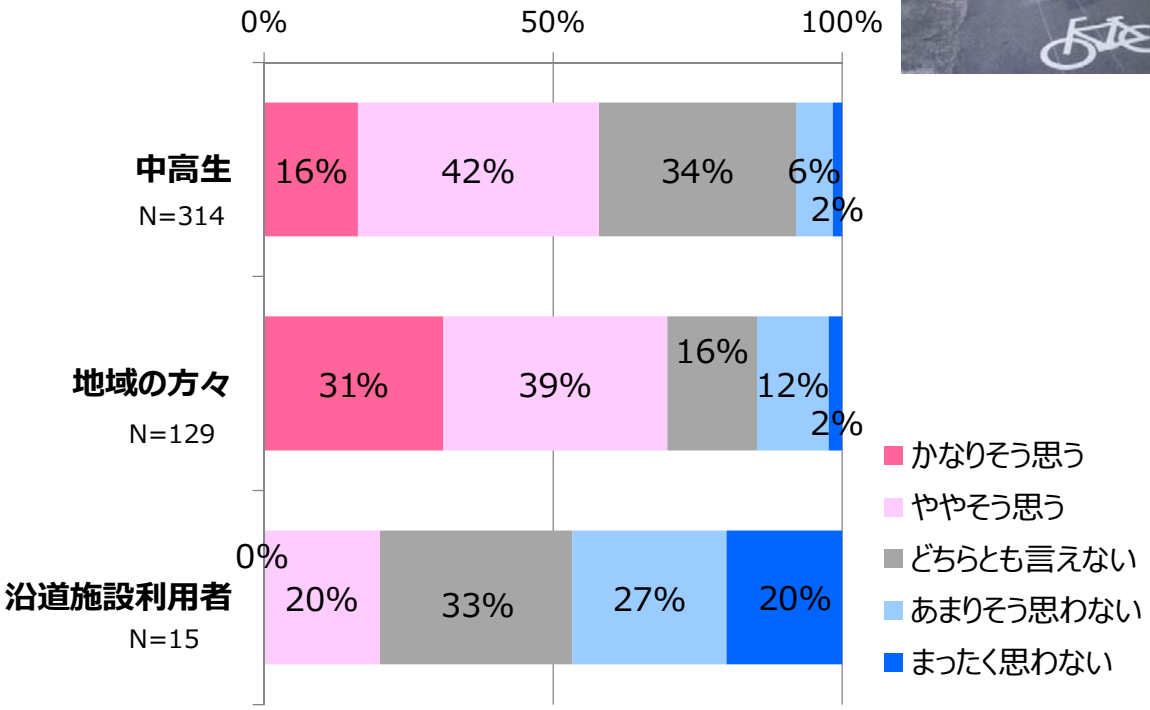
交差点位置が分かりやすくなり、注意して走行するようになったと思いますか？



アンケート調査による効果検証

自転車走行位置の明示（ナビマーク）の効果（１）

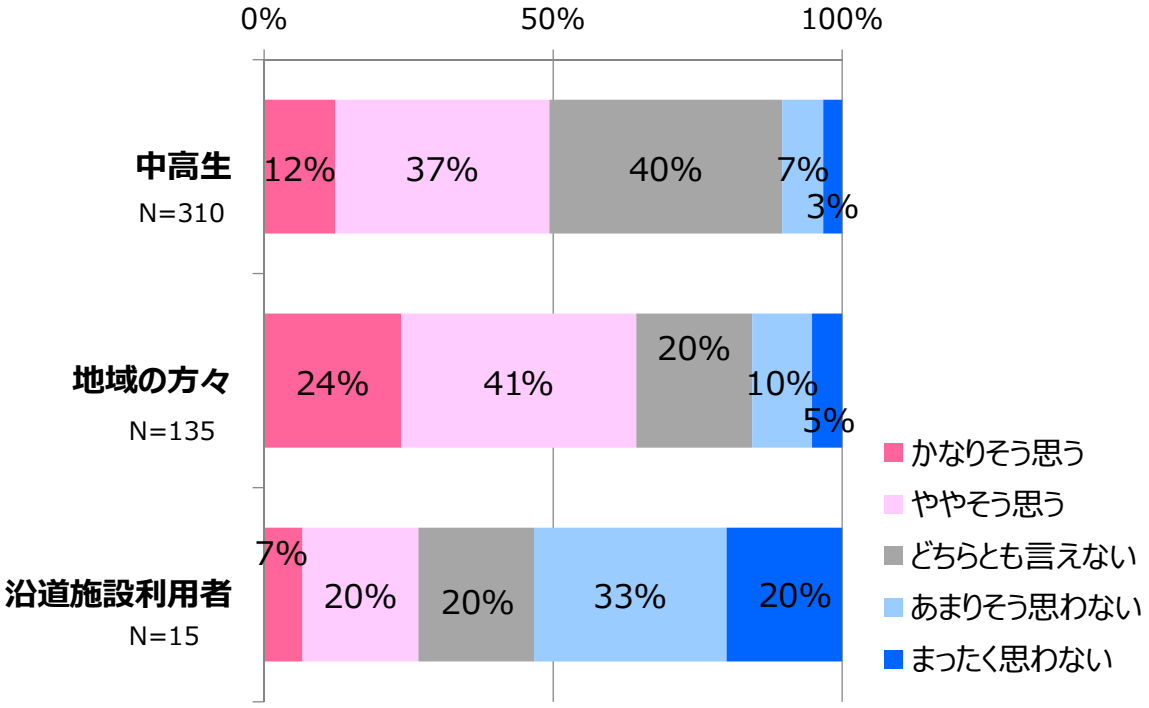
自転車で通行する場合、走行位置が分かりやすくなり、左側走行を守るようになったと思いますか？



アンケート調査による効果検証

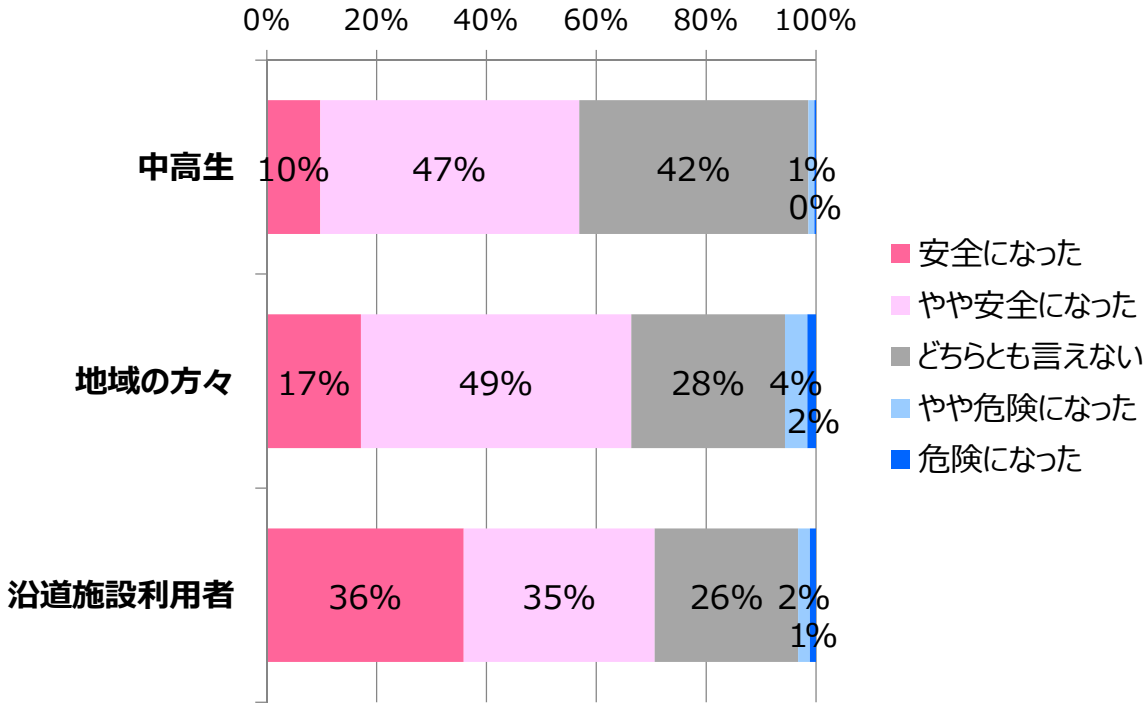
自転車走行位置の明示（ナビマーク）の効果（２）

自転車で通行する場合、走行位置が分かりやすくなり、横に広がって走行することがなくなったと思いますか？



アンケート調査による効果検証

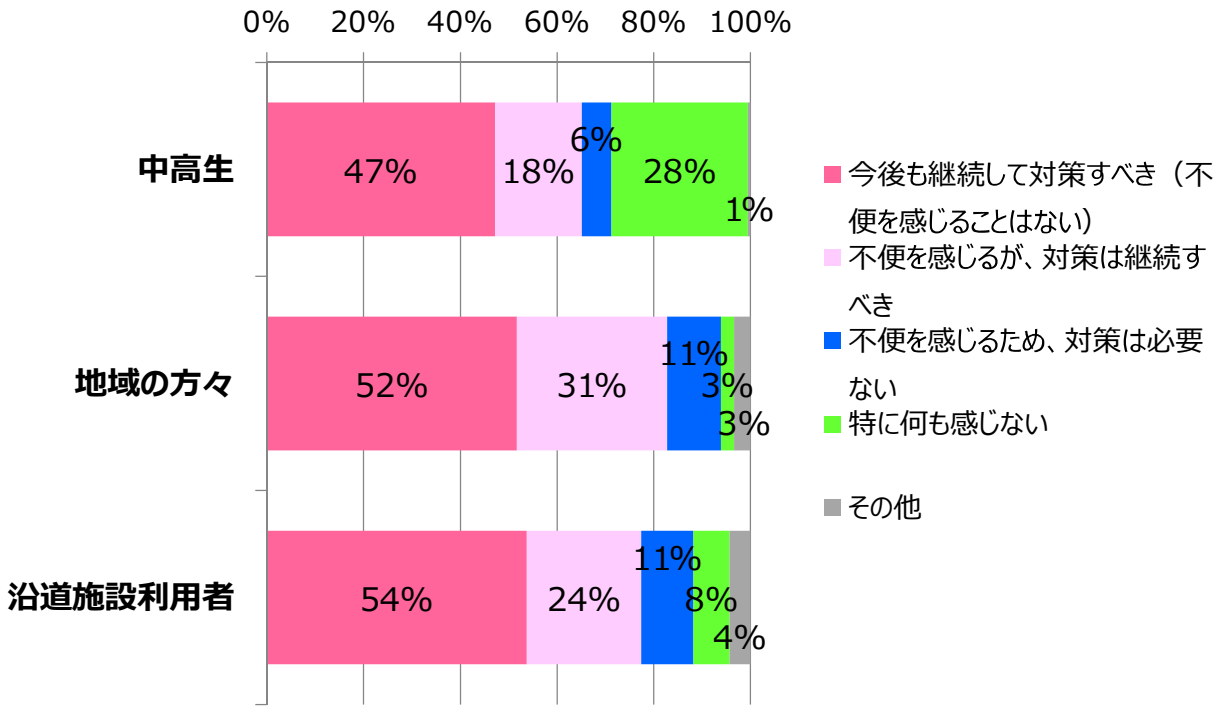
ハンプ等の対策によって、総合的にみて地区全体の安全性は向上したと思いますか？



アンケート調査による効果検証

今後の対策の必要性

今回の社会実験を踏まえ、今後の対策について、ご自身の意向に最も近いものを選んで下さい。



アンケート調査による効果検証

自由意見　主な意見(地域の方々)

①各対策について

ハンプについて

賛成意見
・速度を落とすように意識するようになった
・スピードを出して通行する車が減った
・設置個所をもっと増やしてほしい
・安全になった、効果があった

反対意見・要望・課題
・ハンプとポールですれ違いができなくなり、不便
・ポールで自転車の通る場所がふさがれる
・ポールにぶつかりそう
・ただでさえ道が狭いため、ハンプでさらに道が狭くなった

交差点カラー化・
自転車走行位置カラー化について

賛成意見
・自転車のマナーが少し良くなった
・子供や老人にも分かりやすい
・通行位置を守ってくれる人が増えた

反対意見・要望・課題
・小中学校でカラー化の意味を教えてほしい、地域全体で共有しないと効果が出ない
・右側通行している自転車が依然として多い、マナーが悪い
・カラー化は数が増えると効果が薄れると思う

アンケート調査による効果検証

自由意見　主な意見(地域の方々)

②今後の対策について、その他の課題

今後の対策について

賛成意見
・この道路は抜け道になっており、車や自転車等の量が多く、マナーも良くなり改善されてきた。ぜひこのまま対策を続けてほしい
・このような取り組みを進めていってほしい

反対意見
・道幅が狭いのに、さらに狭くなった

要望
・ハンプの数を増やしてほしい、間が開きすぎると車がスピードを出す
・道を広くしてほしい

その他の課題

幅員
・この地区における事故があるとしたら、道幅が狭いことに起因していると思う
・全体的に道が狭いので、広くしてほしい

速度
・狭い道路にもかかわらず速度を出している車が多い

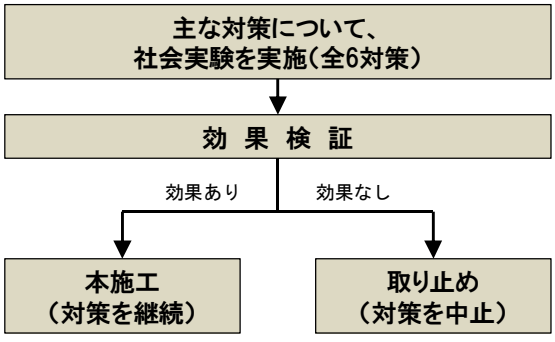
マナー
・自転車のマナーが悪い(2～3列通行、右側通行)
・学生のマナーが悪い、学校で指導してほしい

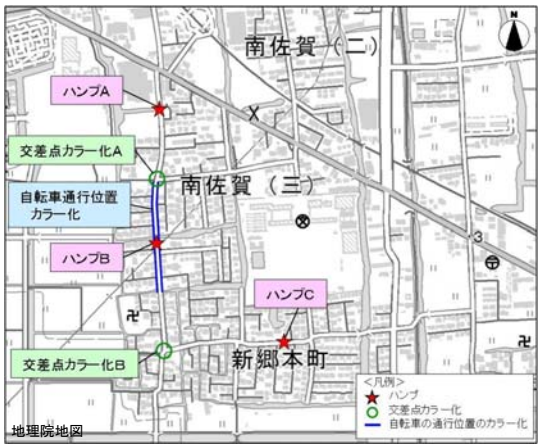
これからの対策(案)

これからの対策(案)　～社会実験で実施した対策について～

■効果検証のフロー

社会実験を行った６対策について、効果検証の結果を考慮して、“本施工”または“取り止め”を判断。





■効果検証の結果

・ハンプC以外は効果が確認できたため、本施工を実施（対策を継続）
・ハンプCは効果が低かったため、当面の本施工は取り止め。

対策	効果検証結果	備考
ハンプA	本施工	—
ハンプB	本施工	—
ハンプC	取り止め	・効果が確認できなかったため、本施工は取り止め。 ・交通状況の変化等があった場合は、再度本施工を検討。
交差点カラー化A	対策を継続	—
交差点カラー化B	対策を継続	—
自転車通行位置カラー化	対策を継続	—

0

これからの対策(案)　～短期：ハンプ～

■対策（案）　短期：ハンプの設置

◆ハンプの設置

◆ハンプの設置

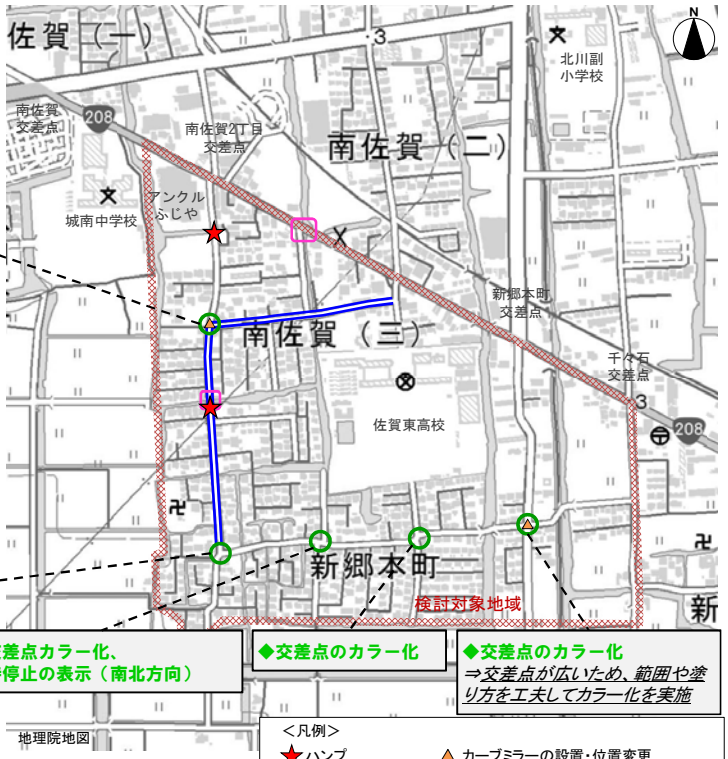
41

これからの対策(案)　～短期：交差点カラー化～

■対策（案）　短期：交差点カラー化

◆交差点のカラー化
（⇒実施済み）

◆交差点カラー化、一時停止の表示（東方向）
（⇒カラー化は実施済み）



◆交差点カラー化、一時停止の表示（南北方向）

◆交差点のカラー化

◆交差点のカラー化
⇒交差点が広いため、範囲や塗り方を工夫してカラー化を実施

＜凡例＞
- ハンプ
- 交差点カラー化等
- 車線運用の変更、信号時間の変更
- カーブミラーの設置・位置変更
- 歩行者・自転車の走行位置のカラー化
- 注意喚起看板

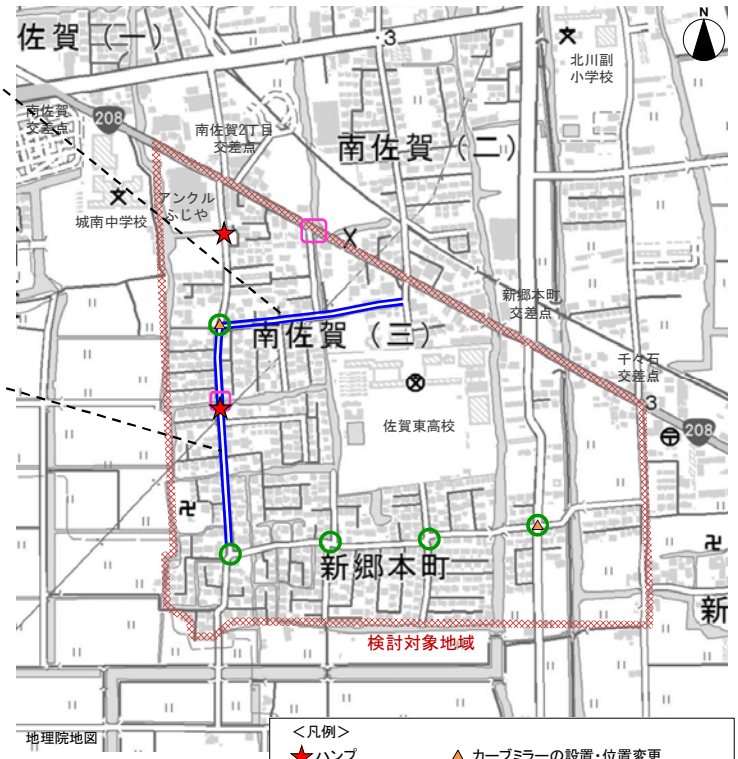
42

これからの対策(案)　～短期：自転車の走行位置のカラー化～

■対策（案）　短期：自転車の走行位置のカラー化

◆自転車の走行位置のカラー化

◆自転車の走行位置のカラー化
（⇒実施済み）



＜凡例＞
- ハンプ
- 交差点カラー化等
- 車線運用の変更、信号時間の変更
- カーブミラーの設置・位置変更
- 歩行者・自転車の走行位置のカラー化
- 注意喚起看板

43

これからの対策(案)　～短期：その他～

■対策（案）　短期：その他

◆「段差注意」の看板設置

◆カーブミラーの設置

◆「幅員減少注意」の看板設置
⇒*ハンプの手前に注意看板を設置*

◆カーブミラーの位置調整

【全体的な対策】
◆停止線・外側線の塗直し・新設
⇒町区内の主要交差点は全てカラー化を実施
◆ゾーン３０
◆看板設置

これからの対策(案)　～短期：全体図～

■対策（案）　短期：全体図

◆「段差注意」の看板設置

◆自転車の走行位置のカラー化

◆交差点のカラー化
（⇒実施済み）
◆カーブミラーの設置

◆「幅員減少注意」の看板設置
⇒*ハンプの手前に注意看板を設置*

◆ハンプの設置
⇒*ハンプの手前に注意看板を設置*
◆自転車の走行位置のカラー化
（⇒実施済み）

◆交差点カラー化、一時停止の表示（東方向）
（⇒カラー化は実施済み）

◆ 交差点カラー化、一時停止の表示（南北方向）

◆交差点のカラー化

◆交差点のカラー化
⇒*交差点が広いため、範囲や塗り方を工夫してカラー化を実施*
◆カーブミラーの位置調整

【全体的な対策】
◆停止線・外側線の塗直し・新設
⇒町区内の主要交差点は全てカラー化を実施
◆ゾーン３０
◆看板設置

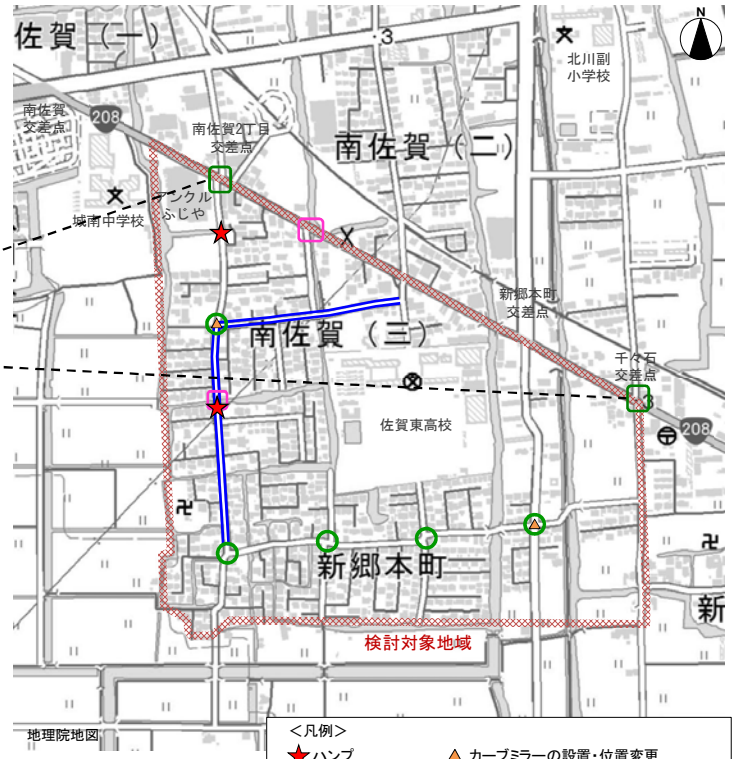
これからの対策(案)　～長期：全体図～

■対策（案）　長期：全体図

◆車線運用の変更
（左折・直進＋右折に変更）
⇒長期的に検討

◆信号時間の調整
⇒長期的に検討

【全体的な対策】
◆自転車マナー教育
⇒長期的に検討



（参考）これからの対策(案)　～対策(案)のまとめ（短期・長期）～

■対策（案）

＜短期＞

◆「段差注意」の看板設置

◆自転車の走行位置のカラー化

◆交差点のカラー化
（⇒実施済み）
◆カーブミラーの設置

◆「幅員減少注意」の看板設置
⇒ハンプの手前に注意看板を設置

◆ハンプの設置
⇒ハンプの手前に注意看板を設置
◆自転車の走行位置のカラー化
（⇒実施済み）

◆交差点カラー化、一時停止の表示
（東方向）
（⇒カラー化は実施済み）

◆ 交差点カラー化、一時停止の表示
（南北方向）

◆交差点のカラー化

◆交差点のカラー化
⇒交差点が広いため、範囲や塗り方を工夫してカラー化を実施
◆カーブミラーの位置調整

【全体的な対策】
◆停止線・外側線の塗直し・新設
⇒町区内の主要交差点は全てカラー化を実施
◆ゾーン３０
◆看板設置

＜長期＞

◆車線運用の変更
（左折・直進＋右折に変更）
⇒長期的に検討

◆信号時間の調整
⇒長期的に検討

【全体的な対策】
◆自転車マナー教育
⇒長期的に検討

（参考）これからの対策(案)　～第2回検討会結果の振り返り～

■第2回検討会で議論した“対策素案”と“素案に対して出た意見”

※対象地域外の意見や対策内容以外の意見は省略しています。

＜凡例＞
◆対策内容
・第2回検討会で頂いた意見

◆自転車の走行位置のカラー化
・東高校前の東西軸の道路にもハンプを設置した方がよい

◆交差点のカラー化
（特に意見なし）
◆カーブミラーの設置
（特に意見なし）

◆「幅員減少注意」の看板設置
（特に意見なし）

◆ハンプや狭さくの設置
・ハンプの位置を変更した方がよい
・市道はもともと狭いため、狭さくは不要
・狭さくの手前に狭くなることの予告をする
◆自転車の走行位置のカラー化
（特に意見なし）

◆交差点カラー化、
一時停止の表示（東方向）
（特に意見なし）

◆交差点カラー化、
一時停止の表示（南北方向）
（特に意見なし）

◆ハンプの設置
（特に意見なし）

◆車線運用の変更
（左折・直進＋右折に変更）
・交差点内シフトは南北直進方向を着色して誘導した方が良い
・右折車とカラー舗装で誘導する

◆「段差注意」の看板設置
・橋面の高さが違うため、カラー舗装で注意喚起する

◆信号時間の調整
・歩行者信号が長すぎるため、待ち時間を検討した方がよい

◆カーブミラーの位置調整
（特に意見なし）
◆交差点のカラー化
・カラー舗装の範囲を交差点手前からにする

【全体的な対策】
◆停止線・外側線の塗直し・新設
・町区内の主要交差点は全てカラー化した方がよい
◆ゾーン３０の申請
・南北道路について、速度規制を30km/hから20km/hにした方が良い
◆看板設置
（特に意見なし）
◆自転車マナー教育
（特に意見なし）

（参考）これからの対策(案)　～対策素案の修正方針～

■対策素案の修正方針

＜凡例＞
◆対策内容
⇒効果検証や第2回検討会での意見を踏まえた修正内容など

◆自転車の走行位置のカラー化
⇒通り抜け交通が少ないため、ハンプ設置は当面行わない

◆交差点のカラー化
（⇒実施済み）
◆カーブミラーの設置
⇒来年度の実施を検討

◆「幅員減少注意」の看板設置
⇒ハンプの手前に注意看板を設置

◆ハンプや狭さくの設置
⇒狭さくは実施しない
⇒ハンプの手前に注意看板を設置
◆自転車の走行位置のカラー化
（実施済み）

◆交差点カラー化、
一時停止の表示（東方向）
⇒来年度の実施を検討（カラー化は実施済み）

◆交差点カラー化、
一時停止の表示（南北方向）
⇒来年度の実施を検討（カラー化は実施済み）

◆ハンプの設置
⇒効果があまり高くなかったため、ハンプ設置は当面行わない

◆車線運用の変更
（左折・直進＋右折に変更）
⇒長期的に検討

◆「段差注意」の看板設置
⇒注意喚起については、段差注意の看板で実施

◆信号時間の調整
⇒長期的に検討

◆カーブミラーの位置調整
⇒来年度の実施を検討
◆交差点のカラー化
⇒交差点が広いため、範囲や塗り方を工夫してカラー化を実施

【全体的な対策】
◆停止線・外側線の塗直し・新設
⇒町区内の主要交差点は全てカラー化を実施
◆ゾーン３０
⇒来年度の実施を検討
◆看板設置
⇒来年度の実施を検討
◆自転車マナー教育
⇒長期的に検討

配布資料

目的：第3回検討会にて、参加者に配布

＜資料内容＞

・検討会の主旨

・本日の流れ

・社会実験の実施内容（実験の概要、施工風景）

・社会実験の効果検証結果（主な内容を抜粋）

・これからの対策案

北川副地区交通安全対策検討会　第3回検討会について

平成 29 年 3 月 12 日（日）

◆検討会の主旨

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策を進めています。

この度、**北川副地区をモデル地区に、**

住民主導で交通安全対策を検討し、

その**ノウハウを他の地域にも広げていきたいと考えています。**

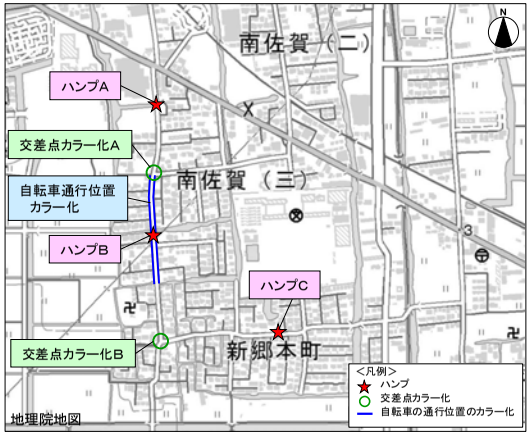
◆本日の流れ　【全体】 9:30～ 90分程度

会議の内容	時間の目安
1)検討会の主旨説明・これまでの経緯	約5分
2)社会実験の実施 （ハンプ・交差点カラー化・自転車通行位置のカラー化）	約10分
3)社会実験の効果検証 ・交通実態調査結果 ・利用者満足度調査結果	約40分
4)これからの対策案 ・これからの対策案の紹介 ・意見聴取	約30分
5)まとめ	約5分

◆社会実験の実施

・実験の概要

目的	北川副地区で検討されている生活道路の交通安全対策のうち、 主な対策について社会実験を行い、対策の効果や影響を確認する。
期間	平成29年1月15日（日）～平成29年2月17日（金）
実施した対策	・ハンプの設置（3箇所） ⇒車両の速度抑制 ・交差点のカラー化（2箇所） ⇒交差点の注意喚起 ・自転車の通行位置のカラー化（1区間） ⇒通行位置の明確化



・実験の施工風景

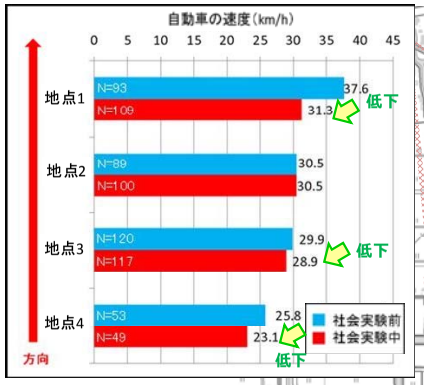
参加者と一緒にハンプの施工を行いました！

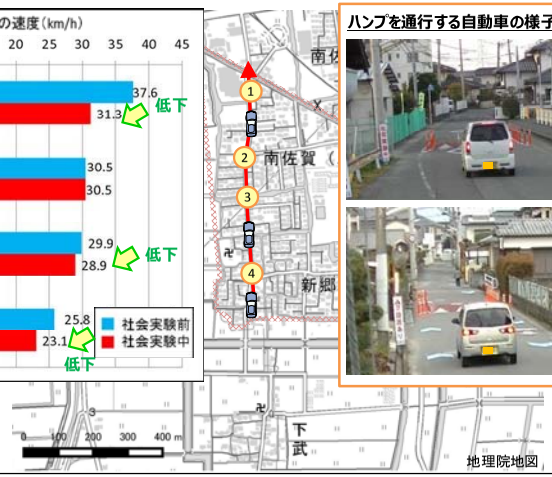
◆社会実験の効果検証（主な内容を抜粋）

ビデオ調査による効果検証

自動車の速度

朝ピーク時(7:30～8:30)の、地域内を走行する自動車の平均速度は社会実験前と比較して低下した。

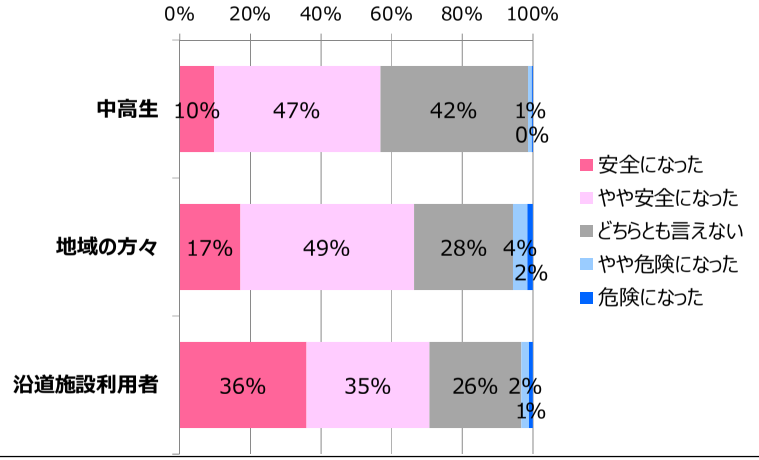




ハンプを通行する自動車の様子

アンケート調査による効果検証

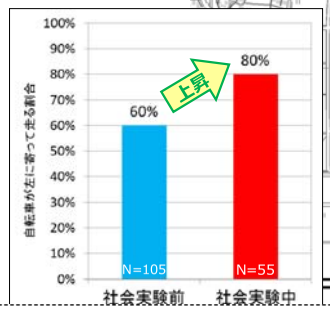
ハンプ等の対策によって、総合的にみて地区全体の安全性は向上したと思いますか？



ビデオ調査による効果検証

自転車が左に寄って走る割合

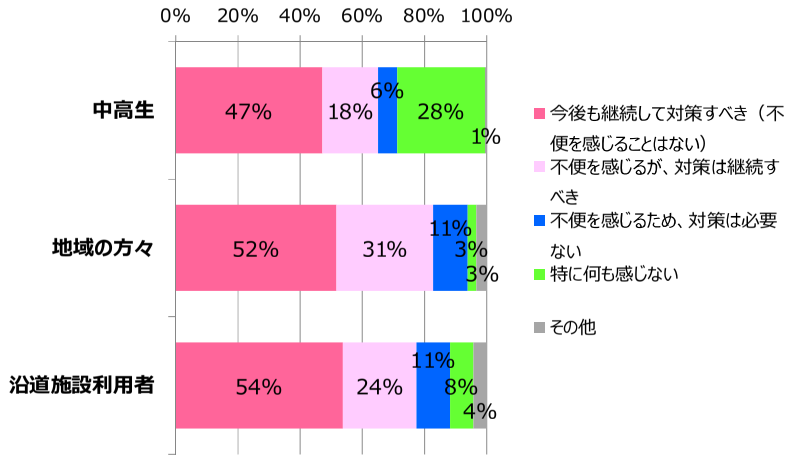
朝ピーク時(7:30～8:30)及びタピーク時(17:00～18:00)の自転車は左に寄って走る割合が20%上昇した。



アンケート調査による効果検証

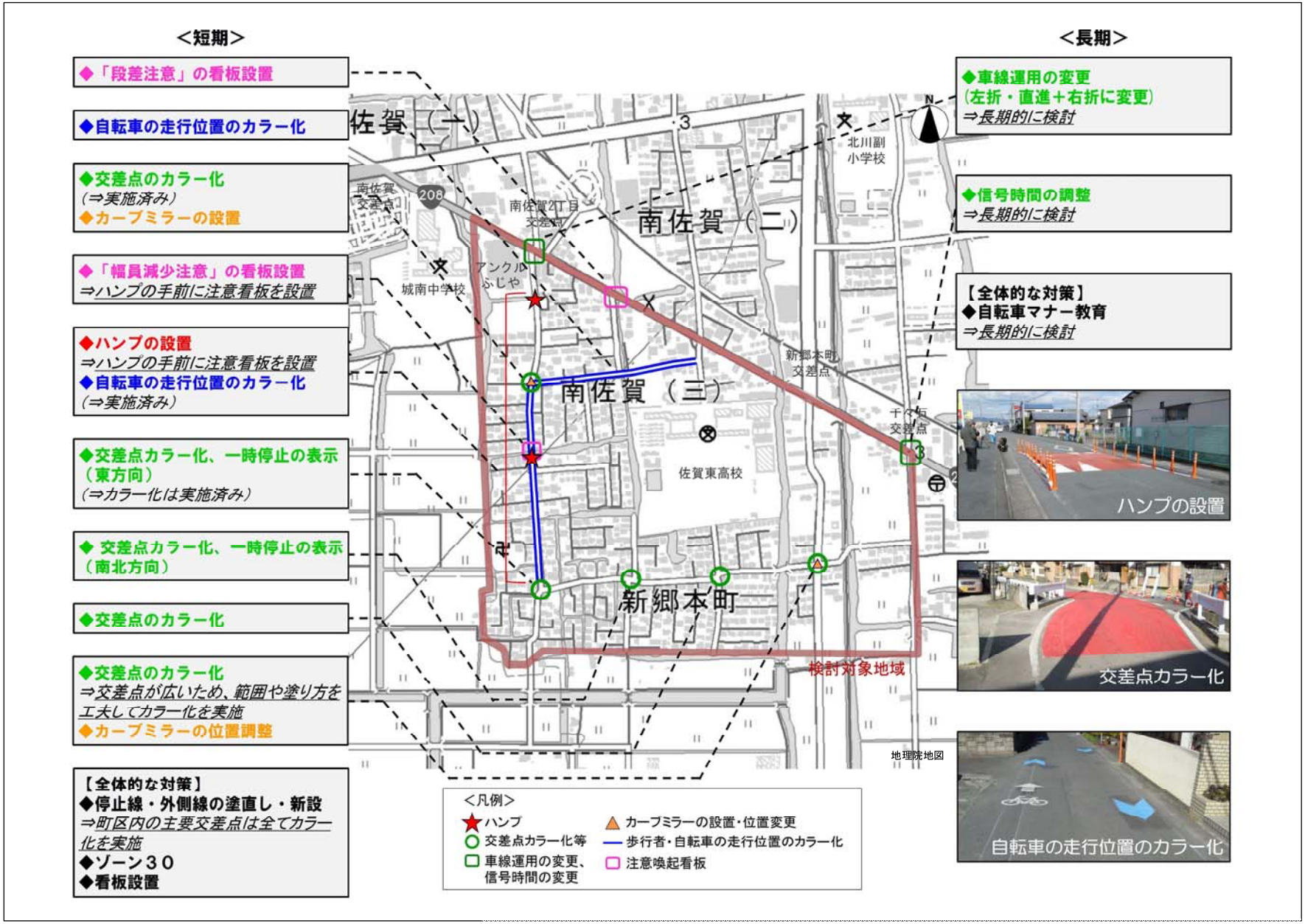
今後の対策の必要性

今回の社会実験を踏まえ、今後の対策について、ご自身の意向に最も近いものを選んで下さい。



⇒ハンプやカラー化について効果が確認できたため、今後、本格導入を進めていきます！

◆これからの対策（案）



※対策案は検討中のものであり、決定した内容を示すものではありません。

意見聴取用資料（大判図面：対策案）

目的:第3回検討会にて、意見聴取の内容整理のために用意

＜資料内容＞

・対策案（事務局案）の内容、位置図

対策（案）

<全体的な対策>
停止線・外側線の塗り直し・新設、
ゾーン３０、看板設置、
自転車マナー教育（長期）

<凡例>
- ハンプ
- 狭さく
- 交差点のカラー化等
- 歩行者・自転車の通行位置のカラー化
- カーブミラーの設置・位置変更
- 注意喚起看板
- 対策の検討

《対策案のイメージ》

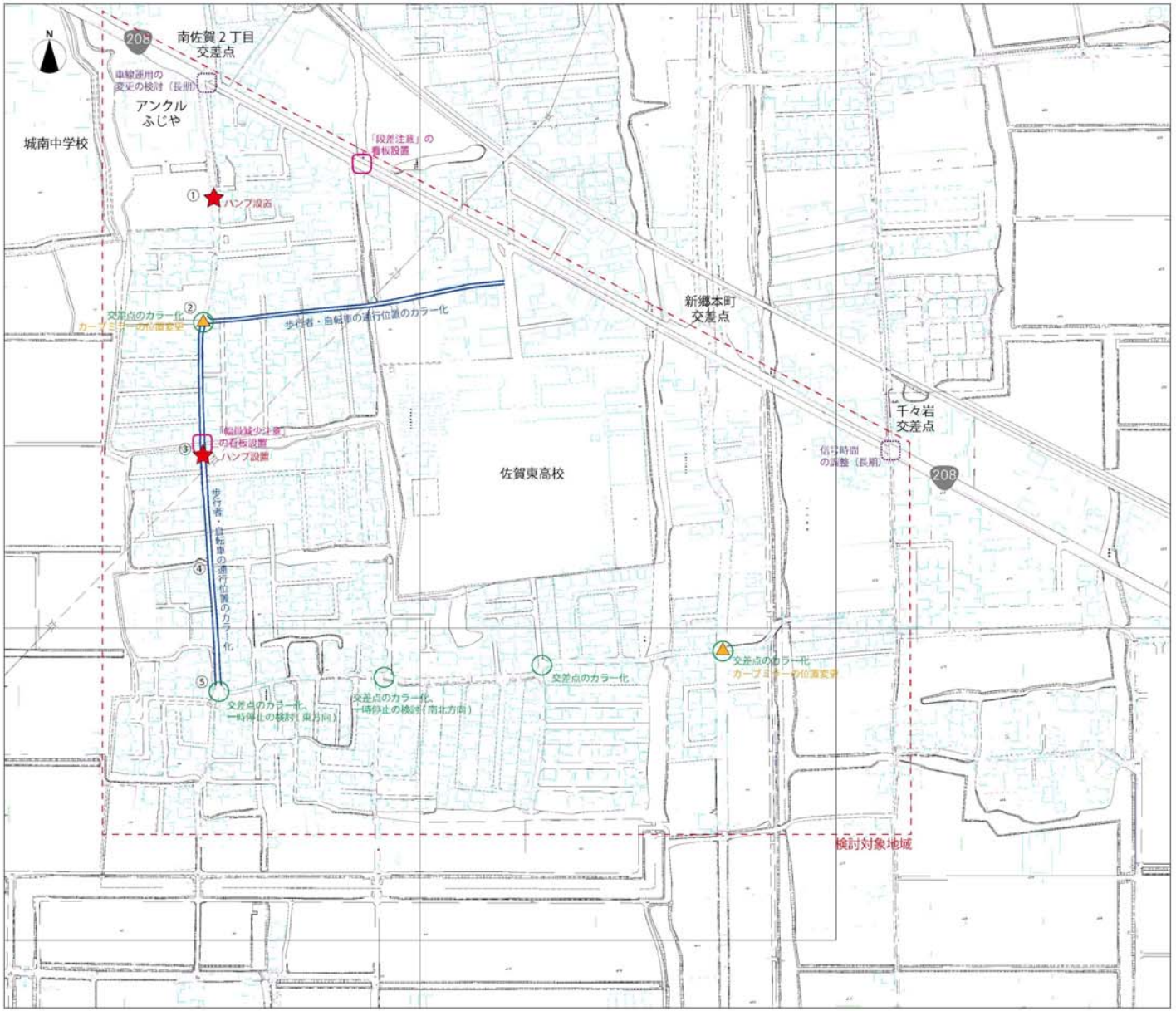
①ハンプ

②交差点のカラー化

③ハンプ

④自転車の通行位置のカラー化

⑤交差点のカラー化



回覧資料（事前）

目的：第3回検討会実施に際して、地区住民に回覧

＜資料内容＞

・社会実験への協力のお礼（効果検証に関して実施した調査内容）

・第3回検討会の開催案内

・これまでの経緯

北川副地区において第3回交通安全対策検討会を行います。

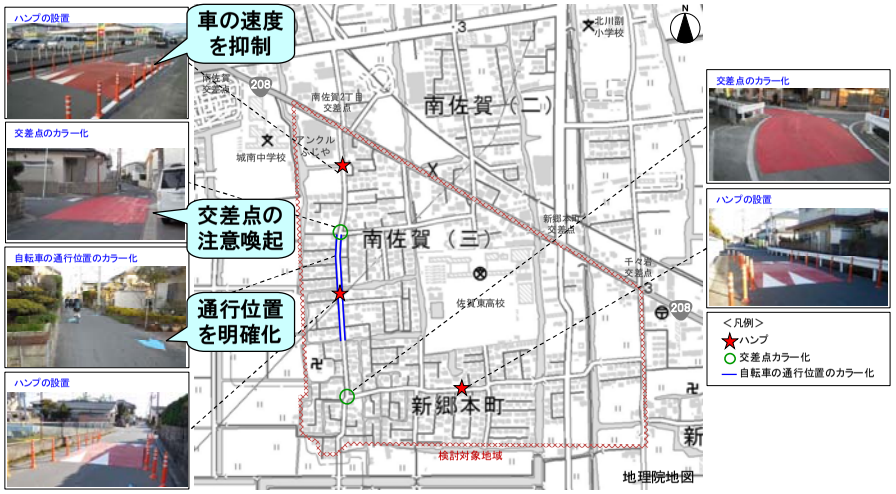
平成 29 年 2 月〇日(〇)

社会実験へのご協力ありがとうございました!

北川副地区の主要な道路や交差点で、ハンプ設置やカラー化の社会実験を実施しました。ご協力ありがとうございました。

期間:1月15 日(日)～2 月17 日(金)

＜社会実験の内容＞



社会実験中には、対策の効果を検証する調査を実施しました。

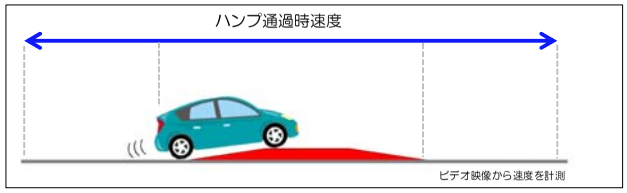
＜調査の内容＞

①ビデオ調査(目的:自動車の走行速度の計測など)

②アンケート調査、③ヒアリング調査(目的:通行者・住民の声など)

検証結果は、第3回検討会にてお伝えします。

＜ビデオ調査の計測例＞



＜ヒアリング調査の様子＞

『北川副地区第3回交通安全対策検討会』を開催します!

日時:3月12日(日) 9:30～

場所:北川副公民館

第3回検討会では

- 社会実験で実施した対策の効果を報告します
- 対策案についてご意見をお伺いします

様々な方の意見が反映されることで、より良い安全対策がつくられます。3回目からでも問題なく話に参加できます。

皆さんのご参加をお待ちしています。

＜これまでの経緯＞

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策として、北川副地区をモデル地区に住民主導で交通安全対策を進めています。

第1回検討会(11/13)では、地域の危険箇所の抽出を行いました。

第2回検討会(12/11)では、危険箇所への対策案を検討しました。

＜第1・2回検討会の様子＞

＜お問い合わせ先＞

佐賀市 建設部 道路整備課　武久、梅野

電話番号:0952－40－7176

マスコミ投込み資料

目的：第3回検討会実施に際して、取組みの周知のために作成

＜資料内容＞

・実施日時

・調査場所

・調査内容

・今までの検討会の様子

・検討経緯

北川副地区 第3回交通安全対策検討会

実　施　日　時

平成２９年３月１２日（日）　９：30～　（2時間程度を想定）

実　施　場　所

北川副公民館

実　施　内　容

第3回検討会では下記の内容で実施します。

①社会実験で実施した対策の効果を報告します
（ハンプ、交差点カラー化、自転車の通行位置のカラー化に対する効果）

②対策案についてご意見をお伺いします

今までの検討会の様子

北川副地区 第3回交通安全対策検討会

検　討　経　緯

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策として、
北川副地区をモデル地区に住民主導で交通安全対策を進めています。
平成２８年度は下表に示すスケジュールで対策を実施しています。

日付	項目	具体的な内容等
9/30(金)	住民説明会	[目的]： ①H27 安推連調査の結果報告 ②対策検討についての意思確認 ③検討体制について提案(住民代表によるﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ形式) [参加者]：地元住民、地域内の事業者、学校関係者等(15 名程度) [主な結果] ①北川副地区での危険事象等を共有 ②今後対策を検討していくことで合意 ③住民代表ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ形式で検討することで合意
11/13(日)	第 1 回検討会	[目的]：住民主体による地域の問題箇所の抽出 [参加者]：地元住民(16 名) [主な結果]：ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟにより問題箇所を抽出 →道路が狭く、歩行者と自転車の通行が困難 →自動車の走行速度が高い →交差点の見通しが悪い →自転車の運転マナーが悪い(並列走行、右側走行)
12/11(日)	第 2 回検討会	[目的] ①住民主体による対策案の検討(事務局案をたたき台にして検討) ②社会実験案の提示と意見聴取 [参加者]：地元住民、学校関係者(北川副小、佐賀東高校)(13 名) [主な結果] ①対策案の検討(ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟにより対策案を検討) →ハンプの設置 →狭さくの設置(市道は元々狭いため、不要との意見もあり) →交差点カラー化(着色範囲を交差点手前からにしたいとの意見あり) →自転車の通行位置のカラー化 →ゾーン 30 の導入(規制速度を 20km/h にしたいとの意見あり) ②社会実験について合意 →ハンプ、狭さく、交差点カラー化、自転車の通行位置カラー化 ※狭さくについては、後日の調整によって対象外となった
1/15(日) ～ 2/17(金)	社会実験	[目的・対策]：以下の対策について、社会実験を行い、効果検証を実施 →ハンプ、交差点カラー化、自転車の通行位置のカラー化 [効果検証]：ビデオ調査、ヒアリング調査、アンケート調査で効果等を検証
3/12(日) ＜今回＞	第 3 回検討会	[目的]：社会実験の効果報告、対策案への意見聴取
H29 年度	対策本施工	―

回覧資料（事後）

目的:第3回検討会後に、地区住民に回覧

＜資料内容＞

・第3回検討会実施の報告

・これまでの経緯

・対策の効果

・対策案

北川副地区において第3回交通安全対策検討会を行いました。

平成 29 年 3 月〇日(〇)

3月12日(日)(9:30～)に、北川副公民館にて『北川副地区第3回交通安全対策検討会』を開催しました。

●第3回検討会は、『社会実験で実施した対策の効果』を共有し、効果の検証結果などを踏まえて『今後の対策案への意見』を伺いました。

●今回効果が確認できた対策については本施工を進めるとともに、追加で挙げられた対策への意見については、その実施の検討を行います。

＜これまでの経緯＞

佐賀市では生活道路を対象とした交通安全対策として、北川副地区をモデル地区に住民主導で交通安全対策を進めています。

第1回検討会(11/13)では、地域の危険箇所の抽出を行いました。

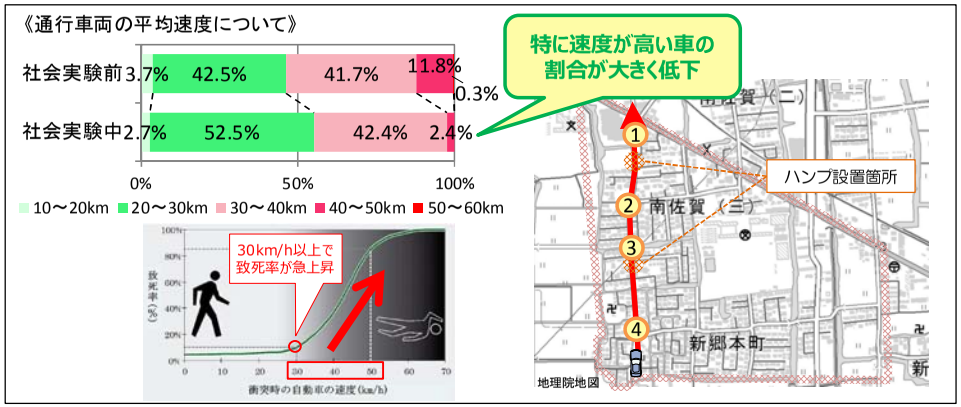
第2回検討会(12/11)では、危険箇所への対策案を検討しました。

社会実験(1/15-2/17)では、第2回検討会で検討した一部の対策について、期間限定で実施し、効果を検証しました。

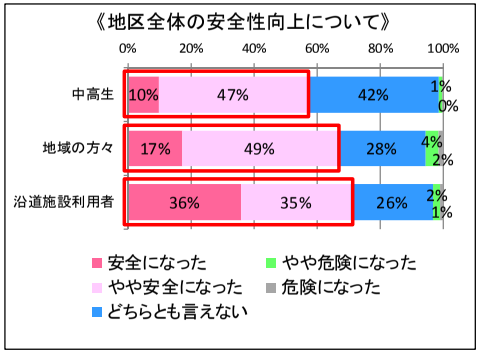
『社会実験で確認できた効果』※をお知らせします!

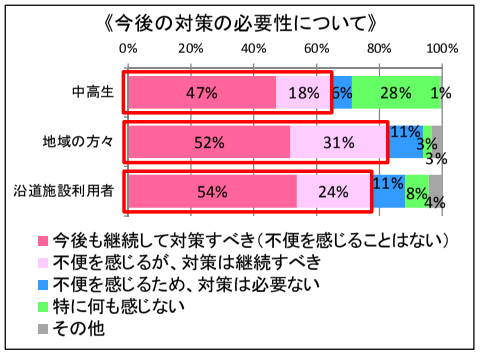
※掲載している効果は、確認できた効果の一部です。

●ピーク時(7:30～8:30)の、地域内を走行する自動車の30km/h を超える割合は、社会実験前と比較して低下。



●今回の社会実験で、6～7割の方が安全性の向上を実感しており、今後の対策についての意向は、7～8割の方が対策の継続を望んでいる。



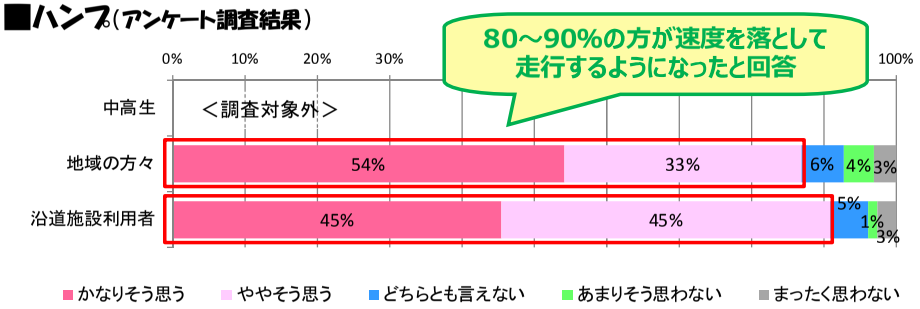


＜お問い合わせ先＞　佐賀市　建設部　道路整備課　　武久、梅野
電話番号:0952－40－7176

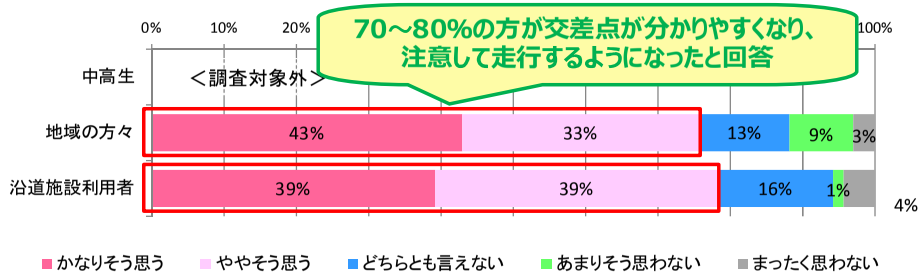
対策の効果（アンケート調査結果・ビデオ調査結果）

実施したそれぞれの対策の効果をお知らせします。

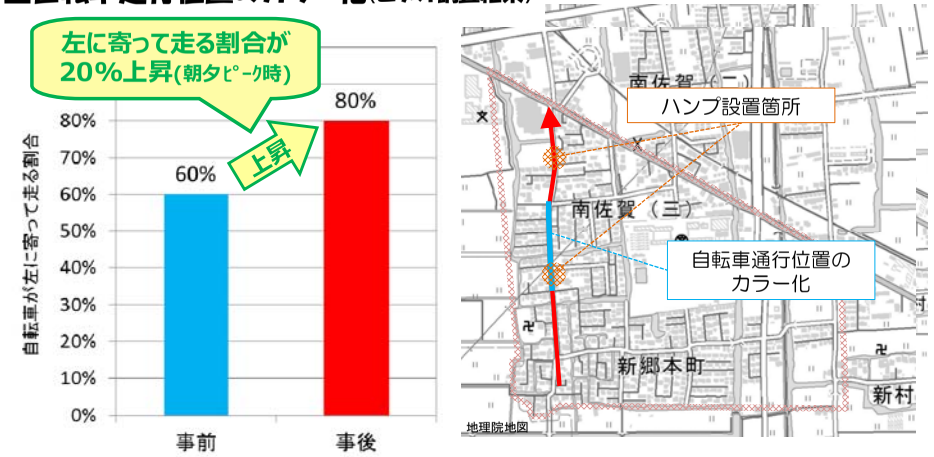
■ハンプ（アンケート調査結果）



■交差点カラー化（アンケート調査結果）



■自転車走行位置のカラー化（ビデオ調査結果）



対策（案）※

（※対策の実施決定を示すものではありません）

社会実験の効果検証や今までの検討結果を踏まえて、
『対策（案）※を作成しました!